



The essentials of imaging

# bizhub C250

## ユーザーズガイド プリンタ機能編



## はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

bizhub C250 にはプリンタコントローラが内蔵されており、Windows 対応パソコンまたは Macintosh から直接プリントすることができます。

このユーザーズガイドには、プリンタコントローラのプリンタ機能や操作方法、使用上のご注意などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、ご使用の前にこのユーザーズガイドを最後までお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「ユーザーズガイド コピー機能編『設置・取り扱いの注意』」をお読みください。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

### 電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この製品にはシールドされたネットワークケーブルおよびパラレルケーブルを使う必要があります。そうでない場合は、電波障害を引き起こすことがあります。

### 商標、著作権等について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- Netscape Communications、Netscape Communications ロゴ、Netscape Navigator、Netscape Communicator および Netscape は、Netscape Communications Corporation の商標です。
- Novell、NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。
- Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- IBM は、米国 International Business Machines, Inc. の登録商標です。
- Apple、Macintosh、および Mac は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。

- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Acrobat ロゴ、PostScript、および PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
- Ethernet は、Xerox Corporation の登録商標です。
- PCL は、米国 Hewlett-Packard Company Limited の登録商標です。
- 本ユーザーズガイドに記載されているその他の会社名、商品名は、該当各社の登録商標または商標です。
- This machine and PageScope Box Operator are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Compact-VJE

Copyright 1986-2003 VACS Corp.

- RC4 ® is a registered trademark or trademark of RSA Security Inc. in the United States and/or other countries.
- RSA ® is a registered trademark or trademark of RSA Security Inc. in the United States and/or other countries.

#### OpenSSL ステートメント

- OpenSSL ライセンス :

Copyright © 1998-2000 The OpenSSL Project. 無断転載禁止。次の条件が満たされた場合に限り、修正の有無に関わりなくソース形式およびバイナリ形式での再配布ならびに使用が認められます。

1. ソースコードの再配布に際しては上記の著作権通知、条件リスト（本書）および次の免責条項を表示しなければなりません。
2. バイナリ形式による再配布の場合、関連ドキュメンテーションやその他の資料に上記の著作権通知、条件リスト（本書）および次の免責条項を複製しなければなりません。
3. このソフトウェアの機能あるいは使用に言及した広告素材にはすべて、次の通告文を表示しなければなりません。  
「このソフトウェアは OpenSSL Toolkit で使用することを目的に、 OpenSSL Project が開発したものです。（<http://www.openssl.org/>）」
4. 書面による事前の許可なしに、このソフトウェアで作られたプロダクトの保証あるいは販売促進に「OpenSSL Toolkit」および「OpenSSL Project」の名称を使用することはできません。許可については、openssl-core@openssl.org までご連絡ください。

- 
5. このソフトウェアで作られたプロダクトの名前については、OpenSSL Project の書面による事前の許可なしに「OpenSSL Toolkit」あるいは「OpenSSL Project」の名称を使用することはできません。
  6. 再配布物についてはその形式に関わりなく、次の通告文を表示しなければなりません。

「このプロダクトには OpenSSL Toolkit で使用することを目的に OpenSSL Project が開発したソフトウェアが含まれています。(<http://www.openssl.org/>)」

このソフトウェアは「現状のまま」OpenSSL Project が提供するものであり、商品性および特定目的適合性に関する默示の保証を含めあらゆる明示的、默示的保証を排除するものです。OpenSSL Project およびその寄稿者は、このソフトウェアを使用したことによって損害が生じ、事前にそのような損害が発生する可能性について通知を受けていた場合であっても、その原因に関わりなく、また、損害賠償責任に関するいかなる法理によっても、また、契約、厳格責任あるいは（過失などを含む）不法行為によるものであるかどうかに関わりなく、（代替品あるいは代替サービスの購入、使用不能損失／データ損失／利益損失、事業の中止など）直接的、間接的、付随的、特別、懲罰的あるいは派生的損害のいずれに關しても責任を負わないものとします。

このプロダクトには Eric Young (eay@cryptsoft.com) が作成した暗号ソフトウェアが含まれています。このプロダクトには Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) が作成したソフトウェアが含まれています。

- SSL eay ライセンス

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) 無断転載禁止。

このパッケージは Eric Young (eay@cryptsoft.com) が作成した SSL インプリメンテーションです。このインプリメンテーションは Netscape の SSL に準じて書かれています。

このライブラリは次の条件を満たす限りにおいて、商用および商用以外の用途に無償で使用することができます。次の条件は SSL コードのみならず、この配布物で使われているすべてのコード、つまり RC4、RSA、Ihash、DES などの各コードに適用されます。この配布物に含まれる SSL ドキュメンテーションについては、保有者が Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) である点を除き、同じ著作権条項の対象となります。

著作権は Eric Young に帰属し、コードに含まれる著作権通知を排除することはできません。

このパッケージのあるプロダクトに使用する場合、使用ライブラリの複数部分の作成者としての権限は Eric Young に与えるものとします。

プログラムスタートアップ時のテキストメッセージの形式またはパッケージに付随するドキュメンテーション（オンラインまたはテキスト）に含めることができます。

- 
- 次の条件が満たされた場合に限り、修正の有無に関わりなくソース形式およびバイナリ形式での再配布ならびに使用が認められます。
1. ソースコードの再配布に際しては上記の著作権通知、条件リスト（本書）および次の免責条項を表示しなければなりません。
  2. バイナリ形式による再配布の場合、関連ドキュメンテーションやその他の資料に上記の著作権通知、条件リスト（本書）および次の免責条項を複製しなければなりません。このソフトウェアの機能あるいは使用に言及した広告素材にはすべて、次の通告文を表示しなければなりません。
  3. 「このプロダクトには Eric Young (eay@cryptsoft.com) が作成した暗号ソフトウェアが含まれています」 使用するライブラリからのルーチンに暗号が関係していない場合、「暗号」という単語は省くことができます。
  4. apps ディレクトリ（アプリケーションコード）から Windows 固有コード（またはその派生物）を含める場合、次の通告文を表示しなければなりません。「このプロダクトには Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) が作成したソフトウェアが含まれています」

このソフトウェアは Eric Young が「現状のまま」 提供するものであり、商品性および特定目的適合性に関する默示の保証を含めあらゆる明示的、默示的保証を排除するものです。作成者および寄稿者は、このソフトウェアを使用したことによって損害が生じ、事前にそのような損害が発生する可能性について通知を受けていた場合であっても、その原因に関わりなく、また、損害賠償責任に関するいかなる法理によっても、また、契約、厳格責任あるいは（過失などを含む）不法行為によるものであるかどうかに関わりなく、（代替品あるいは代替サービスの購入、使用不能損失／データ損失／利益損失、事業の中止など）直接的、間接的、付隨的、特別、懲罰的あるいは派生的損害のいずれに關しても責任を負わないものとします。

このコードの一般に使用可能なバージョンまたは派生物のライセンスおよび流通条件は変更できません。つまり、このコードを単に複写し、(GNU Public Licence など) 他の販売ライセンスの適用対象とすることはできません。

- その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

## Copyright

© 2005 Konica Minolta Business Technologies, Inc. All Rights Reserved.



---

## 免責

- 本ユーザーズガイドの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本プリンティングシステムおよび本ユーザーズガイドを運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本ユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。
- プリンタドライバの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社にあります。

# ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスをKMBTにより付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記1.に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべてKMBTおよびそのライセンサーに帰属します。

- 
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行にしたがって使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
  9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用的記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべてのソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
  10. KMBT およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT およびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第3者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付隨的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
  11. Notice to Government End Users (本規定に関する : 本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。) The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
  12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

# 目次

<b>1 概要</b>	
1.1 プリンタコントローラ用の CD 構成 .....	1-1
1.2 プリンタコントローラとは .....	1-5
プリンタコントローラの役割 .....	1-5
プリンタコントローラでできること .....	1-5
各モード .....	1-6
プリントの流れ .....	1-7
PC-Fax 送信の流れ .....	1-8
1.3 動作環境 .....	1-9
接続できるパソコンと OS .....	1-9
接続に使用するインターフェース .....	1-10
1.4 セットアップの流れ .....	1-12
<b>2 プリンタドライバのインストール</b>	
2.1 プリンタドライバの種類と対応 OS .....	2-1
2.2 Windows で使用する場合 .....	2-2
インストーラによる自動インストール .....	2-3
インストール .....	2-4
プリンタの追加ウィザードを使ったインストール .....	2-6
Windows XP/Server 2003 の場合 .....	2-6
Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0 の場合 .....	2-10
プラグアンドプレイを使ったインストール .....	2-12
Windows 98SE の場合 .....	2-12
Windows Me/2000 の場合 .....	2-13
Windows XP/Server 2003 の場合 .....	2-14
プリンタドライバをアンインストールする場合 .....	2-16
2.3 Macintosh で使用する場合 .....	2-18
プリンタドライバのインストール .....	2-18
Macintosh OS X の場合 .....	2-18
プリンタの選択 .....	2-20
Macintosh OS X の場合 .....	2-20
Macintosh OS 9.2 の場合 .....	2-21
プリンタドライバをアンインストールする場合 .....	2-23
Macintosh OS X の場合 .....	2-23
Macintosh OS 9.2 の場合 .....	2-24

### 3 ネットワーク印刷の設定

3.1	ネットワーク機能の概要 .....	3-1
	ネットワーク機能とは .....	3-1
	ネットワーク機能の特徴 .....	3-2
	各 Windows OS で選択可能なネットワーク接続方式 .....	3-3
	Windows OS からのネットワーク印刷方法 .....	3-3
	NetWare 環境でのネットワーク印刷方法 .....	3-4
3.2	本機の IP アドレスの設定 .....	3-5
3.3	PageScope Web Connection へのアクセス方法 .....	3-7
3.4	SMB 印刷による利用 .....	3-8
	本機の設定 .....	3-8
	プリンタ ドライバ側の設定 .....	3-10
	Windows 98SE/Me の場合 .....	3-10
	Windows 2000/XP/NT 4.0/Server 2003 の場合 .....	3-10
3.5	LPR 印刷による利用 .....	3-11
	本機の設定 .....	3-11
	プリンタ ドライバ側の設定 .....	3-11
	Windows 2000/XP/Server 2003 の場合 .....	3-11
	Windows NT 4.0 の場合 .....	3-12
3.6	Port9100 印刷 (Windows 98SE/Me/2000/XP/Server 2003) ....	3-13
	本機の設定 .....	3-13
	プリンタ ドライバ側の設定 (Windows 2000/XP/Server 2003) .....	3-13
	Peer to Peer Printing Tool のインストール (Windows 98SE/Me) .....	3-14
	プリンタ ドライバ側の設定 (Windows 98SE/Me) .....	3-15
3.7	IPP 印刷 (Windows 2000/XP/Server 2003) .....	3-16
	本機の設定 .....	3-16
	プリンタ ドライバのインストール .....	3-17
3.8	NetWare による利用 .....	3-19
	NetWare 環境でのネットワーク印刷方法 .....	3-19
	NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでの リモートプリンタモードの場合 .....	3-19
	NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでの プリントサーバモードの場合 .....	3-21
	NetWare 4.x リモートプリンタモード (NDS) の場合 .....	3-23
	NetWare 4.x/5.x/6 プリントサーバモード (NDS) の場合 .....	3-25
	NetWare 5.x/6 Novell Distributed Print Service (NDPS) の場合 .....	3-27
	NetWare サーバを使用するときのクライアント (Windows) の設定 .....	3-28

---

<b>3.9</b>	<b>Macintoshによる利用 .....</b>	<b>3-30</b>
	<b>本機の設定 .....</b>	<b>3-30</b>
	<b>Macintoshの設定 .....</b>	<b>3-31</b>
	<b>Mac OS Xの場合 .....</b>	<b>3-31</b>
	<b>Mac OS 9.2の場合 .....</b>	<b>3-32</b>

## 4 色々な印刷方法

<b>4.1</b>	<b>印刷操作 .....</b>	<b>4-1</b>
	<b>Windowsの場合 .....</b>	<b>4-1</b>
	<b>テスト印刷 .....</b>	<b>4-2</b>
	<b>Macintoshの場合 .....</b>	<b>4-4</b>
	<b>Mac OS Xの場合 .....</b>	<b>4-4</b>
	<b>Mac OS 9.2の場合 .....</b>	<b>4-5</b>
<b>4.2</b>	<b>プリンタ機能を設定するには .....</b>	<b>4-6</b>
	<b>機能一覧 .....</b>	<b>4-6</b>
	<b>機能概要 .....</b>	<b>4-8</b>
	<b>用紙方向 .....</b>	<b>4-8</b>
	<b>原稿サイズ／出力サイズ .....</b>	<b>4-9</b>
	<b>ズーム（拡大縮小） .....</b>	<b>4-10</b>
	<b>給紙トレイ（給紙方法） .....</b>	<b>4-11</b>
	<b>用紙種類 .....</b>	<b>4-11</b>
	<b>印刷種類（両面印刷／小冊子印刷） .....</b>	<b>4-12</b>
	<b>ページ割付 .....</b>	<b>4-13</b>
	<b>ステープル／パンチ .....</b>	<b>4-14</b>
	<b>出力方法（ジョブ管理） .....</b>	<b>4-15</b>
	<b>ソート（部単位）／仕分け（オフセット） .....</b>	<b>4-15</b>
	<b>白紙抑制（白紙節約） .....</b>	<b>4-16</b>
	<b>認証 .....</b>	<b>4-16</b>
	<b>オモテ表紙／ウラ表紙／ページ単位設定 .....</b>	<b>4-16</b>
	<b>フォーム .....</b>	<b>4-17</b>
	<b>ウォーターマーク .....</b>	<b>4-17</b>
	<b>画質調整 .....</b>	<b>4-18</b>
	<b>プリンタフォントを使用する（代用フォント） .....</b>	<b>4-18</b>
	<b>部門管理 .....</b>	<b>4-18</b>
	<b>Windowsの場合 .....</b>	<b>4-19</b>
	<b>Macintoshの場合 .....</b>	<b>4-21</b>

## 5 PCL ドライバの設定

<b>5.1</b>	<b>設定項目 .....</b>	<b>5-1</b>
	<b>共通項目 .....</b>	<b>5-1</b>
	<b>セットアップタブ .....</b>	<b>5-2</b>
	<b>ページ単位設定タブ .....</b>	<b>5-2</b>
	<b>フォームタブ .....</b>	<b>5-3</b>
	<b>ウォーターマークタブ .....</b>	<b>5-3</b>

---

画像品質タブ .....	5-3
フォントタブ .....	5-3
FAX タブ .....	5-3
バージョンタブ .....	5-4
オプションタブ .....	5-4
<b>5.2 セットアップタブの設定 .....</b>	<b>5-5</b>
用紙サイズに合わせてプリントする .....	5-5
給紙トレイを選択する .....	5-7
両面／小冊子印刷を行う .....	5-8
ページ割付（N in 1）印刷を行う .....	5-9
とじ代を設定する .....	5-10
ステープルを行う .....	5-11
パンチを行う .....	5-11
出力方法を選択する .....	5-12
ユーザ認証を設定する .....	5-15
部門管理を設定する .....	5-16
<b>5.3 ページ単位設定タブの設定 .....</b>	<b>5-17</b>
オモテ表紙／ウラ表紙を付けてプリントする .....	5-17
複数のページをプリントするとき .....	5-18
ページ単位設定 .....	5-18
<b>5.4 フォームタブの設定 .....</b>	<b>5-19</b>
別の原稿を重ねてプリントする（フォーム） .....	5-19
フォームの編集 .....	5-21
フォームを作成する .....	5-21
<b>5.5 ウオーターマークタブの設定 .....</b>	<b>5-23</b>
ウォーターマークをプリントする .....	5-23
ウォーターマークの編集 .....	5-24
文書ナンバーをプリントする .....	5-25
<b>5.6 画像品質タブの設定 .....</b>	<b>5-26</b>
<b>5.7 フォントタブの設定 .....</b>	<b>5-28</b>
<b>5.8 FAX タブの設定 .....</b>	<b>5-29</b>
ファクス送信 .....	5-29
送付状の作成 .....	5-35
電話帳に登録する .....	5-39
個人情報の登録 .....	5-39
同報グループへの登録 .....	5-42
<b>5.9 オプションの設定 .....</b>	<b>5-44</b>
<b>5.10 ドライバ設定を保存する .....</b>	<b>5-46</b>
ドライバの設定を保存する .....	5-46
設定を呼び出すには .....	5-47
設定を削除するには .....	5-47

## 6 PostScript ドライバの設定 (Windows)

<b>6.1 設定項目 .....</b>	<b>6-1</b>
共通項目 .....	6-1
セットアップタブ .....	6-2
レイアウトタブ .....	6-3
ページ単位設定タブ .....	6-3
ウォーターマークタブ .....	6-3
画像品質タブ .....	6-4
詳細設定タブ .....	6-4
デバイスの設定タブ .....	6-5
オプションタブ .....	6-6
初期設定タブ .....	6-6
<b>6.2 セットアップタブの設定 .....</b>	<b>6-7</b>
用紙サイズに合わせてプリントする .....	6-7
出力方法を選択する .....	6-8
ユーザ認証を設定する .....	6-11
部門管理を設定する .....	6-12
<b>6.3 レイアウトタブの設定 .....</b>	<b>6-13</b>
ページ割付 (N in 1) 印刷を行う .....	6-13
両面印刷を行う .....	6-14
とじ代を設定する .....	6-14
ステープルを行う .....	6-15
パンチを行う .....	6-15
<b>6.4 ページ単位設定タブの設定 .....</b>	<b>6-16</b>
オモテ表紙／ウラ表紙を付けてプリントする .....	6-16
<b>6.5 ウォーターマークタブの設定 .....</b>	<b>6-17</b>
ウォーターマークをプリントする .....	6-17
ウォーターマークの編集 .....	6-18
<b>6.6 画像品質タブの設定 .....</b>	<b>6-19</b>
画質を調整する .....	6-19
フォントの設定 .....	6-19
<b>6.7 オプションの設定 .....</b>	<b>6-21</b>
<b>6.8 ドライバ設定を保存する .....</b>	<b>6-23</b>
ドライバの設定を保存する .....	6-23
設定を呼び出すには .....	6-24
設定を変更するには .....	6-24



## 7 PPD ドライバの設定 (Windows)

7.1	設定項目 .....	7-1
	用紙タブ .....	7-1
	グラフィックスタブ .....	7-1
	デバイスオプション .....	7-2
	PostScript タブ .....	7-3
	フォントタブ .....	7-3
7.2	用紙タブの設定 .....	7-4
7.3	デバイスオプションの設定 .....	7-5
7.4	オプションの設定 .....	7-7

## 8 PPD ドライバの設定 (OS 9.2)

8.1	設定項目 .....	8-1
	「用紙設定」画面 .....	8-1
	「プリント」画面 .....	8-3
8.2	用紙設定 .....	8-6
	ページ属性（基本設定） .....	8-6
	カスタムページ設定 .....	8-7
	PostScript オプション .....	8-8
8.3	プリント .....	8-9
	一般設定（基本設定） .....	8-9
	レイアウト（ページ割付） .....	8-10
	プリント固有機能（Finishing Option 1 ~ 4） .....	8-11
8.4	オプションの設定 .....	8-14

## 9 PPD ドライバの設定 (OS X)

9.1	設定項目 .....	9-1
	「ページ設定」画面 .....	9-1
	「プリント」画面 .....	9-2
9.2	ページ設定 .....	9-5
	ページ属性（基本設定） .....	9-5
	カスタム用紙サイズ .....	9-6
9.3	プリント .....	9-7
	一般設定（基本設定） .....	9-7
	レイアウト（ページ割付） .....	9-8
	給紙 .....	9-9
	セキュリティ .....	9-10
	出力設定 .....	9-12
	画像品質 .....	9-14
	セットアップ .....	9-16



---

9.4	オプションの設定 .....	9-17
9.5	ドライバ設定を保存する .....	9-18
	ドライバの設定を保存する .....	9-18
	設定を呼び出すには .....	9-18
	設定を変更するには .....	9-19

## 10 各種設定

10.1	ユーティリティのプリンタ設定 .....	10-1
	デフォルト設定 .....	10-1
	ユーザ設定画面を表示させるには .....	10-1
	PDL 設定 .....	10-3
	プリント部数の設定 .....	10-4
	画像の設定 .....	10-5
	スプール設定 .....	10-6
	用紙サイズ変換 .....	10-7
	給紙トレイの設定 .....	10-9
	用紙サイズの設定 .....	10-10
	両面プリントの設定 .....	10-12
	とじ方向の設定 .....	10-13
	ステープルの設定 .....	10-14
	パンチの設定 .....	10-15
	タイプフェイスの設定 .....	10-16
	シンボルセットの設定 .....	10-17
	フォントサイズ .....	10-18
	ライン/ページの設定 .....	10-20
	CR/LF マッピング .....	10-21
	PS エラー時の設定 .....	10-23
	レポート出力 .....	10-24
10.2	管理者モードのプリンタ設定 .....	10-25
	管理者設定画面を表示させるには .....	10-25
	受信プリント出力設定 .....	10-27
	ローカル I/F タイムアウトの設定 .....	10-29
	パラレルインターフェースの設定 .....	10-30
	パラレル /USB の設定 .....	10-31
	プリントデータキャプチャ .....	10-32
10.3	PageScope Web Connection の使い方 .....	10-33
	動作環境 .....	10-33
	アクセス方法 .....	10-33
	画面の構成 .....	10-34
	管理者モードへのログイン方法 .....	10-36
	Web ブラウザのキャッシュ機能について .....	10-38
	Internet Explorer の場合 .....	10-38
	Netscape の場合 .....	10-38
	ユーザー モード .....	10-39

---

システムタブ	10-39
システムタブ – 概要情報	10-39
システムタブ – 装置情報	10-40
システムタブ – 詳細 – 紙トレイ	10-41
システムタブ – 詳細 – 排紙トレイ	10-42
システムタブ – 詳細 – ハードディスク	10-43
システムタブ – 詳細 – インタフェース情報	10-44
システムタブ – 詳細 – 消耗品情報	10-45
システムタブ – カウンタ	10-46
システムタブ – オンラインサポート	10-47
ジョブタブ	10-48
ジョブタブ – アクティブジョブ一覧	10-48
ジョブタブ – 終了ジョブ一覧	10-49
プリントタブ	10-50
プリントタブ – 初期設定	10-50
プリントタブ – レポートタイプ	10-51
管理者モード	10-52
基本操作	10-52
システムタブ	10-53
システムタブ – 日時設定 – 手動設定	10-53
システムタブ – 日時設定 – NTP 設定	10-54
システムタブ – 管理者パスワード	10-55
システムタブ – 装置情報	10-56
システムタブ – オンラインサポート	10-57
システムタブ – インポート / エクスポート	10-58
システムタブ – メンテナンス – ネットワーク設定	
クリア	10-59
システムタブ – メンテナンス – リセット	10-60
システムタブ – 警告メール	10-61
プリントタブ	10-62
プリントタブ – インタフェース	10-62
プリントタブ – 初期設定 – 一般設定	10-63
プリントタブ – 初期設定 – PCL 設定	10-65
プリントタブ – 初期設定 – PS 設定	10-66
スキャナ登録タブ	10-66
ネットワークタブ	10-67
ネットワークタブ – TCP/IP 設定 – TCP/IP 設定	10-67
ネットワークタブ – TCP/IP 設定 – IP フィルタリング	
設定	10-69
ネットワークタブ – NetWare 設定 – NetWare 設定	10-70
ネットワークタブ – NetWare 設定 – NetWare 状態	10-72
ネットワークタブ – IPP 設定	10-73
ネットワークタブ – SNMP 設定	10-74
ネットワークタブ – SMB 設定 – プリント設定	10-75
ネットワークタブ – AppleTalk 設定	10-76
ネットワークタブ – SSL/TLS 設定	10-76

---

ネットワークタブ – 認証	10-76
<b>10.4 プリントジョブ管理</b>	<b>10-77</b>
ジョブ動作の指定	10-77
設定方法（Windows の場合）	10-77
設定方法（Macintosh OS X の場合）	10-78
ジョブの保存	10-79
ジョブの呼出し	10-80
部門管理機能を使用している本機でプリントする	10-83
設定方法（Windows の場合）	10-84
設定方法（Macintosh OS X の場合）	10-85
PageScope Web Connection でのジョブ操作	10-85
<b>11 トラブルシューティング</b>	
<b>11.1 プリントできない</b>	<b>11-1</b>
<b>11.2 設定できない／設定したとおりにプリントできない</b>	<b>11-3</b>
エラーメッセージ	11-5
<b>12 付録</b>	
<b>12.1 製品仕様</b>	<b>12-1</b>
<b>12.2 コンフィグレーションページ</b>	<b>12-3</b>
<b>12.3 フォントリスト</b>	<b>12-4</b>
PCL フォントリスト	12-4
PS フォントリスト	12-5
TEST Page	12-6
<b>12.4 用語集</b>	<b>12-7</b>
<b>12.5 索引</b>	<b>12-12</b>

## 本書について

本書は、コニカミノルタプリンタコントローラで実現できるプリント機能のユーザーズガイドです。コピー機能、スキャナ機能、ボックス機能、ファックス機能についてはそれぞれのユーザーズガイドをごらんください。

本書はパソコンの基本操作、およびコピー機の基本操作を理解しているお客様を対象としています。Windows または Macintosh の各オペレーティングシステムの操作方法や、アプリケーションの操作方法は、それぞれの操作説明書をごらんください。

### マニュアルの構成

コントローラに関するユーザーズガイドは機能ごとに以下のように分かれています。

ユーザーズガイド	説明
プリンタ機能編	本書です。プリンタとして使用するときにお読みください。
プリンタ機能編 クイックガイド	プリンタとして使用するときにお読みください。
ネットワーク／スキャナ機能編	スキャナとして使用するときにお読みください。
ボックス機能編	本機のボックス機能を使用するときにお読みください。
ファクシミリ機能編	ファックスとして使用するときにお読みください。

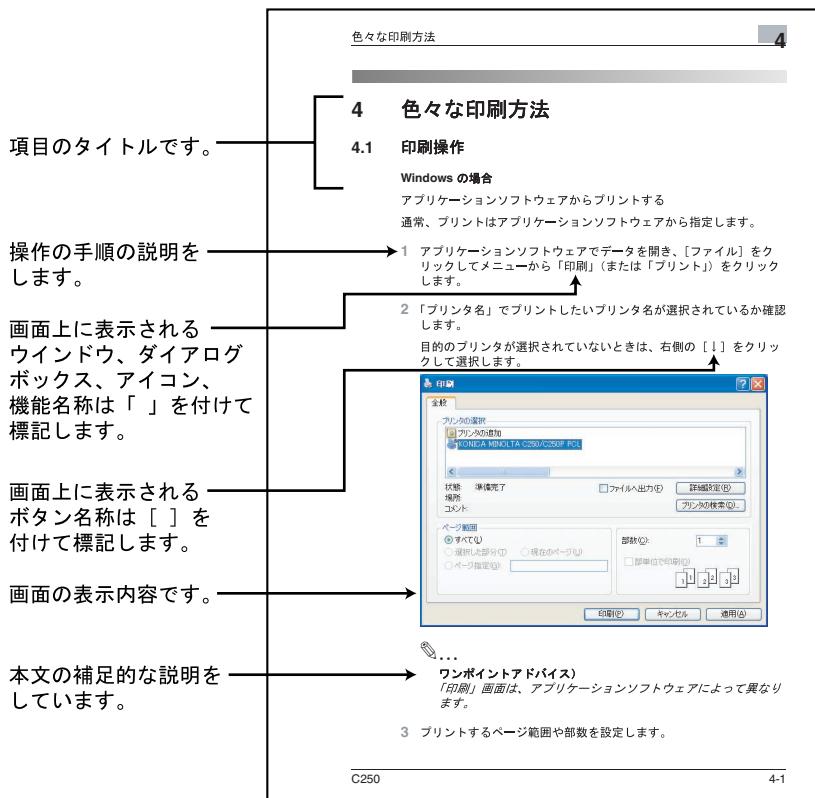
### 表記について

製品名	
bizhub C250 プリンタ本体（コピー機）	本機、コピー機、またはプリンタ
内蔵ネットワークコントローラ	ネットワークコントローラ
プリンタコントローラ、コピー機を組み合 わせたプリンティングシステム	プリンティングシステム
Microsoft Windows	Windows

## 本書で使用している画面について

プリンタドライバの機能に関する説明は、とくに断りのない限り、Windows XP用プリンタドライバを使用して説明しています。

### 本書の使い方



# 1 概要

## 1.1 プリンタコントローラ用の CD 構成

プリンタコントローラ用の CD には、以下のものがあります。

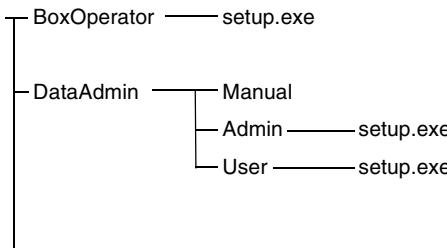
- User Software CD-ROM
- PostScript Printer Driver CD-ROM (Win/Mac)

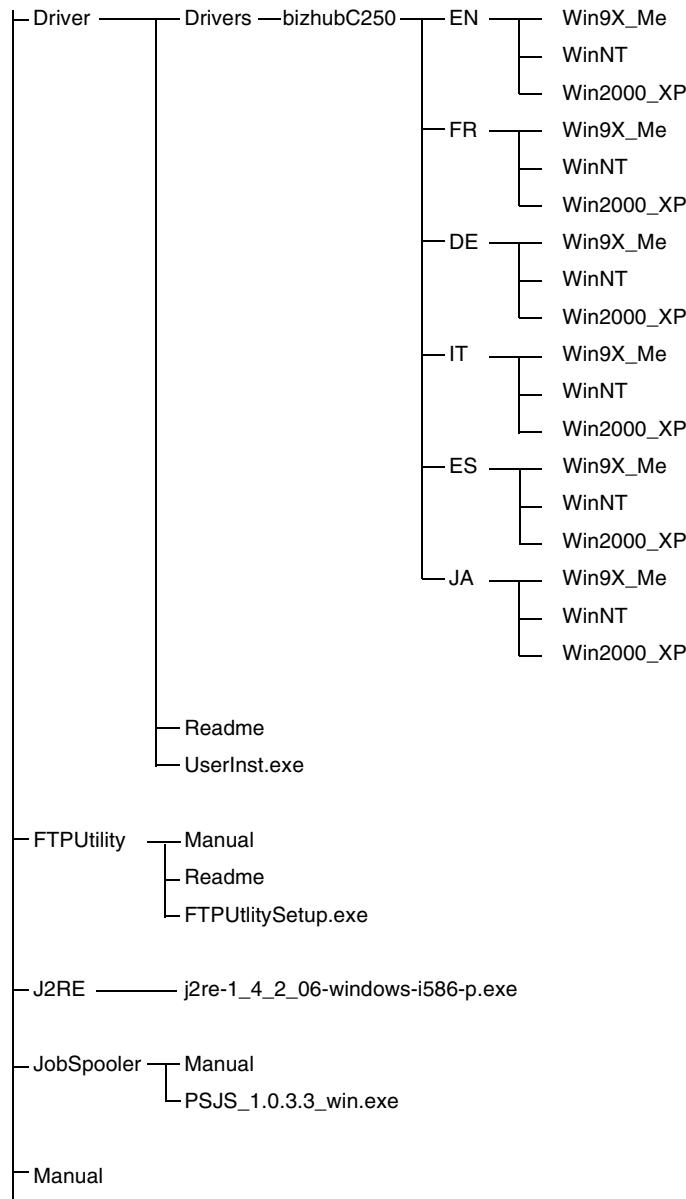
各 CD には、プリンタドライバ（Windows 用、Macintosh 用）やユーティリティのほかに、ユーザーズガイド、リリースノートなどのドキュメントデータやスクリーンフォントが収録されています。

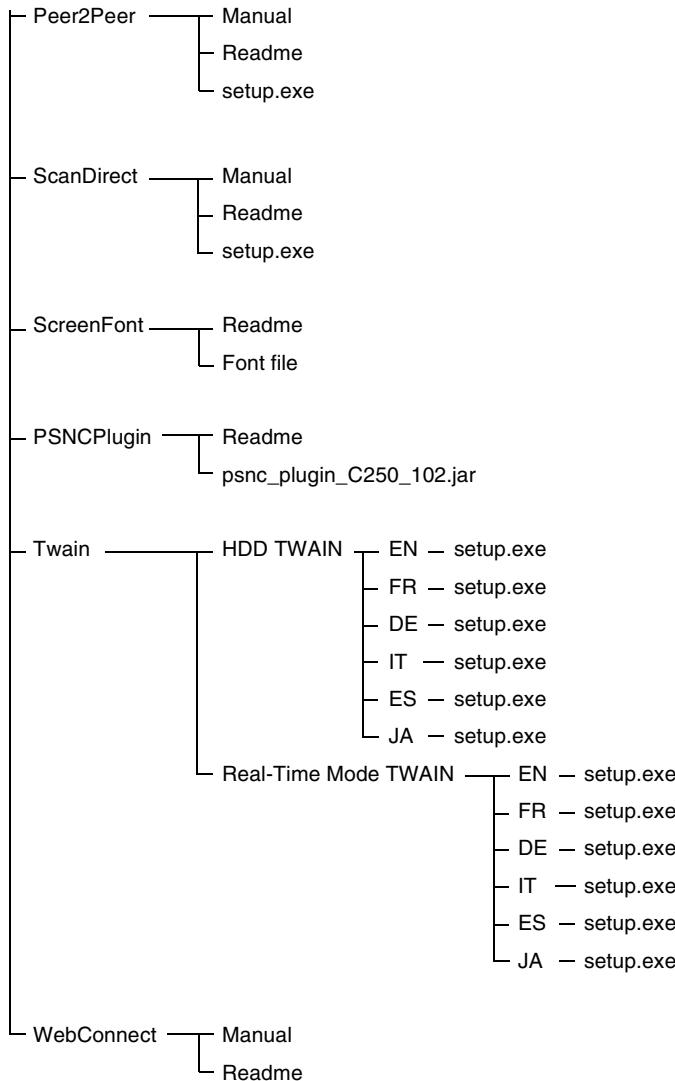
CD 内のプリンタドライバの構成は以下のとおりです。フォルダやファイルの検索などの参考にしてください。

- ここでは、フォルダ名やファイル名をルートから記述していない場合があります。
- ファイルは全て JA (Japanese) フォルダ内のものをご使用ください。

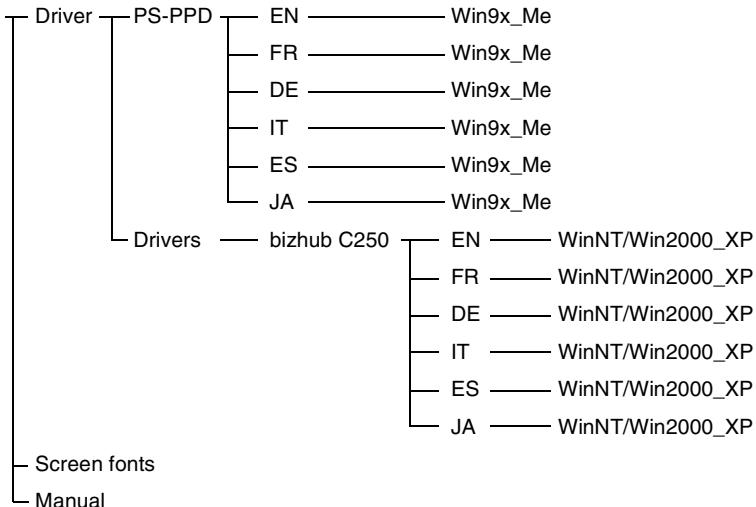
User Software CD-ROM : Windows 用



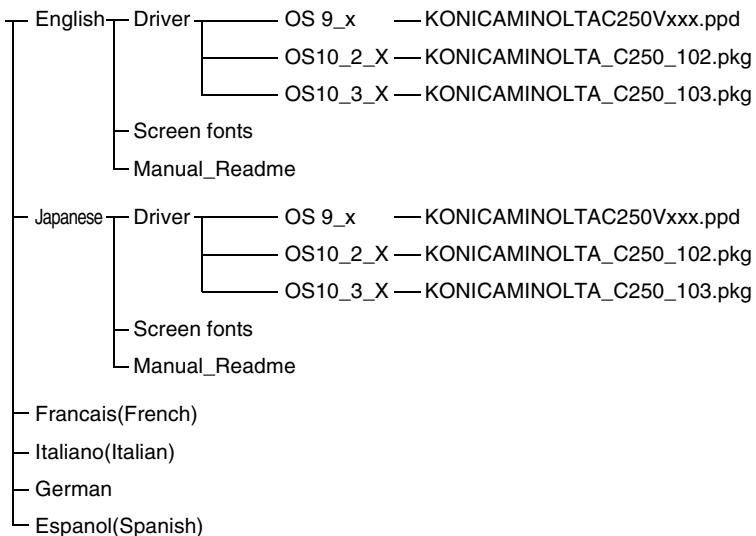




### PostScript Printer Driver CD-ROM (Win) : Windows 用



### PostScript Printer Driver CD-ROM (Mac) : Macintosh 用



\*English/Japanese以外の言語についても同様の構造です。

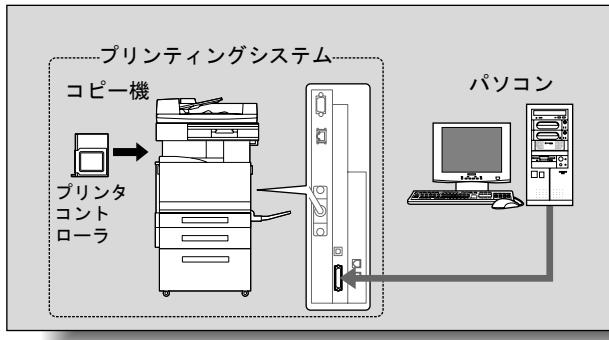
## 1.2 プリンタコントローラとは

プリンタコントローラは、コピー機にプリンタ機能、ネットワークプリント機能を実現するための装置です。

### プリンタコントローラの役割

プリンタコントローラは、あらかじめ、コピー機に内蔵されています。

プリントイングシステムとつながっているパソコン上のアプリケーションからプリントができます。コピー機をネットワークプリンタとして使用する場合も、パソコン上のアプリケーションからプリントができます。



### プリンタコントローラでできること

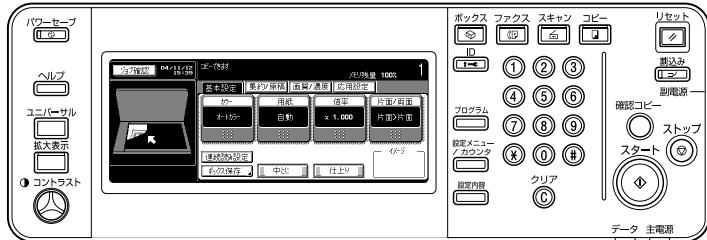
プリンタコントローラは、以下の機能を持っています。

- パソコンからのプリント機能（PCL/PS 各プリンタドライバ使用）
- TCP/IP、NetBEUI、IPX/SPX、AppleTalkなどのネットワークプロトコルをサポート
- SMB 印刷（Windows 印刷）、LPR 印刷、IPP 印刷などを利用した、ネットワーク経由によるプリント機能
- パソコンを使用したファクス機能（FAX 送信）
- ネットワーク経由での、クライアント PC からの本機／プリンタコントローラの設定（Web ブラウザ使用）
- プリント枚数の管理（ユーザ認証・部門管理機能）

## 各モード

プリンタドライバの設定は主にパソコンで行いますが、コピー機の操作パネルでフォントリストのプリントやコントローラの設定、プリント時の初期設定ができます。また、モードを切換えることによってファクシミリやスキャナとして使うこともできます。

モードの切換えは、操作パネルの各モードに対応するキーで行います。



### 【コピー】

本体をコピー機として使用します。

### 【スキャン】

本体をスキャナとして使用します。

### 【ファクス】

本体をファクシミリとして使用します。

### 【ボックス】

本体にジョブを保存したり、ネットワーク上のパソコンへ転送するドキュメントフォルダとして使用します。



#### ワンポイントアドバイス)

どのモードでも、本体をプリンタとして使用することができます。

プリント時の初期設定を変更する場合は、設定メニューで行います。

## プリントの流れ

プリンタとして本プリントシステムを使用するときの大まかな処理の流れは以下のとおりです。

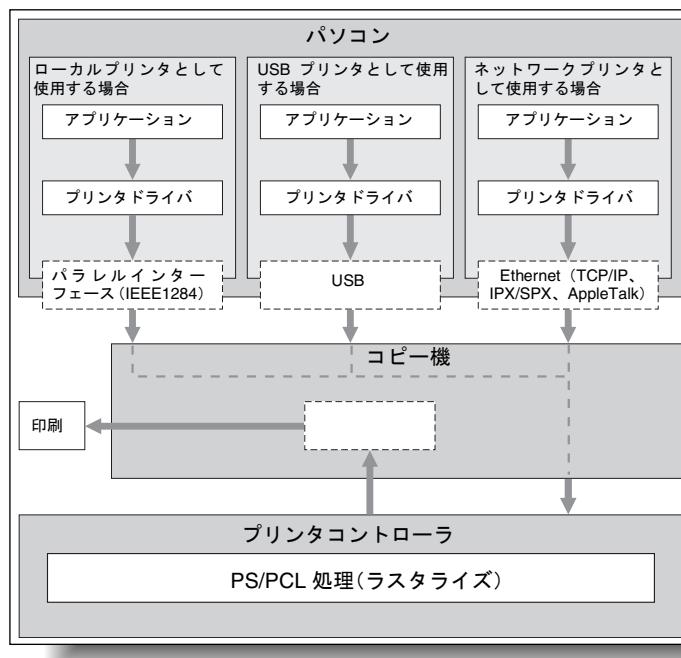
アプリケーションから送られたプリントコマンドは、プリンタドライバが受け取ります。

ローカルプリンタとして使用する場合はパラレルインターフェース (IEEE1284)、USB プリンタとして使用する場合は USB インターフェース、ネットワークプリンタとして使用する場合は Ethernet (TCP/IP、IPX/SPX、AppleTalk) を通じてデータが本機に送られ、本機からプリンタコントローラに渡されます。プリンタコントローラでは画像のラスタライズ（出力する文字や画像をピットマップデータに展開する）処理が行われます。このデータが本機からプリントされます。



### 重要)

USB とパラレルインターフェースは同時に使用することができません。



プリンタとして機能している途中で、コピー機能を使うこともできます。コピー機として使用するときは、操作パネルの【コピー】を押すと、コピーができるようになります。

コピー中にプリントジョブを受信したときは、データが本機のメモリに蓄積されます。コピーが終了すると自動的に出力を開始します。

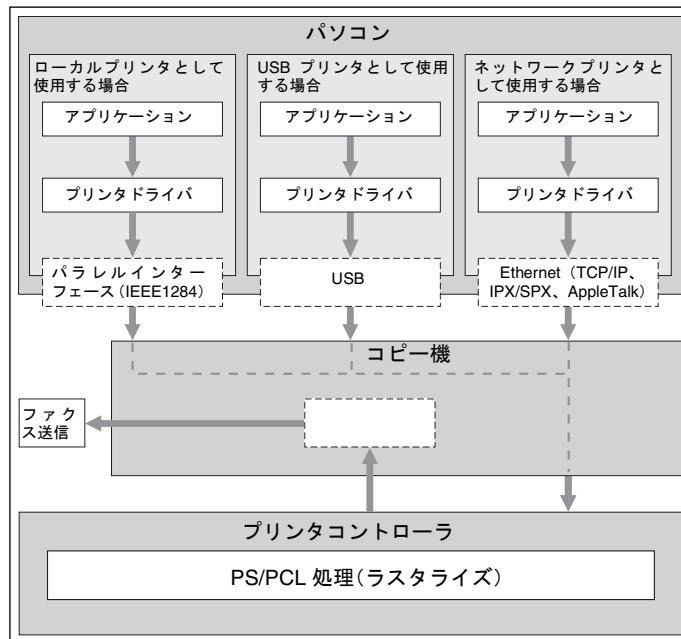
### PC-Fax 送信の流れ

通常、ファックスを送信するときは、紙に書かれたものや印刷されたものをファックスにセットして送信します。

PC-FAX を用いると、パソコンから操作するだけで、紙を使用せずにファックスを直接送信できます。

アプリケーションから送られた送信コマンドは、プリンタ ドライバが受け取ります。

ローカルプリンタとして使用する場合はパラレルインターフェース (IEEE1284)、USB プリンタとして使用する場合は USB インターフェース、ネットワークプリンタとして使用する場合は Ethernet (TCP/IP、IPX/SPX、AppleTalk) を通じてデータが本機に送られ、本機からプリンタコントローラに渡されます。プリンタコントローラでは画像のラスタライズ（出力する文字や画像をビットマップデータに展開する）処理が行われます。このデータが本機のメモリに蓄積され、通常のファクスジョブと同様にファックス送信されます。



## 1.3 動作環境

本プリンティングシステムを使うために必要なシステムと、接続に使用するインターフェースについて説明します。

### 接続できるパソコンと OS

接続するパソコンが、以下の条件を満たしていることを確認してください。

#### Windows

オペレーティングシステム	Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows NT4.0 (Service Pack 6a 以降)、Windows 2000 Professional (Service Pack 4 以降)、Windows XP Home Edition/Professional (Service Pack 2 以降)、Windows Server 2003
CPU	Pentium 以上
メモリ	OS が推奨するメモリ容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリリソースが十分であること。
ドライブ	CD-ROM ドライブ
Web ブラウザ (PageScope Web Connection 使用時)	Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨 (JavaScript 有効・Cookie 有効) Internet Explorer Ver.5.X の使用の場合、Microsoft XML parser MSXML3.X のインストールが必須 Netscape Navigator Ver.7.02 以降 (JavaScript 有効・Cookie 有効) J2RE (Java 2 Runtime Environment) 必須

#### Macintosh

オペレーティングシステム	Macintosh OS 9.2/OS X (10.2 または 10.3)
CPU	PowerPC
メモリ	OS が推奨するメモリ容量
ドライブ	CD-ROM ドライブ
Web ブラウザ (PageScope Web Connection 使用時)	Netscape Navigator Ver.7.02 以降 (JavaScript 有効・Cookie 有効)

## 接続に使用するインターフェース

本プリンティングシステムとパソコンを接続するには、以下の種類のインターフェースが使用できます。

### Ethernet

本プリンティングシステムをネットワークプリンタとして使用するときに接続します。

100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP (LPD/LPR、ピア・ツー・ピア)、IPX/SPX (NetWare)、AppleTalk (EtherTalk) などに対応しています。

### パラレルインターフェース（オプション）

本プリンティングシステムをローカルプリンタとして使用するときに接続します。

接続には Windows のパソコンと IEEE1284 パラレルケーブルが必要です。パラレルケーブルは、一端がアンフェノール 36pin オスコネクタのものを使用してください。

パラレルインターフェースはコンパチブル、ニブル、ECP の各モードに対応しています。

### USB インターフェース（オプション）

本プリンティングシステムを USB プリンタとして使用するときに接続します。

Windows パソコン、Macintosh (OS 9.2、OS X 10.3 以降) で接続できます。接続には USB ケーブルが必要です。USB ケーブルは A タイプ (4 ピンオス) - B タイプ (4 ピンオス) のものを使用してください。

USB ケーブルは 3 m 以下をおすすめいたします。

USB とパラレルインターフェースは同時に使用することができません。  
管理者モードで切換えます。



...

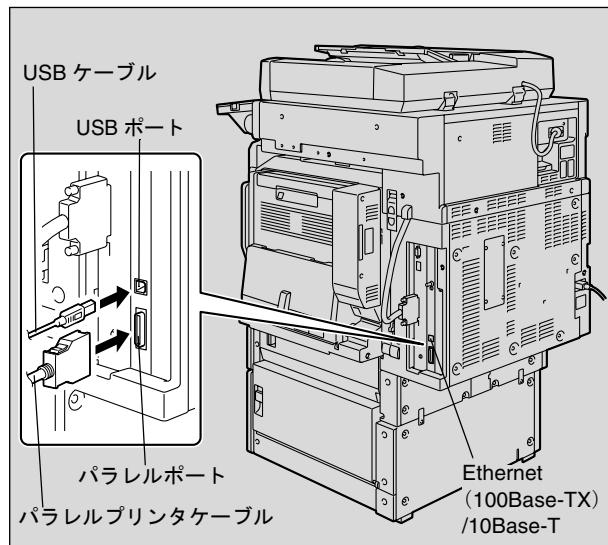
#### ご注意)

OS X 10.2 では、USB インターフェースに接続してプリントすることはできません。

## 接続図

プリンタケーブルは、本機背面の各ポートに接続します。

コピー機背面



## 1.4 セットアップの流れ

本プリンティングシステムをご使用いただくためには、セットアップを行なう必要があります。

セットアップとは、本機とパソコンを接続し、プリンタドライバをパソコンへインストールする一連の準備をいいます。

セットアップする場合は、以下の流れとなります。

- 1 本機とパソコンを接続する。（「接続に使用するインターフェース」（p. 1-10）参照）
- 2 プリンタドライバをインストールする。（「プリンタドライバのインストール」（p. 2-1）参照）
- 3 ネットワーク接続の場合は、ネットワークを設定する。（「ネットワーク印刷の設定」（p. 3-1）参照）
- 4 テストプリントをして確認をする。（「テスト印刷」（p. 4-2）参照）

プリンタドライバのインストールは、本機との接続方法やご使用になるパソコンのOS、プリンタドライバの種類によって、手順が異なります。



...

### ワンポイントアドバイス)

本機とパソコンを接続する場合は「接続に使用するインターフェース」（p. 1-10）をごらんください。

既存のプリンタドライバをアップデートする場合は、先に既存のプリンタドライバを削除してください。詳しくは、「プリンタドライバをアンインストールする場合」（p. 2-16）、（p. 2-23）をごらんください。

必要に応じて、操作パネルの設定メニューでインターフェースのタイムアウト設定やパラレルインターフェースを使用する場合のモード（Compatible、Nibble、ECP）設定を行います。詳しくは、「管理者モードのプリンタ設定」（p. 10-25）をごらんください。パラレル/USB のローカルポートを使用する場合は、ご使用するポートを選択する必要があります。詳しくは、「パラレル/USB の設定」（p. 10-31）をごらんください。

5 スクリーンフォントをインストールする。

- User Software CD-ROM および PostScript Printer Driver CD-ROM には、欧文の TrueType フォントが「スクリーンフォント」として添付されています。
- インストールについては、OS 標準のフォントの追加から行います。
- 詳細は、OS のヘルプをごらんください。
- スクリーンフォントは CD-ROM の Screenfont または、Screenfonts フォルダにあります。
- Mac のフォントの場合、フォントが圧縮されていますので、解凍後、インストールをしてください。



## 2 プリンタ ドライバのインストール

### 2.1 プリンタ ドライバの種類と対応 OS

本プリンティングシステムを使用するためには、プリンタ ドライバのインストールが必要です。プリンタ ドライバとは、出力するデータの処理などを制御するプログラムで、使用する前に付属の CD からパソコンにインストールします。

付属の CD に含まれるプリンタ ドライバと、対応しているパソコンの OS は以下のとおりです。必要なプリンタ ドライバをインストールしてください。

ページ記述言語	プリンタ ドライバ	対応 OS
PCL PCL XL	コニカミノルタ製 ドライバ	Windows 98 Second Edition、 Windows Me、Windows NT4.0 (SP6a)、 Windows 2000 Professional (SP4 以降)、 Windows XP Home Edition/Professional (SP2 以降)、 Windows Server 2003
PostScript3 Emulation	コニカミノルタ製 (PS Visual)	Windows NT4.0 (SP6a)、 Windows 2000 Professional (SP4 以降)、 Windows XP Home Edition/Professional (SP2 以降)、 Windows Server 2003
	PostScript PPD ドライバ	Windows 98 Second Edition、 Windows Me  Macintosh OS 9.2 以降 Macintosh OS X 10.2/10.3

\* PCL プリンタ ドライバは「User Software CD-ROM」、PostScript プリンタ ドライバは「PostScript Printer Driver CD-ROM」に含まれています。

## 2.2 Windows で使用する場合

Windows プリンタドライバのインストール方法は、接続方法や使用するプリンタドライバによって異なります。また、パソコンの OS によってインストール方法が異なります。お使いのパソコンの OS に合わせて、以下の参照ページをごらんください。

プリンタドライバ	接続方法	参照ページ
PCL	全ての接続方法	「インストーラによる自動インストール」(p. 2-3)
PostScript PCL	ネットワーク接続	「プリンタの追加ウィザードを使ったインストール」(p. 2-6) 「Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0 の場合」(p. 2-10) 「Windows XP/Server 2003 の場合」(p. 2-6)
	パラレル接続	「プラグアンドプレイを使ったインストール」(p. 2-12) 「Windows 98SE の場合」(p. 2-12) 「Windows Me/2000 の場合」(p. 2-13) 「Windows XP/Server 2003 の場合」(p. 2-14)
		「プリンタの追加ウィザードを使ったインストール」(p. 2-6) 「Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0 の場合」(p. 2-10) 「Windows XP/Server 2003 の場合」(p. 2-6)
	USB 接続	「プラグアンドプレイを使ったインストール」(p. 2-12) 「Windows 98SE の場合」(p. 2-12) 「Windows Me/2000 の場合」(p. 2-13) 「Windows XP/Server 2003 の場合」(p. 2-14)



...

### ワンポイントアドバイス)

ネットワーク環境での設定方法については、「ネットワーク印刷の設定」(p. 3-1) で説明しています。あらかじめ他のネットワークの設定が必要ですので、ここではローカル接続の方法でインストールします。

Windows XP/Server 2003/2000/NT 4.0 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタドライバをインストールしてください。



...

### ご注意)

パラレル接続およびUSB接続を行うには、オプションのローカル接続キットが必要です。

## インストーラによる自動インストール

本インストーラを利用すると、パソコンと同じ TCP/IP ネットワーク上の本機や、USB で接続されている本機が自動的に検出され、必要なプリンタ ドライバがインストールされます。また、手動で指定してインストールすることも可能です。本機を手動で指定する場合は「インストールしたいプリンタ・複合機を指定」してインストールします。



...

### ワンポイントアドバイス)

ネットワーク接続の場合本機を自動的に検出するため、あらかじめ本機に IP アドレスを設定しておきます。設定方法については、「本機の IP アドレスの設定」(p. 3-5) をごらんください。

*Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003* にインストールするときは、管理者権限が必要です。

USB またはパラレル接続で、新しいハードウェアを追加するための ウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

IPP 印刷を行う場合は、プリンタ ドライバのインストール時に IPP 印刷用の設定を行うため、ここでプリンタ ドライバをインストールする必要はありません。IPP 印刷については、「IPP 印刷 (Windows 2000/XP/Server 2003)」(p. 3-16) をごらんください。

## インストーラの動作環境

OS	Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows NT4.0 (Service Pack 6a 以降) <sup>*</sup> 、Windows 2000 Professional (Service Pack 4 以降)、Windows XP Home Edition/Professional (Service Pack 2 以降)、Windows Server 2003
CPU	Pentium 300MHz 以上を推奨
メモリ	64MB 以上 (128MB 以上を推奨)

\* Windows NT4.0 で、ネットワークに TCP/IP プロトコルで直接接続されている本機をインストールするには、お使いのパソコンにあらかじめ Microsoft TCP/IP 印刷サービスがインストールされている必要があります。

## インストール

- 1 「User Software CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

インストーラが起動します。

- 2 「プリンタのインストール」をクリックします。

プリンタ ドライバのインストーラが起動します。

- 3 使用許諾契約書の全ての条項に同意する場合は、[同意します] をクリックします。

- 同意していただけない場合は、インストールできません。
- 左下のボックスでインストーラの表示言語を変更することができます。



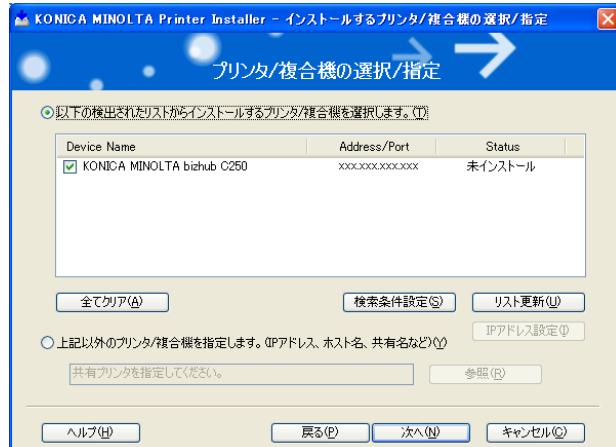
- 4 セットアップの内容を選択する画面が表示された場合は「プリンタのインストール」を選択します。

接続されているプリンタ・複合機が検出されます。

## 5 本機を選択してインストールを進めます。

以降は、表示される画面にしたがって操作してください。

- 本機の接続が認識できない場合や、パラレル接続の場合は、リストに表示されません。この場合は、画面下部の「上記以外のプリンタ／複合機を指定します。(IP アドレス、ホスト名、共有名など)」を選択し、手動で指定してください。



## プリンタの追加ウィザードを使ったインストール



### ワンポイントアドバイス)

IPP 印刷を行う場合は、プリンタ ドライバのインストール時に IPP 印刷用の設定を行うため、ここでプリンタ ドライバをインストールする必要はありません。

IPP 印刷については、「IPP 印刷 (Windows 2000/XP/Server 2003)」(p. 3-16) をご覧ください。

### Windows XP/Server 2003 の場合

- 1 Windows プリンタ ドライバ用の CD をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。
  - PCL コニカミノルタ製 ドライバ : User Software CD-ROM
  - PostScript コニカミノルタ製 ドライバ : PostScript Printer Driver CD-ROM
- 2 [スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。



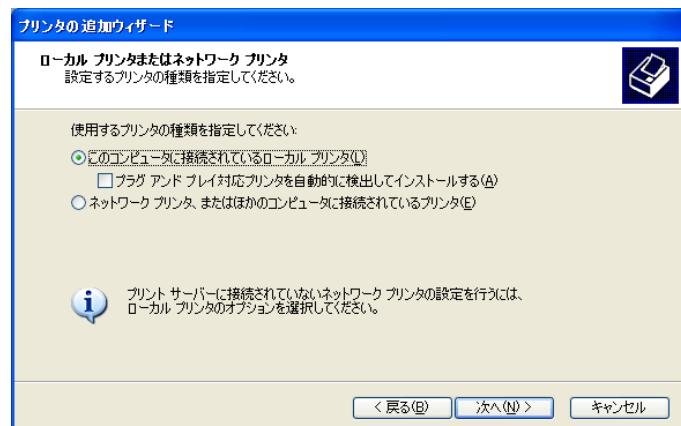
### メモ)

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

- 3 Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。  
 Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。



- 「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。

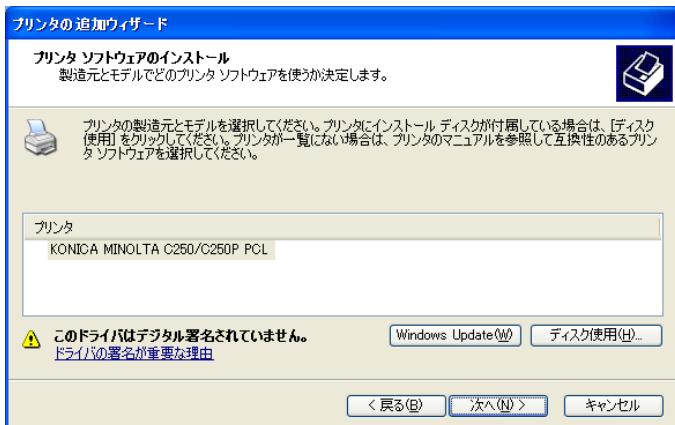




### ワンポイントアドバイス)

ネットワーク環境での設定方法については、「ネットワーク印刷の設定」(p. 3-1)で説明しています。あらかじめ他のネットワークの設定が必要ですので、ここではローカル接続の方法でインストールします。

- 6 「プリンタポートの選択」ダイアログが表示されます。ここでは、「LPT1」を選択して、[次へ]をクリックします。
- 7 [ディスク使用]をクリックします。
- 8 [参照]をクリックします。
- 9 各CD-ROM内のプリンタドライバのあるフォルダを使用するOSやプリンタドライバに応じて指定し、[OK]をクリックします。
  - PCLコニカミノルタ製ドライバ：User Software CD-ROM「Driver¥Drivers¥bizhubC250」フォルダ
  - PostScriptコニカミノルタ製ドライバ：PostScript Printer Driver CD-ROM「Driver¥Drivers」フォルダ
- 10 [OK]をクリックします。
- 「プリンタ」リストが表示されます。



- 11 [次へ]をクリックします。

- 12 画面の指示にしたがって操作します。



...

**ワンポイントアドバイス)**

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。

ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテストプリントを行ってください。

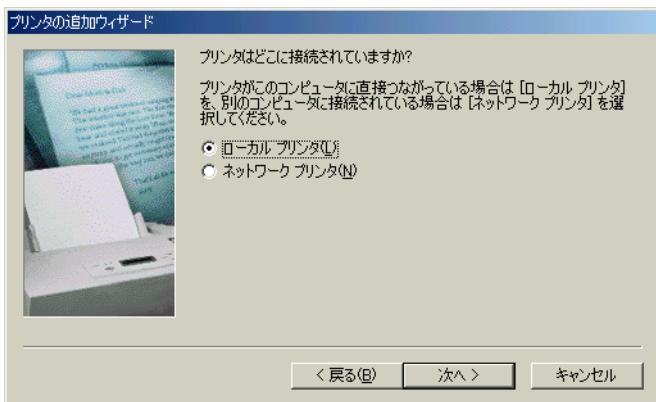
**13** インストール終了後、インストールしたプリンタアイコンが「プリンタとFAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

**14** CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタ ドライバのインストールが完了しました。

### Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0 の場合

- 1 Windows プリンタ ドライバ用の CD をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。
  - PCL コニカミノルタ製 ドライバ : User Software CD-ROM
  - PostScript コニカミノルタ製 ドライバ : PostScript Printer Driver CD-ROM
- 2 [スタート] をクリックして、「設定」 - 「プリンタ」をクリックします。
  - 「プリンタ」 ウィンドウが表示されます。
- 3 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。
  - 「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 4 画面の指示にしたがって操作します。
- 5 接続方法を指定する画面で、「ローカルプリンタ」を選択します。



#### ワンポイントアドバイス)

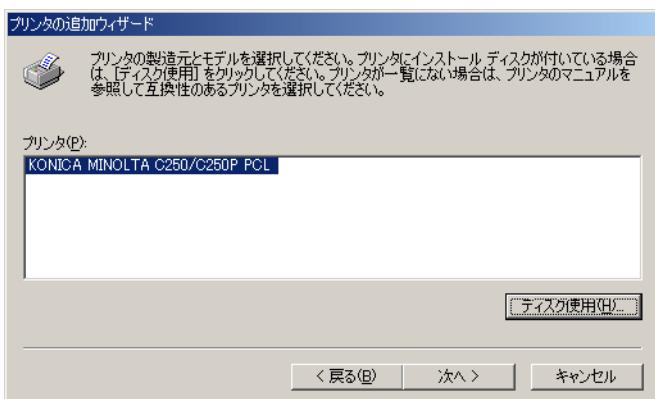
ネットワーク環境での設定方法については、「ネットワーク印刷の設定」(p. 3-1) で説明しています。あらかじめ他のネットワークの設定が必要ですので、ここではローカル接続の方法でインストールします。

- 6 [次へ] をクリックします。
- 7 [ディスク使用] をクリックします。

- 8** [参照] をクリックします。
- 9** CD-ROM 内のプリンタ ドライバのあるフォルダを使用する OS やプリンタ ドライバに応じて指定し、[OK] をクリックします。

OS	プリンタ ドライバ	CD
Windows 98SE/ Me	PCL コニカミノルタ 製	User Software CD-ROM 「Driver¥Drivers¥bizhubC250」 フォルダ
	PostScript PPD	PostScript Printer Driver CD-ROM 「Driver¥PS-PPD」 フォルダ
Windows 2000	PCL コニカミノルタ 製	User Software CD-ROM 「Driver¥Drivers¥bizhubC250」 フォルダ
	PostScript コニカミノルタ 製	PostScript Printer Driver CD-ROM 「Driver¥Drivers」 フォルダ
Windows NT 4.0	PCL コニカミノルタ 製	User Software CD-ROM 「Driver¥Drivers¥bizhubC250」 フォルダ
	PostScript コニカミノルタ 製	PostScript Printer Driver CD-ROM 「Driver¥Drivers」 フォルダ

- 10** [OK] をクリックします。
- 「プリンタ」リストが表示されます。



- 11** [次へ] をクリックします。
- 12** 接続しているポートを指定します。ここでは、「LPT1」を選択します。
- 13** 画面の指示にしたがって操作します。



### ワンポイントアドバイス)

ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテストプリントを行ってください。

**14** インストール終了後、インストールしたプリンタアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

**15** CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタ ドライバのインストールが完了しました。

### プラグアンドプレイを使ったインストール

#### Windows 98SE の場合

**1** 本機とパソコンをパラレルケーブルまたは USB ケーブルで接続後、パソコンを起動します。



#### ご注意)

パソコンの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

**2** Windows プリンタ ドライバ用の CD をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

- PCL コニカミノルタ製ドライバ : User Software CD-ROM
- PostScript コニカミノルタ製ドライバ : PostScript Printer Driver CD-ROM

**3** 本機の主電源を入れます。

- 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが表示されます。

**4** [次へ] をクリックします。

**5** 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、[次へ] をクリックします。

**6** 「検索場所の指定」を選択し、[参照] をクリックします。

- 7 CD-ROM 内のプリンタ ドライバのあるフォルダを使用する OS やプリンタ ドライバに応じて指定し、[OK] をクリックします。
  - PCL コニカミノルタ製 ドライバ : User Software CD-ROM 「Driver¥Drivers¥bizhubC250」 フォルダ
  - PostScript PPD ドライバ : PostScript Printer Driver CD-ROM 「Driver¥Drivers」 フォルダ
- 8 [次へ] をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。
- 9 「新しいハードウェアの追加 ウィザード」 ダイアログが表示されるので、手順 4 ~ 8 を繰り返します。
- 10 インストール終了後、インストールしたプリンタアイコンが「プリンタ」 ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 11 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。  
これで、プリンタ ドライバのインストールが完了しました。

#### Windows Me/2000 の場合

- 1 本機とパソコンをパラレルケーブルまたは USB ケーブルで接続後、パソコンを起動します。

 ...  
ご注意)  
パソコンの起動中には、ケーブルの抜き差しを行わないでください。
- 2 Windows プリンタ ドライバ用の CD をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。
  - PCL コニカミノルタ製 ドライバ : User Software CD-ROM
  - PostScript コニカミノルタ製 ドライバ : PostScript Printer Driver CD-ROM
- 3 本機の主電源を入れます。
  - 「新しいハードウェアの検出 ウィザード」 ダイアログが表示されます。
- 4 「デバイスに最適なドライバを検索する（詳細）」（Windows Me の場合は、「適切なドライバを自動的に検索する（詳細）」）を選択し、[次へ] をクリックします。

- 5 Windows 2000 の場合は、「場所の指定」を選択し、[次へ] をクリックします。

Windows Me の場合は、「検索場所の指定」を選択し、[参照] をクリックします。

- 6 CD-ROM 内のプリンタ ドライバのあるフォルダを使用する OS やプリンタ ドライバに応じて指定し、[OK] をクリックします。

選択できるプリンタ ドライバ：

OS	プリンタ ドライバ	CD
Windows Me	PCL コニカミノルタ製	User Software CD-ROM 「Driver¥Drivers¥bizhubC250」 フォルダ
	PostScript PPD	PostScript Printer Driver CD-ROM 「Driver¥PS-PPD」 フォルダ
Windows 2000	PCL コニカミノルタ製	User Software CD-ROM 「Driver¥Drivers¥bizhubC250」 フォルダ
	PostScript コニカミノルタ製	PostScript Printer Driver CD-ROM 「Driver¥Drivers」 フォルダ

- 7 [OK] (Windows Me の場合は、[次へ]) をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。

- 8 [完了] をクリックします。

- 9 インストール終了後、インストールしたプリンタアイコンが「プリンタ」 ウィンドウに表示されていることを確認します。

- 10 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタ ドライバのインストールが完了しました。

### Windows XP/Server 2003 の場合

- 1 本機とパソコンをパラレルケーブルまたは USB ケーブルで接続後、パソコンを起動します。



#### ご注意)

パソコンの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 Windows プリンタドライバ用の CD をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

- PCL コニカミノルタ製ドライバ : User Software CD-ROM
- PostScript コニカミノルタ製ドライバ : PostScript Printer Driver CD-ROM

3 本機の主電源を入れます。

- 「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されます。



#### ワンポイントアドバイス)

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されない場合は、本体の主電源をオフ／オンしてください。

主電源スイッチをオフ／オンする場合は、主電源をオフにして、10秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

4 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、[次へ] をクリックします。

5 「次の場所で最適のドライバを検索する」から「次の場所を含める」を選択し、[参照] をクリックします。

6 CD-ROM 内のプリンタドライバのあるフォルダを使用する OS やプリンタドライバに応じて指定し、[OK] をクリックします。

- PCL コニカミノルタ製ドライバ : User Software CD-ROM  
「Driver¥Drivers¥bizhubC250」フォルダ
- PostScript コニカミノルタ製ドライバ : PostScript Printer Driver CD-ROM 「Driver¥Drivers」フォルダ

7 [次へ] をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。



#### ワンポイントアドバイス)

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。

8 [完了] をクリックします。

9 インストール終了後、インストールしたプリンタアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

10 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタ ドライバのインストールが完了しました。

### プリンタ ドライバをアンインストールする場合

プリンタ ドライバを再インストールするときなど、プリンタ ドライバを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバを削除してください。

- 1 Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」 – 「プリンタ」をクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。



#### メモ)

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

- 2 「プリンタ」(Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」) ウィンドウで、削除したいプリンタのアイコンを選択します。

- 3 パソコンの [Delete] キーを押し、プリンタ ドライバを削除します。

- 4 あとは、画面の指示にしたがって操作します。

- 削除が終了すると「プリンタ」(Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」) ウィンドウからアイコンが消えます。

Windows 98SE/Me/NT 4.0 の場合は、これでアンインストール完了です。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、引き続きサーバーのプロパティでプリンタ ドライバを削除します。

- 5 [ファイル] メニューをクリックし、[サーバーのプロパティ] をクリックします。

- 6 [ドライバ] タブをクリックします。

- 7 「インストールされたプリンタ ドライバ」一覧から、削除したいプリンタ ドライバを選択し、[削除] をクリックします。

- 8 削除の確認画面で [はい] をクリックします。

9 [プリントサーバーのプロパティ] 画面と「プリンタ」(Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」) ウィンドウを閉じます。

10 パソコンを再起動します。



...  
ご注意)

必ず再起動してください。

これでプリンタ ドライバの削除は完了です。

## 2.3 Macintosh で使用する場合

Macintosh プリンタ ドライバのインストール方法は、Mac OS のバージョンおよび使用するドライバによって異なります。お使いの Mac OS に合わせて、以下の参照ページをごらんください。

Mac OS	プリンタ ドライバ	参照ページ
Macintosh OS X 10.2/10.3	PostScript PPD	「プリンタ ドライバのインストール」(p. 2-18)
Macintosh OS 9.2 以降	PostScript PPD	「プリンタの選択」(p. 2-20)



### ご注意)

OS X 10.2 では、USB インターフェースに接続してプリントすることはできません。

### プリンタ ドライバのインストール

#### Macintosh OS X の場合

- 1 Macintosh を起動します。
- 2 Macintosh 用の CD をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。



### ご注意)

アプリケーションソフトが起動しているときは、全て終了しておきます。

- 3 CD の「Japanese」—「Driver」—「OS10\_2\_x」または「OS10\_3\_x」フォルダをダブルクリックして開きます。
- 4 Mac OS のバージョンに合わせて、ドライバ用のファイルをデスクトップ上にコピーします。  
OS X 10.2 : KONICAMINOLTA\_C250\_102.pkg  
OS X 10.3 : KONICAMINOLTA\_C250\_103.pkg
- 5 デスクトップ上にコピーしたファイルをダブルクリックします。



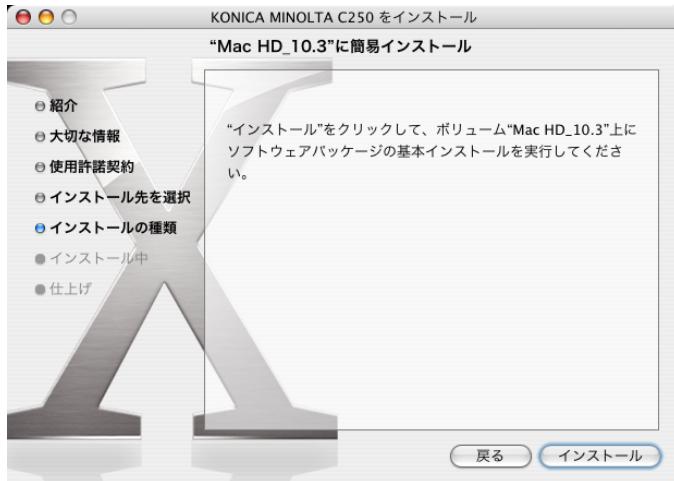
### ワンポイントアドバイス)

途中で、管理者の名前とパスワードを要求されますので入力してください。

管理者の名前とパスワードは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

[キャンセル] を押すと、インストーラは終了します。

- 6 「インストール」画面が表示されるまで、画面の指示にしたがって[続ける] をクリックします。
- 7 「簡易インストール」画面で、「インストール」をクリックします。
  - プリンタドライバがパソコンにインストールされます。インストールが終了すると、メッセージが表示されます。



### ワンポイントアドバイス)

2回目以降のインストールでは、「インストール」ボタンが「アップグレード」に変わることがあります。

- 8 [閉じる] をクリックします。

これで、プリンタドライバのインストールが完了しました。

続いて、プリンタの選択をしてください。

## プリンタの選択

### Macintosh OS X の場合

本機接続後、[プリントセンター]（または [プリンタ設定ユーティリティ]）で使用するプリンタを選択すると、プリンタとして使用できます。

- 1 インストールされた「HDD」 – 「アプリケーション」 – 「ユーティリティ」内にある [プリントセンター]（または [プリンタ設定ユーティリティ]）をダブルクリックして開きます。
- 2 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、[追加] をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、[追加] をクリックします。



#### ワンポイントアドバイス)

すでに使用可能なプリンタを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

- 3 該当する接続方法とプリンタ名を選択します。
- 4 「プリンタの機種」をクリックし、「KONICA MINOLTA」を選択します。
- 5 「KONICA MINOLTA C250 PS(P)」を選択し、[追加] をクリックします。



選択したプリンタが「プリンタリスト」に登録されます。

### Macintosh OS 9.2 の場合

本機に接続後、「セレクタ」で PostScript プリンタを選択し、「プリンタ記述ファイル (PPD ファイル)」を指定すると、プリンタとして使用できるようになります。

まず、「プリンタ記述ファイル (PPD ファイル)」をパソコンにコピーします。

- 1 Macintosh 用の CD をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 CD の「Japanese」－「Driver」－「OS 9\_x」フォルダをダブルクリックして開きます。
- 3 「KONICAMINOLTAC250JVxxx」の PPD ファイルを選択し、パソコンの「HDD」－「システムフォルダ」－「機能拡張」－「プリンタ記述ファイル」内にコピーします。

続いて、プリンタを選択します。

プリンタドライバは、Macintosh 標準の LaserWriter を使用します。

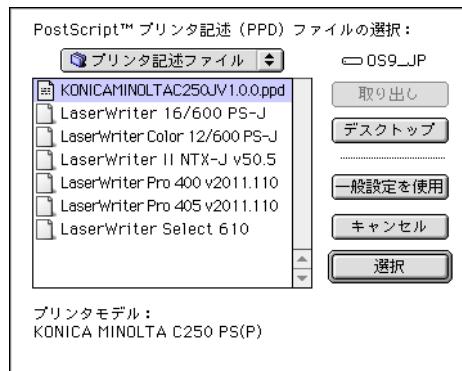
- 4 「アップルメニュー」の「セレクタ」を選択します。
- 5 「AppleTalk」が「使用」になっていることを確認して、[LaserWriter] アイコンをクリックします。
- 6 「PostScript プリンタの選択」一覧から、プリントイングシステムに該当するプリンタ名をクリックし、[作成] をクリックします。
  - PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルの選択画面が表示されます。



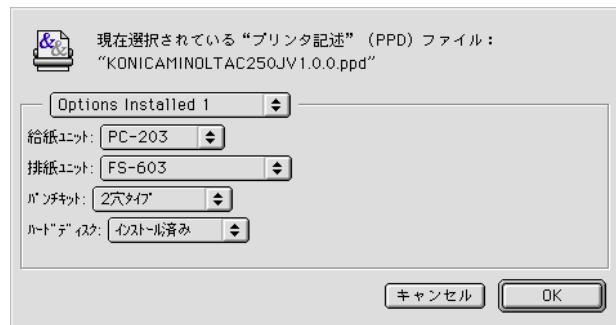
#### ご注意)

すでに別の PPD ファイルが選択されている場合は、手順 6 で [再設定] をクリックし、さらに表示される画面で [PPD の選択] をクリックします。

- 7 該当するPPDファイルをクリックし、[開く]（または[選択]）をクリックします。
- 追加オプションの設定画面が表示されます。



- 8 本機に装着しているオプションを設定します。



- 9 [OK] をクリックします。
- 「セレクタ」画面にもどります。
- 10 「セレクタ」画面を閉じます。

## プリンタ ドライバをアンインストールする場合

プリンタ ドライバを再インストールするときなど、プリンタ ドライバを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバを削除してください。



### ご注意)

アプリケーションソフトが起動しているときは、全て終了しておきます。

### Macintosh OS X の場合

- 1 「HDD」 – 「アプリケーション」 – 「ユーティリティ」 内にある  
[プリントセンター] (または [プリンタ設定ユーティリティ]) をダブルクリックして開きます。
- 2 削除するプリンタ名を選択し、[削除] をクリックします。
  - 選択したプリンタが削除されます。
- 3 「プリンタリスト」 を閉じます。
- 4 インストールした「HDD」の「ライブラリ」 – 「Printers」 – 「PPDs」 – 「Contents」 – 「Resoures」 – 「ja.lproj」 内の以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。
  - 「KONICA MINOLTA C250.gz」
- 5 「ライブラリ」 – 「Printers」 内の不要なファイルを削除します。

OS 10.3 の場合は、「ライブラリ」 – 「Printers」 – 「KONICAMINOLTA」 – 「filter」 内の「\*\*\*c250」 フォルダと、「ライブラリ」 – 「Printers」 – 「PDEs」 内の以下の 4 つのフォルダを「ゴミ箱」へドラッグします。

  - KONICAMINOLTAC250 Finishing.plugin
  - KONICAMINOLTAC250 ImageLayout.plugin
  - KONICAMINOLTAC250 Security.plugin
  - KONICAMINOLTAC250 Setup.plugin

OS 10.2 の場合は、「ライブラリ」 – 「Printers」 – 「PPD Plugins」 内の以下の 4 つのフォルダを「ゴミ箱」へドラッグします。

  - KONICAMINOLTAC250 Finishing.plugin
  - KONICAMINOLTAC250 ImageLayout.plugin
  - KONICAMINOLTAC250 Security.plugin
  - KONICAMINOLTAC250 Setup.plugin

OS 10.2 の場合は、続いて、[移動] – [フォルダへ移動] で「/usr」を入力して「/usr」 フォルダへ移動し、「libexec」 – 「cups」 – 「filter」 内の「\*\*\*c250」 フォルダをゴミ箱へドラッグします。

**6** パソコンを再起動します。

これでプリンタ ドライバの削除は完了です。

#### Macintosh OS 9.2 の場合

**1** 「HDD」 – 「システムフォルダ」 – 「機能拡張」 – 「プリンタ記述ファイル」内の「KONICAMINOLTAC250JVxxx」のPPDファイルを選択し、「ゴミ箱」へドラッグします。

○ プリンタ ドライバ関連ファイルが削除されます。

**2** パソコンを再起動します。

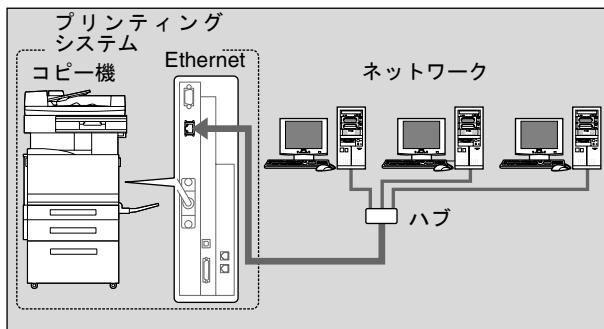
これでプリンタ ドライバの削除は完了です。

## 3 ネットワーク印刷の設定

### 3.1 ネットワーク機能の概要

#### ネットワーク機能とは

本機の Ethernet をネットワークに接続すると、本プリンティングシステムをネットワークプリンタとして使用できます。



本プリンティングシステムは、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP (LPD/LPR、IPP、SMB)、NetBEUI (SMB)、IPX/SPX (NetWare)、AppleTalk (EtherTalk) などに対応しています。



#### ワンポイントアドバイス)

ネットワーク設定を行う場合、「管理者モード」に入る管理者パスワードが必要です。

管理者パスワードについては、本機の管理者におたずねください。

## ネットワーク機能の特徴

本プリンティングシステムは、さまざまなネットワーク環境に柔軟に対応できるよう、以下のネットワーク機能を備えています。

- 10Base-T / 100Base-TX (Fast Ethernet) の自動選択。
- マルチプロトコルに対応 (TCP/IP、NetBEUI、IPX/SPX、AppleTalk (EtherTalk))
- Windows 98SE/Me からの SMB 印刷 (Windows 印刷) をサポート。
- Windows NT 4.0/2000/XP で TCP/IP 上の LPD/LPR をサポート。
- Novell Netware の Pserver および Rprinter (Nprinter) の両方をサポート。
- Novell NetWare のプリントサーバ機能に対応し、バインダリモードと Novell DirectoryService (NDS) の両方をサポート。
- DHCP で自動 IP アドレス取得が可能。

SMB 印刷による利用 (Windows 98SE/Me)

Windows 98SE/Me を OS とするパソコンで、専用のプリントサーバを必要としない印刷方法です。

LPR による利用 (Windows NT 4.0/2000/XP)

Windows NT 4.0/2000/XP で、LPD/LPR による印刷ができます。

Windows 98SE/Me では利用できません。



### ワンポイントアドバイス)

LPR (*Line Printer Request*) : Windows NT4.0/2000/XP で利用できるプリント要求方式です。キュー名は「Print」と入力します。

Port9100 による利用 (Windows98SE/Me/2000/XP)

Windows98SE/Me/2000/XP で、Port9100 による印刷 (Raw 印刷) ができます。



### ご注意)

Windows 98SE/Me で利用する場合は、Peer to Peer Printing Tool をインストールする必要があります。

## NetWareによる利用

Novell NetWare 4.x～6の、プリントサーバ機能に対応しています。

ネットワークOSとしてNovell NetWare 4.x～6が使用されているネットワークに本プリントティングシステムを接続し、クライアントからプリントサーバ（ネットワークコントローラ）にプリント指示を送ることができます。対応モードは、以下の3種類です。

- Nprinter
- Pserver
- NDPS



### ワンポイントアドバイス)

*NetWareの機能の詳細は、NetWareの操作説明書をごらんください。*

## Macintoshによる利用

Macintoshから、LPRまたはAppleTalkによる印刷ができます。

AppleTalk環境のプリントサーバに本プリントティングシステムを接続し、Macintoshから本機にプリント指示を送ることができます。

## 各Windows OSで選択可能なネットワーク接続方式

この章では、ネットワーク印刷に必要な設定について説明しています。

ネットワーク印刷方法（SMB印刷、LPR印刷、IPP印刷）により、設定方法が異なります。ご使用の環境に最適なネットワーク印刷方法を選択してください。

## Windows OSからのネットワーク印刷方法

	使用するプロトコル	Windows 98SE	Windows Me	Windows 2000	Windows XP	Windows NT 4.0	Windows Server 2003
SMB印刷	TCP/IP、NetBEUI	○	○	○	○		○
LPR印刷	TCP/IP			○	○	○	○
IPP印刷	TCP/IP			○	○		○
Port9100印刷	TCP/IP	△	△	○	○		○



### ご注意)

ネットワーク印刷の設定を行う前に、プリンタドライバをインストールしておいてください。詳しくは、「プリンタドライバのインストール」(p. 2-1)をごらんください。

ネットワーク印刷を行うには、インストールしたプリンタドライバのプリントのポートをネットワーク接続用に変更し、必要に応じて本機の設定を変更します。

ただし、IPP 接続の場合は、プリンタドライバのインストールから行う必要があります。

*Windows 98SE/Me で Port9100 印刷を利用する場合は、Peer to Peer Printing Tool をインストールする必要があります。*



### ワンポイントアドバイス)

*Windows 98SE/Me で Port9100 印刷を利用する場合、本機をネットワークに接続した状態で、インストーラを利用したプリンタドライバのインストールをすると、自動的に必要な Peer to Peer Printing Tool もインストールされ、Port9100 が作成されます。*

インストーラを使わなかった場合や、PCL プリンタドライバ以外を使用する場合は、個別に Peer to Peer Printing Tool をインストールする必要があります。詳しくは、「Port9100 印刷 (Windows 98SE/Me/2000/XP/Server 2003)」(p. 3-13)をごらんください。

## NetWare 環境でのネットワーク印刷方法

NetWare バージョン	使用するプロトコル	エミュレーション	サービスモード
NetWare 4.x	IPX	NDS／バインダリ	Pserver/Nprinter
NetWare 5.x/6	IPX	NDS	Pserver
	TCP/IP	NDPS(lpr)	

## 3.2 本機のIPアドレスの設定

まず、本機操作パネルで、IPアドレスを割当てます。



### ワンポイントアドバイス)

ネットワークに関する設定は、ネットワーク管理者の指示にしたがって行ってください。

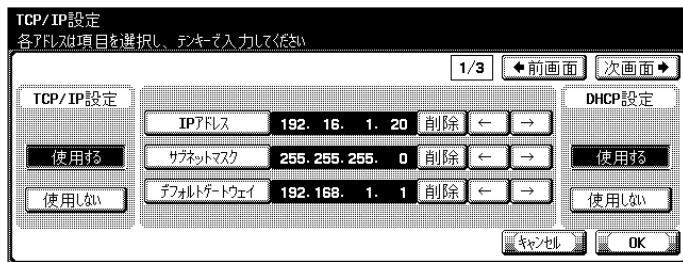
- 操作パネルで【設定メニュー / カウンタ】を押し、【管理者設定】キーを押して、管理者パスワードを入力します。



### ご注意)

「管理者モード」に入るにはパスワードが必要です。管理者パスワードについては、本機の管理者におたずねください。

- [ネットワーク設定] - [TCP/IP設定] の画面を表示します。



- 以下の項目を設定します。

**IPアドレス :** 本機のIPアドレスを設定します。

**サブネットマスク :** 接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。

**デフォルトゲートウェイ :** 接続するネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを設定します。



...

### ワンポイントアドバイス)

ここではDHCPサーバを使用せずにIPアドレスを入力していますが、DHCPサーバから自動的にIPアドレスを割当ることも可能です。「DHCP設定」の項目を「使用する」に設定すると、ネットワーク上のDHCPサーバから自動的に、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが割当てられるため、それらを手動で割当てる必要がありません。ただし、「DHCP設定」の項目を「使用する」に設定するにあたって、以下の点に注意してください。

ネットワーク管理者に、DHCPサーバが存在していることを確認してください。DHCPサーバが存在しない場合は、必ず「IPアドレス設定」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を設定してください。

DHCPサーバを使用してIPアドレス等が割当てられた場合、IPアドレスなどが自動的に変更される可能性があります。IPアドレス等が変更されると、IPアドレスでネットワーク上のプリンタを指定してプリントする設定にしている場合、通信ができないためプリントができなくなる可能性があります。「DHCP設定」の項目を「使用する」に設定した場合は、DHCPサーバ側の設定で、本機に割当てるIPアドレスを固定にすることを推奨します。

- 4 設定を有効にするため、本機の主電源の再投入（オフ／オン）を行います。



...

### ご注意)

主電源スイッチをオフ／オンする場合は、主電源をオフにして、10秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

電源をONにするとIPアドレスの設定が有効になります。

### 3.3 PageScope Web Connection へのアクセス方法

本機の IP アドレスを設定すると、PageScope Web Connection へアクセスできるようになります。

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザで直接アクセスします。

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 URL フィールドに、以下のように本機の IP アドレスを入力して、[Enter] キーを押します。
  - http:// <本機の IP アドレス> /  
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合  
http://192.168.1.20/

PageScope Web Connection の画面が表示されます。



#### ワンポイントアドバイス)

ユーザ認証機能が有効の場合は、ユーザ名とパスワードを入力する必要があります。

PageScope Web Connection については、「PageScope Web Connection の使い方」(p. 10-33) をごらんください。

## 3.4 SMB 印刷による利用

SMB 印刷（Windows 印刷）を利用して Windows 98SE/Me のパソコンから Microsoft ネットワーク上でダイレクト印刷を可能にします。

### 本機の設定

本機に IP アドレスを設定します。設定方法については、「本機の IP アドレスの設定」(p. 3-5) をごらんください。

また、PageScope Web Connection で以下のように Windows 印刷の設定を行います。

- 1 PageScope Web Connection を起動します。
- 2 [管理者モード] をクリックします。
- 3 管理者パスワードを入力し、管理者モードにログインします。
- 4 「ネットワーク」タブから「SMB 設定」－「プリント設定」メニューを選択します。



- 5 以下の項目を設定します。

**SMB プリント :** SMB 印刷サービスを使用するかどうかを設定します。ここでは「有効」を選択します。

**NetBIOS 名 :** NetBIOS 名を設定します（半角 15 文字以内。記号は - のみ使用可能。）。

- プリントサービス名 : プリントサービス名を設定します（/￥を除く半角 13 文字以内）。
- ワークグループ : ワークグループ名を設定します（“￥;:, \* <> | + = ? を除く半角 15 文字以内）。

- 6 設定を有効にするため、本機の主電源の再投入（オフ／オン）を行います。



ご注意)

主電源スイッチをオフ／オンする場合は、主電源をオフにして、10 秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

## プリンタ ドライバ側の設定

### Windows 98SE/Me の場合

- 1 [スタート] をクリックし、「設定」 - 「プリンタ」をクリックします。
- 2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
- 3 「詳細」タブの [ポートの追加] をクリックします。
- 4 「ネットワーク」を選択し、[参照] をクリックします。ネットワーク構成を表示し、目的のプリンタアイコンを選択します。

### Windows 2000/XP/NT 4.0/Server 2003 の場合

- 1 Windows 2000/NT 4.0 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」 - 「プリンタ」をクリックします。  
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。



#### メモ)

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

- 2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
- 3 「ポート」タブの [ポートの追加] をクリックし、「Local Port」をダブルクリック、または「Local Port」を選択後 [新しいポート] をクリックして、¥NetBIOS 名 ¥プリントサービス名を入力します。



#### ご注意)

NetBIOS 名とプリントサービス名は、PageScope Web Connection で入力したものと同じ名前を入力してください。設定内容については、「本機の設定」(p. 3-8) をごらんください。

- 4 [閉じる] をクリックして終了します。

### 3.5 LPR 印刷による利用

LPR 印刷サービスは、Windows 2000/XP/NT 4.0/Server 2003 では標準でサポートされています。ネットワークプロトコルは、TCP/IP を使用します。

#### 本機の設定

本機に IP アドレスを設定します。設定方法については、「本機の IP アドレスの設定」(p. 3-5) をごらんください。

#### プリンタ ドライバ側の設定

##### Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

- 1 Windows 2000 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。  
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。



##### メモ)

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

- 2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
- 3 「ポート」タブの [ポートの追加] をクリックします。
- 4 「利用可能なポートの種類」リスト内で「Standard TCP/IP Port」を選択し、[新しいポート] をクリックします。
- 5 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが起動したら、[次へ] をクリックします。
- 6 「プリンタ名または IP アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。
- 7 「カスタム」をチェックし、[設定] をクリックします。
- 8 「LPR」をチェックし、「キューナイミッド」ボックスに「Print」と入力し、[OK] をクリックします。

- 9 [次へ]、[完了] をクリックして終了します。

#### Windows NT 4.0 の場合

- 1 [スタート] をクリックし、「設定」 - 「プリンタ」をクリックします。
- 2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
- 3 「ポート」タブの [ポートの追加] をクリックします。
- 4 「利用可能なプリンタポート」リスト内で「LPR Port」を選択し、[新しいポート] をクリックします。



...

#### ワンポイントアドバイス)

「LPR Port」がリストにない場合は、[スタート] をクリックし、「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」を選択します。  
「サービス」タブの [追加] をクリックして Microsoft TCP/IP 印刷サービスをインストールしてください。

- 5 「LPR 互換プリンタの追加」ダイアログで、「lpd を提供しているサーバの名前またはアドレス」ボックスに、本機の IP アドレスを入力します。
- 6 「サーバのプリンタ名またはプリンタキューネーム」ボックスに「Print」と入力します。
- 7 [OK] をクリックして終了します。

### 3.6 Port9100 印刷（Windows 98SE/Me/2000/XP/Server 2003）

Port9100 印刷サービスは、Windows 2000/XP/ Server 2003 では標準でサポートされています。ネットワークプロトコルは、TCP/IP を使用します。Windows 98SE/Me では、別途、Peer to Peer Printing Tool が必要です。

#### 本機の設定

本機に IP アドレスを設定します。設定方法については、「本機の IP アドレスの設定」(p. 3-4) をご覧ください。

#### プリンタ ドライバ側の設定（Windows 2000/XP/Server 2003）

Port9100 印刷を利用する場合は、プリンタ ドライバのポートを Port9100 ポートに変更します。

- 1 Windows 2000 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。  
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。



#### メモ)

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

- 2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
- 3 「ポート」タブの [ポートの追加] をクリックします。
- 4 「利用可能なポートの種類」リスト内で「Standard TCP/IP Port」を選択し、[新しいポート] をクリックします。
- 5 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが起動したら、[次へ] をクリックします。
- 6 「プリンタ名または IP アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。
- 7 「カスタム」をチェックし、[設定] をクリックします。

- 8 「RAW」をチェックし、「ポート番号」ボックスに「9100」と入力します。
- 9 [次へ]、[完了]をクリックして終了します。

### Peer to Peer Printing Tool のインストール (Windows 98SE/Me)

Windows 98SE/Me で Port9100 印刷を利用する場合は、Peer to Peer Printing Tool をインストールする必要があります。

Peer to Peer Printing Tool は、Windows プリンタ ドライバ用の CD に含まれています。



#### ワンポイントアドバイス)

Windows 98SE/Me で Port9100 印刷を利用する場合、本機をネットワークに接続した状態で、インストーラを利用したプリンタ ドライバのインストールをすると、自動的に必要な Peer to Peer Printing Tool もインストールされ、Port9100 が作成されます。

インストーラを使わなかった場合は、以下の手順で Peer to Peer Printing Tool をインストールする必要があります。

- 1 User Software CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。インストーラ画面が起動したら、[終了] をクリックします。
- 2 CD-ROM を開きます。
  - 「マイコンピュータ」を開き、「CD-ROM」を右クリックし「開く」を選択します。
- 3 「Peer2Peer」フォルダを開きます。
- 4 「setup.exe」をダブルクリックします。  
セットアッププログラムが起動します。以降は表示される画面にしたがって操作してください。

インストール後は、印刷に使用するプリンタ ドライバのポートを Peer to Peer ポートに変更します。

**メモ)**

*Peer to Peer Printing Tool* をアンインストールする場合は、*Peer to Peer* ポートを使用しているプリンタドライバを削除してから、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で *Peer to Peer Printing Tool* を削除してください。

**プリンタ ドライバ側の設定 (Windows 98SE/Me)**

Windows 98SE/Me で Port9100 印刷を利用する場合は、プリンタ ドライバのポートを *Peer to Peer* ポートに変更します。

- 1 [スタート] をクリックし、「設定」 - 「プリンタ」をクリックします。
- 2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
- 3 「詳細」タブの [ポートの追加] をクリックします。
- 4 「その他」をクリックし、リスト内で「KONICA MINOLTA Peer to Peer Port」を選択し、[OK] をクリックします。  
*Peer to Peer* セットアップ画面が表示されます。ネットワーク上に接続されているプリンタは自動的に検出されます。
- 5 デバイスリストからプリンタを選択し、ポート番号を入力して [ポートの追加] をクリックします。
  - 手順 8 に進みます。
  - デバイスリストに目的のプリンタが表示されないときは、手順 6 に進みます。
- 6 [手動セットアップ] をクリックします。
- 7 接続しているネットワークに合わせて TCP/IP または IPX の項目を入力し、[ポートの追加] をクリックします。
  - 手順 8 に進みます。
- 8 確認画面で [OK] をクリックします。
  - ポートが追加されます。
- 9 成功画面で [OK] をクリックして終了します。

## 3.7 IPP 印刷（Windows 2000/XP/Server 2003）

IPP（Internet Printing Protocol）印刷サービスは、Windows 2000/XP/Server 2003 では標準でサポートされています。ネットワークプロトコルは、TCP/IP を使用します。

### 本機の設定

本機に IP アドレスを設定します。設定方法については、「本機の IP アドレスの設定」(p. 3-5) をごらんください。

また、PageScope Web Connection で IPP 印刷の設定を行います（デフォルトの設定のままでも印刷可能です）。

- 1 PageScope Web Connection を起動します。
- 2 [管理者モード] をクリックします。
- 3 管理者パスワードを入力し、管理者モードにログインします。
- 4 「ネットワーク」タブから「IPP 設定」メニューを選択します。



**5** 以下の項目を設定します。

- IPP 印刷 : IPP 印刷を行うかどうかを設定します。ここでは「有効」を選択します。
- プリンタ名 : プリンタ名を設定します（半角英数字 127 文字以内）。
- プリンタ設置場所 : プリンタ設置場所を設定します（半角英数字 127 文字以内）。
- プリンタ情報 : プリンタ製造情報を設定します（半角英数字 127 文字以内）。
- Printer URI : IPP を利用して印刷できるプリンタの URL が表示されます。
- オペレーション サポート情報 : IPP でサポートする印刷操作を指定します。
- 印刷ジョブ受付 : IPP 受信機能を使用するかどうかを設定します。

**プリンタドライバのインストール**

IPP 印刷の場合は、プリンタドライバをインストールしなおします。

- 1 Windows プリンタドライバ用の CD をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。
  - PCL コニカミノルタ製ドライバ : User Software CD-ROM
  - PostScript コニカミノルタ製ドライバ : PostScript Printer Driver CD-ROM
- 2 Windows 2000 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」 - 「プリンタ」をクリックします。  
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。

**メモ)**

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

- 3 Windows 2000/Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。  
Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。  
「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 「ローカルまたはネットワークプリンタ」画面で、「ネットワークプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6 「プリンタの検索」画面で、「インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します」を選択します。
- 7 「URL」フィールドに、以下の形式で、本機の URL を入力し、[次へ] をクリックします。
  - http:// <本機の IP アドレス> /ipp  
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合  
http://192.168.1.20/ipp
- 8 確認のダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。
- 9 [ディスク使用] をクリックします。
- 10 [参照] をクリックし、CD-ROM 内のプリンタ ドライバのあるフォルダを指定し、[OK] をクリックします。
  - PCL コニカミノルタ製ドライバ：User Software CD-ROM 「Driver¥Drivers¥bizhubC250」 フォルダ
  - PostScript コニカミノルタ製ドライバ：PostScript Printer Driver CD-ROM 「Driver¥Drivers」 フォルダ
- 11 「プリンタ」リストにプリンタ名が表示されること確認して、[次へ] をクリックします。
- 12 Windows で通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。
- 13 [完了] をクリックして、プリンタの追加ウィザードを終了します。  
設定が完了したプリンタは、通常のローカルプリンタと同様に使用できます。また、Windows 上でプリンタを共有設定することにより、ネットワーク内の他の Windows コンピュータからネットワークプリンタとして使用できます。

### 3.8 NetWare による利用

プリンタコントローラは、以下の環境をサポートしています。

#### NetWare 環境でのネットワーク印刷方法

NetWare バージョン	使用するプロトコル	エミュレーション	サービスモード
NetWare 4.x	IPX	NDS／バインダリ	Pserver/Nprinter
NetWare 5.x/6	IPX	NDS	Pserver
	TCP/IP	NDPS(lpr)	

#### NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのリモートプリンタモードの場合



##### ワンポイントアドバイス)

バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

- 1 クライアントより Supervisor 権限で Pserver を登録する NetWare サーバにログインします。
- 2 Pconsole を起動します。
- 3 「利用可能な項目」から「クイックセットアップ」を選択し、[Enter] キーを押します。
- 4 「プリントサーバ名」、「プリント名」、「プリントキューネーム」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。
- 5 [Esc] キーを押し、Pconsole を終了します。
- 6 NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。



##### ワンポイントアドバイス)

キューレコードを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューレコードの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

- 7 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare 設定」メニューを選択し、各項目を設定します。



**NetWare 印刷 :**

有効

**フレームタイプ :**

自動検出（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）

**モード :**

Nprinter/Rprinter

**プリンタ名 :**

プリンタ名を設定します。

**プリンタ番号 :**

プリンタ番号 (0 ~ 255) を設定します。255 を設定すると”自動”になります。

- 8 本機の主電源の再投入（オフ／オン）を行います。



...  
ご注意)

主電源スイッチをオフ／オンする場合は、主電源をオフにして、10秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

- 9 NetWare Server のコンソールで、プリントサーバ画面を表示し、接続しているプリンタ0に、作成したプリンタが「ジョブの待機中」になっていることを確認してください。

#### NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのプリントサーバモードの場合



...  
ワンポイントアドバイス)

バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

- 1 クライアントより Supervisor 権限で Pserver を登録する NetWare サーバにログインします。
- 2 Pconsole を起動します。
- 3 「利用可能な項目」から「クイックセットアップ」を選択し、[Enter] キーを押します。
- 4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキューナ」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。
- 5 [Esc] キーを押し、Pconsole を終了します。

- 6 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare 設定」メニューを選択し、各項目を設定します。



NetWare 印刷 :	有効
フレームタイプ :	自動検出（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
モード :	Pserver
プリントサーバ名 :	手順 4 で作成したプリントサーバ名
プリントサーバパスワード :	NetWare Server 側で設定している場合のみ設定してください。（「●●●●」で表示されます）
プリントキュー/スキャン間隔 :	1（必要に応じて変更してください）
Bindery/NDS :	Bindery/NDS
优先ファイルサーバ :	Pserver を接続するファイルサーバ名

- 7 本機の主電源の再投入（オフ／オン）を行います。



ご注意)

主電源スイッチをオフ／オンする場合は、主電源をオフにして、10秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

- 8 NetWare Server のコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。
- 9 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続されていることを確認してください。

**NetWare 4.x リモートプリンタモード（NDS）の場合**

- 1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。
- 2 NWadmin を起動します。
- 3 プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから「プリントサービスクイックセットアップ」を選択します。
- 4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。



ワンポイントアドバイス)

キューを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

- 5 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare 設定」メニューを選択し、各項目を設定します。



NetWare 印刷 :

有効

フレームタイプ :

自動検出（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）

モード :

Nprinter/Rprinter

プリンタ名 :

プリンタ名を設定します。

プリンタ番号 :

プリンタ番号 (0 ~ 255) を設定します。255 を設定すると”自動”になります。

- 6 本機の主電源の再投入（オフ／オン）を行います。



...  
**ご注意)**

主電源スイッチをオフ／オンする場合は、主電源をオフにして、10秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

- 7 NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。
- 8 NetWare Server のコンソールで、プリントサーバ画面を表示し、接続しているプリンタ 0 に、「C250」（作成したプリンタ）が「ジョブの待機中」になっていることを確認してください。

**NetWare 4.x/5.x/6 プリントサーバモード（NDS）の場合**



...  
**ワンポイントアドバイス)**

プリントサーバモードを使用する場合は、NetWare サーバに IPX プロトコルがロードされている必要があります。

- 1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。
- 2 NWadmin を起動します。
- 3 プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから「プリントサービスクイックセットアップ（非 NDPS）」を選択します。
- 4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキューネーム」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、[作成] をクリックします。



...  
**ワンポイントアドバイス)**

キーを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキーの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

- 5 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare 設定」メニューを選択し、各項目を設定します。



NetWare 印刷 :	有効
フレームタイプ :	自動検出（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
モード :	Pserver
プリントサーバ名 :	手順 4 で作成したプリントサーバ名
プリントサーバパスワード :	NetWare サーバ側で設定している場合のみ設定してください。（「●●●●●」で表示されます）
プリントキュー	1 (必要に応じて変更してください)
スキャン間隔 :	
Bindery/NDS :	NDS
優先 NDS コンテキスト名 :	Pserver を接続するコンテキスト名
優先 NDS ツリー名 :	Pserver がログインするツリー名

- 6 本機の主電源の再投入（オフ／オン）を行います。



ご注意)

主電源スイッチをオフ／オンする場合は、主電源をオフにして、10秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

- 7 NetWare サーバのコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。
- 8 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続していることを確認してください。

#### NetWare 5.x/6 Novell Distributed Print Service (NDPS) の場合



ワンポイントアドバイス)

NDPS に関する設定を行う前に、NDPS ブローカと NDPS マネージャが作成、ロードされていることを確認してください。

NetWare サーバで TCP/IP プロトコルが設定されていることを確認し、本機に IP アドレスが設定され、本機が起動していることを確認して、作業を行ってください。

- 1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。
- 2 NWAdmin を起動します。
- 3 プリンタエージェントを作成する「組織」、「部門」コンテナを右クリックし、作成より、「NDPS プリンタ」を選択します。
- 4 「NDPS プリンタ名」欄に、「プリンタ名」を入力します。
- 5 「プリンタエージェントのソース」欄で「新規プリンタエージェントを作成する」を選択し、「作成」をクリックします。
- 6 プリンタエージェント名を確認し、「NDPS マネージャ名」欄で、NDPS マネージャをブラウズし、登録します。
- 7 「ゲートウェイタイプ」で、「Novell プリンタゲートウェイ」を選択し、登録します。
- 8 「Novell NDPS の設定」ウインドウで、プリンタ「(なし)」、ポートハンドラ「Novell ポートハンドラ」を選択し、登録します。

- 9 「接続タイプ」で、「リモート（IP 上で LPR）」を選択し、登録します。
- 10 本機に設定した IP アドレスをホストアドレスに、プリンタ名に「Print」と入力して「完了」を押して登録します。
- 11 プリンタドライバの登録画面が現れます。各 OS とも「なし」を選択して登録を終了してください。



...

#### ワンポイントアドバイス)

プリンタを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、  
キューの割当では、NetWare のドキュメントを参照して、必要  
に応じて設定してください。

### NetWare サーバを使用するときのクライアント（Windows）の設定

- 1 Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」—「プリンタ」をクリックします。  
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。



...

#### メモ)

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

- 2 Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0/Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。  
Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。  
「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 3 印刷先ポートの設定で、ネットワークを参照し、作成したキュー名（または NDPS プリンタ名）を指定します。

- 4 プリンタのモデル一覧で、CD-ROM 内のプリンタドライバのあるフォルダを使用する OS やプリンタドライバに応じて指定します。

OS	プリンタドライバ	フォルダ
Windows 98SE/Me	PCL コニカミノルタ製	User Software CD-ROM 「Driver¥Drivers¥bizhubC250」 フォルダ
	PostScript PPD	PostScript Printer Driver CD-ROM 「Driver¥PS-PPD」 フォルダ
Windows NT 4.0/ 2000/XP/Server 2003	PCL コニカミノルタ製	User Software CD-ROM 「Driver¥Drivers¥bizhubC250」 フォルダ
	PostScript コニカミノルタ製	PostScript Printer Driver CD-ROM 「Driver¥Drivers」 フォルダ

- 5 画面の指示にしたがってインストールを完了します。

## 3.9 Macintosh による利用

### 本機の設定

本機に IP アドレスを設定します。設定方法については、「本機の IP アドレスの設定」(p. 3-5) をご覧ください。

また、PageScope Web Connection で以下のように AppleTalk の設定を行います。

- 1 PageScope Web Connection を起動します。
- 2 [管理者モード] をクリックします。
- 3 管理者パスワードを入力し、管理者モードにログインします。
- 4 「ネットワーク」タブから「AppleTalk 設定」メニューを選択します。



- 5 以下の項目を設定します。

AppleTalk : AppleTalk を使用するかどうかを設定します。ここでは「有効」を選択します。

プリンタ名 : プリンタ名を設定します（半角英数字 31 文字以内）。

ゾーン名 : 接続する「ゾーン名」を設定します（半角英数字 31 文字以内）。

- 6 設定を有効にするため、本機の主電源の再投入（オフ／オン）を行います。



#### ご注意

主電源スイッチをオフ／オンする場合は、主電源をオフにして、10秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

### Macintosh の設定

接続している Macintosh で、TCP/IP と AppleTalk を設定します。



#### ワンポイントアドバイス

ネットワーク設定の詳細は、ネットワーク管理者に確認してください。

プリンタドライバのインストール方法は、「プリンタドライバのインストール」(p. 2-1)をごらんください。

### Mac OS X の場合

- 1 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。
- 2 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
- 3 「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。
- 4 「AppleTalk」タブをクリックします。
- 5 「AppleTalk 使用」チェックボックスが ON になっているか確認します。
- 6 「TCP/IP」タブをクリックします。
- 7 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定」項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。
- 8 画面左上のクローズボタンをクリックします。  
「設定の変更を適用しますか？」というメッセージが表示されます。
- 9 [適用] をクリックします。  
AppleTalk と Ethernet の設定が保存されます。

### Mac OS 9.2 の場合

- 1 「アップル」メニューの「コントロールパネル」—「AppleTalk」を選択します。
- 2 「経由先」で「Ethernet」を選択します。
- 3 「アップル」メニューの「コントロールパネル」—「TCP/IP」を選択します。
- 4 「経由先」で「Ethernet」を選択します。
- 5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定方法」の項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。
- 6 画面左上のクローズボタンをクリックします。  
「変更内容を現在の設定に保存しますか?」というメッセージが表示されます。
- 7 [保存] をクリックします。

## 4 色々な印刷方法

### 4.1 印刷操作

#### Windows の場合

アプリケーションソフトウェアからプリントする

通常、プリントはアプリケーションソフトウェアから指定します。

- 1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「印刷」(または「プリント」) をクリックします。
- 2 「プリンタ名」(または「プリンタの選択」) でプリントしたいプリンタ名が選択されているか確認します。  
目的のプリンタが選択されていないときは、クリックして選択します。



#### ワンポイントアドバイス)

「印刷」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

- 3 プリントするページ範囲や部数を設定します。

- 4 必要に応じて [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックし、プリンタドライバの設定を変更します。



#### ご注意)

「印刷」画面で [プロパティ] や [詳細設定] をクリックすると、プリンタドライバの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、「PCL ドライバの設定」(p. 5-1) または 「PostScript ドライバの設定 (Windows)」(p. 6-1)、「PPD ドライバの設定 (Windows)」(p. 7-1) をご覧ください。

「印刷」画面から変更したプリンタドライバの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元にもどります。

- 5 [印刷] をクリックします。

コピー機のデータランプが点滅します。

### テスト印刷

プリンタドライバのインストールやネットワーク設定が完了すると、プリントできるようになります。正しく接続されているかどうか確認するときは、Windows 標準のテストページが利用できます。

テストページは、プリンタドライバのプロパティから行います。

- 1 Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」—「プリンタ」をクリックします。  
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックし、「プリンタと FAX」をクリックします。



#### メモ)

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

- 2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
- 3 「全般」タブを選択し、[テストページの印刷] (または [印字テスト]) をクリックします。

テストページがプリントされ、確認画面が表示されます。

- 4 確認したら、[OK]（または [はい]）をクリックします。



...

**ご注意)**

正しくプリントされない場合は、正しいプリンタドライバがインストールされていること、ネットワーク設定が完了していることを確認してください。

### Macintosh の場合

プリンタドライバのインストールやネットワーク設定が完了すると、プリントできるようになります。通常、プリントはアプリケーションソフトウェアから指定します。

### Mac OS X の場合

- 1 アプリケーションでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「プリント」(または「印刷」)をクリックします。
- 2 「プリンタ名」でプリントしたいプリンタ名が選択されているか確認します。



- 3 部数と印刷範囲を設定して、[プリント] をクリックします。

コピー機のデータランプが点滅します。



#### ワンポイントアドバイス)

プリンタが表示されないときは、[プリントセンター] (または [プリンタ設定ユーティリティ]) でプリンタを選択します。詳しくは、「プリンタの選択」(p. 2-20)をごらんください。

「プリント」画面はアプリケーションによって異なります。

### Mac OS 9.2 の場合

- 1 アプリケーションでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「プリント」(または「印刷」)をクリックします。
- 2 「プリンタ名」でプリントしたいプリンタ名が選択されているか確認します。
- 3 「一般設定」を選択します。



#### ワンポイントアドバイス)

プリンタが表示されないときは、「セレクタ」でプリンタを選択します。詳しくは、「プリンタの選択」(p. 2-20)をごらんください。

「プリント」画面はアプリケーションによって異なります。

[設定を保存] をクリックすると、設定内容が保存されます。

- 4 部数と印刷範囲を設定して、[プリント] をクリックします。  
コピー機のデータランプが点滅します。

## 4.2 プリンタ機能を設定するには

パソコンからプリントするときでも、ソートや製本など、本機の機能を指定できます。本機の機能の設定方法は、接続しているパソコンのOSによって異なります。

### 機能一覧

印刷に関する主な設定項目とプリンタドライバの対応をまとめています。



#### ワンポイントアドバイス)

機能の名称は、Windows XP の PCL プリンタドライバで表示されるものを基本に記載しています。また、記載されている項目や設定値はオプションの有無や設定によって表示が異なる場合があります。

機能	概要	プリンタドライバ		
		PCL	Post Script	PPD
用紙方向	用紙の方向を選択します。	○	○	○
原稿サイズ	原稿の用紙サイズを設定します。	○	○	
出力サイズ	プリントする用紙のサイズを設定します。	○	○	○
ズーム	拡大・縮小してプリントします。	○	○	○
給紙トレイ	プリントする給紙トレイを選択します。	○	○	○
用紙種類設定	給紙トレイの用紙種類を設定します。	○	○	○
とじ位置	とじ位置を選択します。	○	○	○
印刷種類	印刷種類（片面、両面、小冊子）を選択します。	○	○	○
ページ割付	複数ページを1枚の用紙に割付けてプリントします。	○	○	○
とじ代	パンチ穴をあけたり、ステープル止めするための余白をつけます。	○		
ステープル	ステープル止めをします。	○	○	○
パンチ	パンチ穴を開けます。	○	○	○
出力方法 (ジョブ管理)	通常のプリントのほか、機密プリントやボックス保存など特殊な出力形態を選択します。	○	○	△ (Mac OS Xのみ)
部数	プリントする部数を指定します。	○	○	○
排紙トレイ	用紙を排出するトレイを選択します。	○	○	○
ソート	複数ページのデータを1部ずつまとめてプリントします。	○	○	○

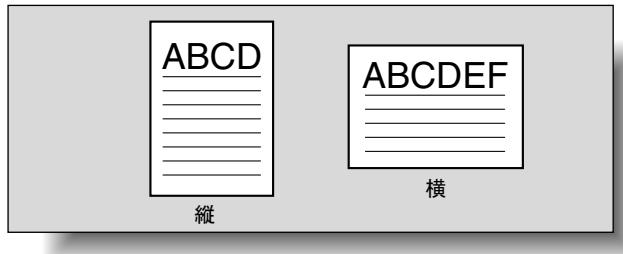
機能	概要	プリンタ ドライバ		
		PCL	Post Script	PPD
仕分け	複数部数をプリントするときに、1部ずつ位置をずらして排出します。	○	○	○
白紙抑制	データに白ページがある場合、プリントしません。	○		
認証	登録したユーザー ID とパスワードを入力してからプリントを行います。	○	○	△ (Mac OS X のみ)
オモテ表紙	表紙を付けてプリントします。	○	○	○
ウラ表紙	ウラ表紙を付けてプリントします。	○	○	○
フォーム	別途作成したフォームデータと原稿を重ねてプリントします。	○		
ウォーターマーク	文書にウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせてプリントします。	○	○	
ナンバリング	部数番号を付けてプリントします。	○		
カラー選択	カラープリントと白黒プリントを選択します。	○	△ (2色カラーの選択なし)	△ (2色カラーの選択なし)
原稿種類	選択した原稿に適した画質でプリントします。	○	○	○
画質調整	画質を調整します。	○	○	○
プリンタフォントを使用する	TrueType フォントをプリンタフォントに置換える設定を行います。	○	○	○
FAX 送信	FAX として送信します。	○		
ユーザ認証・部門管理	ユーザ認証・部門管理を行います。	○	○	△ (Mac OS X のみ)

## 機能概要

各機能の概要をまとめています。

## 用紙方向

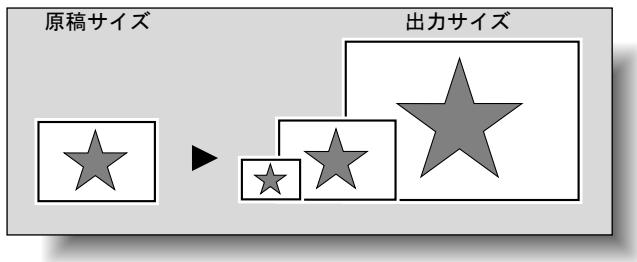
用紙に対する印刷方向を「縦」または「横」に設定します。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)
	PostScript コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 6-7)
	PostScript PPD	「用紙タブの設定」(p. 7-4)
Macintosh OS X	PostScript PPD	「ページ属性（基本設定）」(p. 9-5)
Macintosh OS 9.2		「ページ属性（基本設定）」(p. 8-6)

## 原稿サイズ／出力サイズ

原稿の用紙サイズとプリントする用紙のサイズを設定します。それぞれの項目を設定することで、拡大・縮小を指定できます。



OS	プリンタ ドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)
	PostScript コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 6-7)
	PostScript PPD	「用紙タブの設定」(p. 7-4)
Macintosh OS X	PostScript PPD	「ページ属性（基本設定）」(p. 9-5)
		「ページ属性（基本設定）」(p. 8-6)

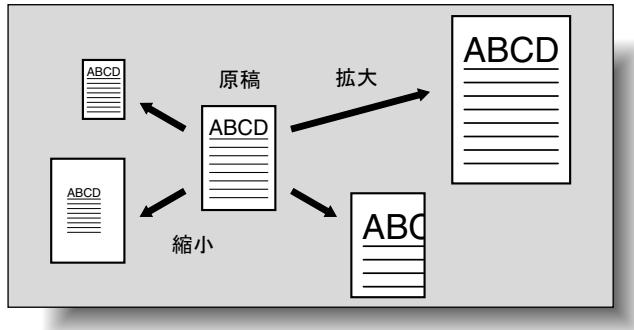


### ワンポイントアドバイス)

Windows/Macintosh 用 PostScript PPD ドライバは、プリントする用紙サイズのみ指定できます。

## ズーム（拡大縮小）

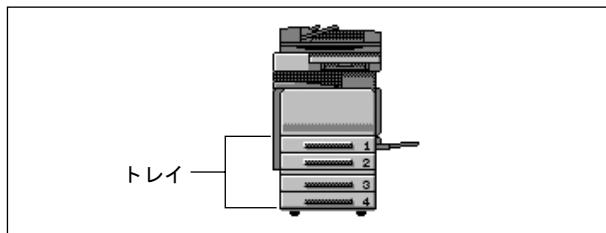
拡大・縮小倍率を数値で指定します。



OS	プリンタ ドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)
	PostScript コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 6-7)
	PostScript PPD	「グラフィックタブ」(p. 7-1)
Macintosh OS X	PostScript PPD	「ページ属性（基本設定）」(p. 9-5)
Macintosh OS 9.2		「ページ属性（基本設定）」(p. 8-6)

### 給紙トレイ（給紙方法）

給紙トレイでは、プリントする給紙トレイを選択します。用紙種類を変更する場合など、給紙トレイを選択することで使い分けられます。



OS	プリンタ ドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)
	PostScript コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 6-7)
	PostScript PPD	「用紙タブの設定」(p. 7-4)
Macintosh OS X	PostScript PPD	「給紙」(p. 9-9)
Macintosh OS 9.2		「一般設定（基本設定）」(p. 8-9)

### 用紙種類

プリントする用紙種類を指定します。

OS	プリンタ ドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)
	PostScript コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 6-7)
	PostScript PPD	「用紙タブの設定」(p. 7-4)



#### ワンポイントアドバイス)

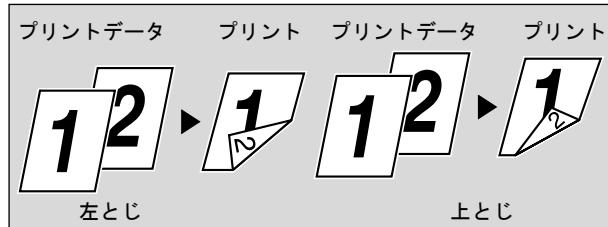
Windows 用 PCL コニカミノルタ製 ドライバは、用紙種類設定であらかじめ、給紙トレイの用紙種類を設定しておきます。

### 印刷種類（両面印刷／小冊子印刷）

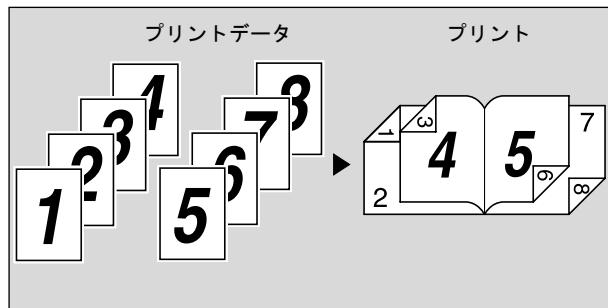
文書を、用紙の両面、または小冊子形式（見開き、中とじ）にプリントできます。複数ページの文書をとじる場合に便利です。

とじ位置を指定することで、とじる辺を指定できます。

#### 両面印刷



#### 小冊子印刷



#### ご注意)

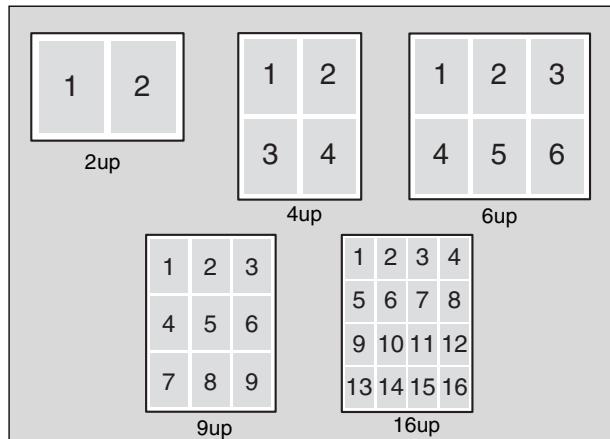
両面印刷機能、小冊子印刷機能は、オプションの自動両面ユニット AD-503 が装着されている場合のみ使用可能となります。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)
	PostScript コニカミノルタ製	「レイアウトタブの設定」(p. 6-13)
	PostScript PPD	「デバイスオプションの設定」(p. 7-5)

OS	プリンタ ドライバ	参照先
Macintosh OS X	PostScript PPD	「出力設定」(p. 9-12)
Macintosh OS 9.2		「プリンタ固有機能 (Finishing Option 1 ~ 4)」(p. 8-11)

### ページ割付

複数ページの文書を1枚の用紙にプリントします。プリントする用紙の枚数を節約したい場合などに便利です。

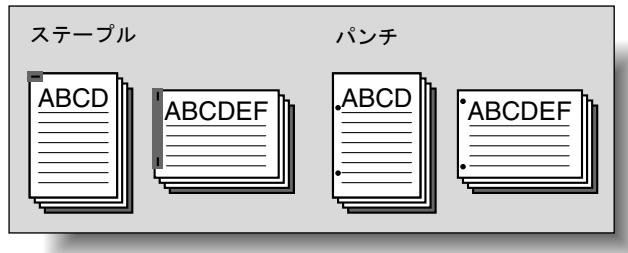


OS	プリンタ ドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)
	PostScript コニカミノルタ製	「レイアウトタブの設定」(p. 6-13)
	PostScript PPD	「用紙タブの設定」(p. 7-4)
Macintosh OS X	PostScript PPD	「レイアウト (ページ割付)」(p. 9-8)
		「レイアウト (ページ割付)」(p. 8-10)

## ステープル／パンチ

文書をステープルでとじたり、パンチ穴を開けます。

とじしろを指定すると、ステープルまたはパンチ穴用の余白を設定できます。



### ご注意)

ステープル機能は、オプションのフィニッシャーFS-501 または FS-603 が装着されている場合のみ使用可能となります。

パンチ機能は、オプションのフィニッシャーFS-603 とパンチキットPK-501 が装着されている場合のみ使用可能となります。



### メモ)

装着しているフィニッシャーにより、選択できるステープルの数が異なります。FS-501 装着時は、ステープル「1ヶ所」を指定してください。FS-603 装着時は、ステープル「1ヶ所」または「2ヶ所」から指定してください。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)
	PostScript コニカミノルタ製	「レイアウトタブの設定」(p. 6-13)
	PostScript PPD	「デバイスオプションの設定」(p. 7-5)
Macintosh OS X	PostScript PPD	「出力設定」(p. 9-12)
Macintosh OS 9.2		「プリンタ固有機能(Finishing Option 1 ~ 4)」(p. 8-11)

## 出力方法（ジョブ管理）

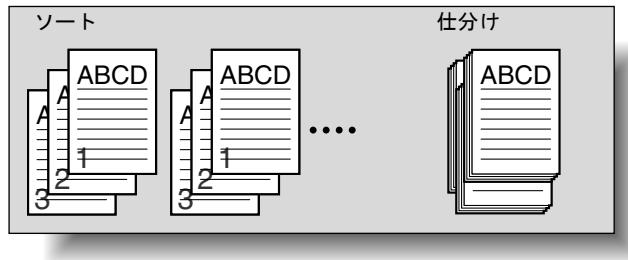
プリント時にパスワードを必要とする「機密プリント」や、ドキュメントフォルダに保存する「ボックス保存」などが選択できます。

OS	プリンタ ドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)
	PostScript コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 6-7)
	PostScript PPD	「デバイスオプションの設定」(p. 7-5)
Macintosh OS X	PostScript PPD	「セキュリティ」(p. 9-10)

## ソート（部単位）／仕分け（オフセット）

1、2、3...、1、2、3...、と部数ごとに印刷することができます。

仕分けを指定すると、部数単位で排紙位置を手前と奥にずらして排出できます。(シフト可能なフィニッシャー付きの場合、フィニッシャーがない場合は、交互給紙されます。)



OS	プリンタ ドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)
	PostScript コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 6-7)
	PostScript PPD	「デバイスオプションの設定」(p. 7-5)
Macintosh OS X	PostScript PPD	「一般設定（基本設定）」(p. 9-7)、「出力設定」(p. 9-12)
		「一般設定（基本設定）」(p. 8-9)、「プリンタ固有機能（Finishing Option 1 ~ 4）」(p. 8-11)

### 白紙抑制（白紙節約）

データに白ページがある場合、プリントしません。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)

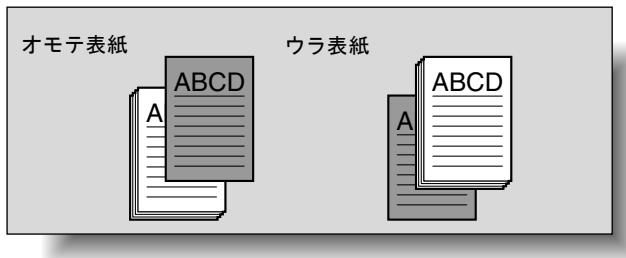
### 認証

本機で認証モードが設定されている場合に必要な、ユーザーIDとパスワードを入力／設定します。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)
	PostScript コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 6-7)
Macintosh OS X	PostScript PPD	「セキュリティ」(p. 9-10)

### オモテ表紙／ウラ表紙／ページ単位設定

表紙やウラ表紙を付けてプリントしたり、ページの間に用紙を挿入します。(ページ単位設定はPCLプリンタドライバのみです。)

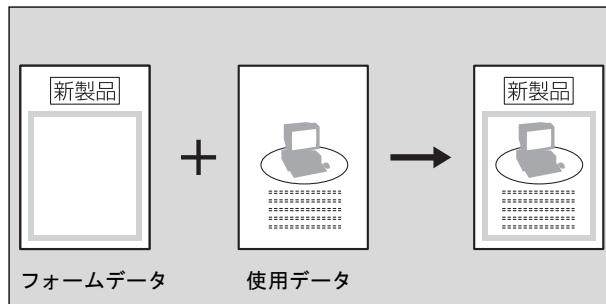


OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「ページ単位設定タブの設定」(p. 5-17)
	PostScript コニカミノルタ製	「ページ単位設定タブの設定」(p. 6-16)
	PostScript PPD	「デバイスオプションの設定」(p. 7-5)
Macintosh OS X	PostScript PPD	「セットアップ」(p. 9-16)
Macintosh OS 9.2		「プリンタ固有機能 (Finishing Option 1 ~ 4)」(p. 8-11)

## フォーム

別途作成したフォームデータを重ね合わせてプリントします。

### フォーム

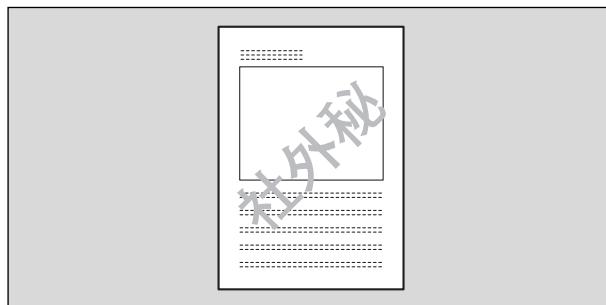


OS	プリンタ ドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「フォームタブの設定」(p. 5-19)

## ウォーターマーク

ウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせてプリントします。

### ウォーターマーク



OS	プリンタ ドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「ウォーターマークタブの設定」(p. 5-23)
	PostScript コニカミノルタ製	「ウォーターマークタブの設定」(p. 6-17)

## 画質調整

画質を調整します。

OS	プリンタ ドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「画像品質タブの設定」(p. 5-26)
	PostScript コニカミノルタ製	「画像品質タブの設定」(p. 6-19)
	PostScript PPD	「デバイスオプションの設定」(p. 7-5)
Macintosh OS X	PostScript PPD	「画像品質」(p. 9-14)
Macintosh OS 9.2		「プリンタ固有機能 (Finishing Option 1 ~ 4)」(p. 8-11)

## プリンタフォントを使用する（代用フォント）

TrueType フォントをプリンタフォントに置換える設定を行います。

OS	プリンタ ドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「フォントタブの設定」(p. 5-28)
	PostScript コニカミノルタ製	「画像品質タブの設定」(p. 6-19)
	PostScript PPD	「フォントタブ」(p. 7-3)
Macintosh OS 9.2	PostScript PPD	「PostScript オプション」(p. 8-8)

## 部門管理

本機で部門管理を行っている場合に設定します。

OS	プリンタ ドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)
	PostScript コニカミノルタ製	「セットアップタブの設定」(p. 6-7)
Macintosh OS X	PostScript PPD	「セキュリティ」(p. 9-10)

## Windows の場合

プリント時に利用できる本機の機能は、Windows の「プリンタ」(Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」) ウィンドウで、プリンタ ドライバの設定ダイアログを表示して設定します。

この方法で表示した設定ダイアログで行った設定は、全てのアプリケーションソフトウェアでプリンタを使用するときに適用されます。

- 1 Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」 – 「プリンタ」をクリックします。  
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックし、「プリンタと FAX」をクリックします。



### メモ)

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

- 2 Windows 98SE/Me の場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。  
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「印刷設定」をクリックします。  
Windows NT 4.0 の場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「ドキュメントの既定値」をクリックします。

以下のようなプリンタ ドライバの設定ダイアログが表示されます。

各プリンタ ドライバで設定できる項目については以下のページをごらんください。

- コニカミノルタ製 PCL ドライバ : 「PCL ドライバの設定」 (p. 5-1)
- コニカミノルタ製 PostScript ドライバ : 「PostScript ドライバの設定 (Windows)」 (p. 6-1)
- PostScript 用 PPD ドライバ : 「PPD ドライバの設定 (Windows)」 (p. 7-1)

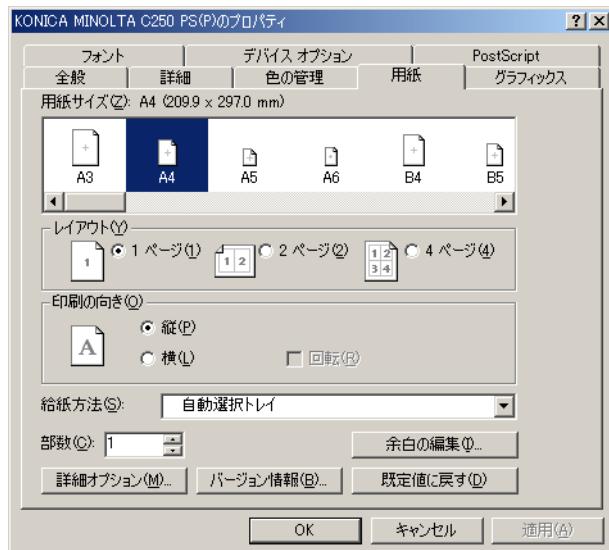
## PCL ドライバ



## PostScript ドライバ



## PostScript 用 PPD ドライバ

**ご注意)**

このダイアログの各タブを使用して、プリンタドライバの設定を行います。

プリントするファイルごとに設定する場合は、アプリケーションソフトウェアで「印刷」を指定したときに表示される「印刷」画面で「[プロパティ]」(または「[詳細設定]」)をクリックしてください。「印刷」画面から設定した内容は、一時的な設定となります。

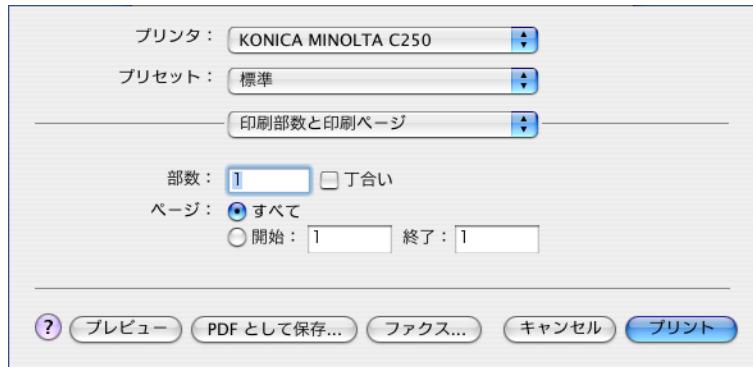
**Macintosh の場合**

プリント時に利用できる本機の機能は、「プリント」画面や「ページ設定」画面で設定します。

設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元にもどります。

### 「プリント」画面の表示

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] メニューから「プリント」(または「印刷」)を選択します。



### 「ページ設定」画面の表示

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] メニューから「ページ設定」(または「用紙設定」)を選択します。



各プリンタ ドライバで設定できる項目については以下のページをごらんください。

- OS X : 「PPD ドライバの設定 (OS X)」(p. 9-1)
- OS 9.2 : 「PPD ドライバの設定 (OS 9.2)」(p. 8-1)

**ワンポイントアドバイス)**

「プリント」画面や「ページ設定」画面の内容はアプリケーションソフトウェアによって異なります。

「ページ設定」画面の表示は、アプリケーションソフトウェアによっては、「[ファイル]」メニューから「用紙設定」 - 「オプション」と選択する場合もあります。



## 5 PCL ドライバの設定

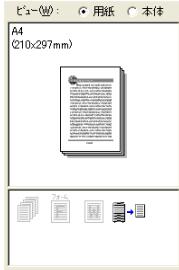
### 5.1 設定項目

#### 共通項目

ここでは、各タブの全画面で共通の設定やボタンについて説明します。



ボタン名	機能
OK	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、表示されている画面の各項目についてのヘルプが表示されます。
設定の保存 / 呼出	現在の設定を登録し、あとでその設定を呼出すことができます。
標準に戻す	このボタンをクリックすると、インストール直後の設定内容にもどします。

ボタン名	機能
ビュー	<p>「用紙」を選択すると、現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、プリント結果のイメージを確認できます。</p> <p>「本体」を選択すると、現在本機に装着されている給紙トレイなどのオプションを含むプリンタ構成の図が表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>用紙</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本体</p> </div> </div>



#### ご注意)

装着されているオプションを有効にするには、「オプション」の設定が必要です。詳しくは、「オプションの設定」(p. 5-44) をご覧ください。

#### セットアップタブ

項目名	機能
用紙	用紙方向、用紙サイズ、給紙トレイ、用紙種類を設定します。
製本	とじ位置、両面印刷、小冊子印刷、ページ割付、とじ代、ステープル、パンチの製本形態を設定します。
出力	出力方法、部数、排紙トレイ、ソート、仕分けなどの出力形態を設定します。

#### ページ単位設定タブ

項目名	機能
オモテ表紙	オモテ表紙を付けてプリントします。
ウラ表紙	ウラ表紙を付けてプリントします。
ページ単位設定	印刷文書中に挿入する用紙を設定します。

**フォームタブ**

項目名	機能
フォーム	フォーム印刷を設定します。

**ウォーターマークタブ**

項目名	機能
ウォーターマーク	印刷文書にウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせてプリントします。
ナンバリング	部数番号を付けてプリントします。

**画像品質タブ**

項目名	機能
カラー選択	プリントする色を設定します。
原稿種類	原稿内容を設定します。原稿に適した画質でプリントできます。
画質調整	画質を調整します。文書全体を調整する「簡易調整」と文字や写真、図表など、原稿内容ごとに調整する「詳細調整」を選べます。
パターン	印刷パターンを選択します。

**フォントタブ**

項目名	機能
プリンタフォントを使用する	プリント時に、TrueType フォントを使うか、プリンタフォントを使うかを設定します。
ダウンロードフォント	プリンタにダウンロードするフォントをビットマップかアウトラインかで選択します。

**FAX タブ**

項目名	機能
モード選択	プリントするかファックスするかを選択します。
FAX モード設定	ファックスの解像度や送信条件を設定します。
FAX カバーシート	ファックスのカバーシートを設定します。
送付先設定	送付先を入力します。
電話帳入力	送付先を電話帳に登録します。
送付先一覧	送付先または電話帳に登録された相手を表示します。

**バージョンタブ**

項目名	機能
バージョン	プリンタドライバのバージョンを表示します。

**オプションタブ**

項目名	機能
オプション	本機に装着されているオプションを設定します。
オプション情報	プリンタドライバのオプション設定を自動的に行います。

**メモ)**

Windows 2000/XP/NT 4.0/Server 2003 でオプションタブを表示させる場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

## 5.2 セットアップタブの設定



### 用紙サイズに合わせてプリントする

作成した文書を、プリント時に出力用紙に合わせて拡大／縮小できます。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
- 2 「原稿サイズ」と「出力サイズ」を選択します。
  - ズームボックスで拡大・縮小率を指定することもできます。

不定形サイズを選択するときは、あらかじめ、以下の操作で不定形サイズを登録します。

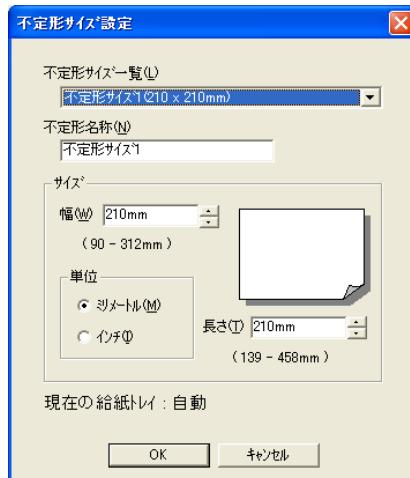
- 1 「出力サイズ」から「不定形サイズ設定」を選択します。  
「不定形サイズ設定」ダイアログボックスが表示されます。

- 2 以下の項目を設定します。

不定形サイズ一覧： 設定する不定形サイズの名称を選択します。

不定形名称： 不定形サイズを登録したい名称を入力します。

サイズ： 不定形サイズの幅、長さを単位に合わせて設定します。



- 3 [OK] をクリックします。



#### メモ)

不定形サイズの設定は、Windows の「プリンタ」(Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタとFAX」) ウィンドウから開くプリンタドライバの設定ダイアログボックスでのみ設定できます。

### 給紙トレイを選択する

用紙種類を変更する場合など、給紙トレイに用紙種類を登録し、給紙トレイを選択することで使い分けられます。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
- 2 「給紙トレイ」で使用する用紙がセットされた給紙トレイを選択します。

給紙トレイの用紙種類を割当てる場合は、以下の操作で変更します。

- 1 「用紙種類設定」をクリックします。
- 2 変更する「給紙トレイ」を選択し、[編集] をクリックします。



- 3 「用紙種類」を選択し、[OK] をクリックします。  
各給紙トレイで選択できる用紙種類のみ表示されます。



用紙種類に「OHP」を選択すると、「OHP 合紙」が指定できるようになります。

「OHP 合紙」のチェックボックスを ON にすると、「OHP 合紙設定」ダイアログボックスが表示され、合紙の給紙トレイを選択できます。

「OHP 合紙設定」ダイアログボックスは、[設定] をクリックしても表示されます。



#### メモ)

トレイ 2, 3, 4 および LCT では、厚紙 1,2,3 は選択できません。

レターヘッド紙は、オプションの自動両面ユニット AD-503 が装着されている場合のみ選択できます。

### 両面／小冊子印刷を行う

文書を、用紙の両面、または小冊子形式（見開き）にプリントできます。複数ページの文書をとじる場合に便利です。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
- 2 「印刷種類」のドロップダウンリストで、「両面」や「小冊子」を選択します。



#### ご注意)

両面印刷機能、小冊子印刷機能は、オプションの自動両面ユニット AD-503 が装着されている場合のみ使用可能となります。



#### メモ)

「とじ位置」のドロップダウンリストで、とじ方向を指定できます。

オプションのフィニッシャー FS-603 が装着されている場合に「小冊子」を指定すると、ページ中央をとじる「中とじ」が指定できます。

## ページ割付 (N in 1) 印刷を行う

複数ページの文書を1枚の用紙にプリントします。プリントする用紙の枚数を節約したい場合などに便利です。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
- 2 「ページ割付」のチェックボックスをONにします。
- 3 「ページ割付」のドロップダウンリストで、1枚の用紙にプリントするページ数を選択します。  
「境界線」や「ページの印刷順序」を変更するときは、ドロップダウンリストから「詳細」選択し、表示されるダイアログボックスで設定します。



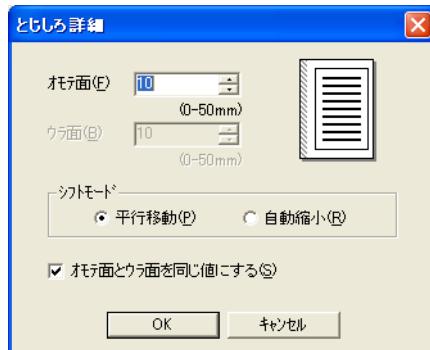
### ご注意)

1つのプリントジョブ内にサイズや方向が異なるページが含まれる文書をプリントすると、画像が欠損したり、画像が重なったりする場合があります。

## とじ代を設定する

文書に、とじ代を付けてプリントします。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
- 2 「とじしろ」のチェックボックスを ON にします。
- 3 「とじしろ」の幅を設定する場合は [詳細] をクリックして、表示される「とじしろ詳細」ダイアログボックスで値を設定します。



オモテ面／ウラ面： とじ代の値を設定します。「オモテ面とウラ面を同じ値にする」のチェックボックスを OFF にすると、オモテ／ウラそれぞれの値が設定できます。

シフトモード： 本文のプリント処理を選択します。

## ステープルを行う

複数ページの文書を、ステープルでとじます。



...

### ご注意)

ステープル機能は、オプションのフィニッシャーが装着されている場合のみ使用可能となります。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
- 2 「ステープル」のチェックボックスを ON にします。
- 3 ドロップダウンリストでステープルの数を指定します。



...

### メモ)

「とじ位置」の設定により、選択できるステープルの位置が異なります。

装着しているフィニッシャーにより、選択できるステープルの数が異なります。FS-501 装着時は、ステープル「1ヶ所」を指定してください。FS-603 装着時は、ステープル「1ヶ所」または「2ヶ所」から指定してください。

FS-501 装着時のステープル可能枚数は、30 枚までです。FS-603 装着時のステープル可能枚数は、普通紙 A4 w 以下 50 枚、B4 以上 25 枚までです。

## パンチを行う

プリントした文書にパンチ穴を開けます。



...

### ご注意)

パンチ機能は、オプションのフィニッシャー FS-603 とパンチキット PK-501 が装着されている場合のみ使用可能となります。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
- 2 「パンチ穴」のチェックボックスを ON にします。
- 3 ドロップダウンリストでパンチの数を 2 穴に指定します。

## 出力方法を選択する

直接プリントするだけでなく、プリント時にパスワードを必要とする「機密プリント」や、ドキュメントフォルダに保存する「ボックス保存」などが選択できます。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
- 2 「出力方法」のドロップダウンリストで、出力方法を選択します。

通常印刷 :	すぐにプリントされます。
機密プリント :	プリント文書を本体の「機密文書ボックス」に保存します。プリントするときに本体の操作パネルで ID とパスワード入力が必要になります。機密性の高い文書をプリントする場合に選択します。(最大 100 文書)
ボックス保存 :	プリント文書を本体のドキュメントフォルダに保存します。
ボックス保存&印刷 :	ドキュメントフォルダに保存すると同時にプリントもします。
確認プリント :	文書が 1 部出力された後、本体が一時停止します。大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に選択します。

### 機密プリントの場合

「機密プリント」を選択すると、ID とパスワードを入力する画面が表示されるので、ID とパスワードを入力します。



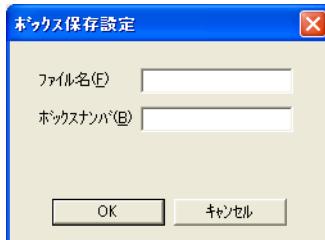
### ワンポイントアドバイス)

プリントする場合は、本体の操作パネルのボックス機能で「機密文書」を指定し、ID とパスワードを入力します。詳しくは、「プリントジョブ管理」(p. 10-77) をごらんください。

本機のボックス機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

### ボックス保存の場合

「ボックス保存」または「ボックス保存＆印刷」を選択すると、ファイル名とボックスナンバーを入力する画面が表示されるので、保存するファイル名とボックスナンバーを設定します。



#### メモ)

本体のボックス機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

### 確認プリントの場合

プリントを実行すると、文書が1部出力された後、本体が一時停止します。残りのプリント分は本体のジョブとして蓄積されます。複数部数を指定したときなど、結果を確認してから残部のプリントを実行できます。



...

#### ワンポイントアドバイス)

プリントする場合は、本体の操作パネルのジョブ機能で文書を指定します。詳しくは、「プリントジョブ管理」(p. 10-77) をごらんください。

## ユーザ認証を設定する

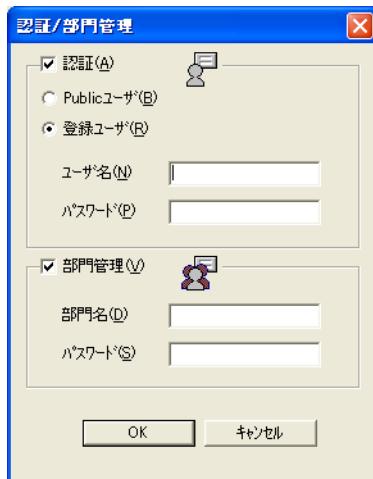
本機で認証モードが設定されている場合にユーザ名とパスワードを入力します。



### ご注意)

本機側の「認証モード」で有効ではないユーザ名やパスワードを入力してプリントした、または「認証」にチェックしないでプリントした場合は、本機で認証できずプリントできません。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
- 2 [認証 / 部門管理] をクリックします。
- 3 「認証」のチェックボックスを ON にし、ユーザ名とパスワードを入力します。



- 4 [OK] をクリックします。



### メモ)

本体でパブリックユーザが許可されている場合は、パブリックユーザで利用できます。

ユーザ認証については、本機の管理者にお問い合わせください。

## 部門管理を設定する

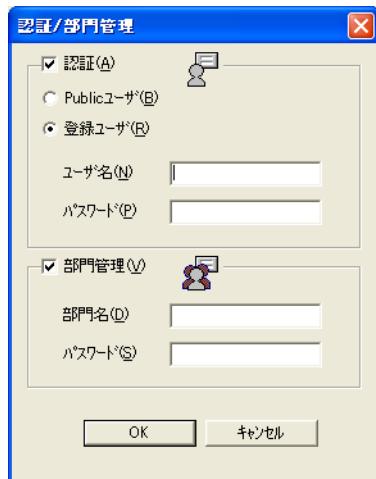
本機側で「部門管理機能」を使用している場合、部門名とパスワードを入力する必要があります。



### ご注意)

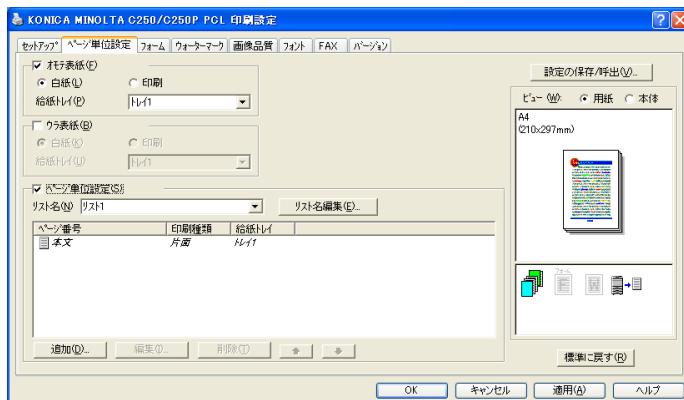
本機側の「部門管理機能」で有効ではない部門名やパスワードを入力してプリントした、または「部門管理」にチェックしないでプリントした場合はエラーが起きます。本機操作パネルの操作で「プリント履歴」を確認してください。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
- 2 [認証 / 部門管理] をクリックします。
- 3 「部門管理」のチェックボックスを ON にし、部門名とパスワードを入力します。
  - 暗証番号はジョブごとではなく、デフォルト値を設定しても使用できます。



- 4 [OK] をクリックします。

## 5.3 ページ単位設定タブの設定



### オモテ表紙／ウラ表紙を付けてプリントする

- 1 「ページ単位設定」タブをクリックします。
- 2 「オモテ表紙」や「ウラ表紙」のチェックボックスを ON にします。
- 3 「オモテ表紙」や「ウラ表紙」にもプリントする場合は「印刷」を、用紙のみ付ける場合は「白紙」を選択します。
- 4 「オモテ表紙」や「ウラ表紙」として使用する用紙がセットされた給紙トレイを選択します。

## 複数のページをプリントするとき

複数ページのプリントで、途中で給紙トレイを変えたい場合などは、「ページ単位設定」機能が便利です。

### ページ単位設定

各ページの印刷種類や給紙トレイを指定できます。

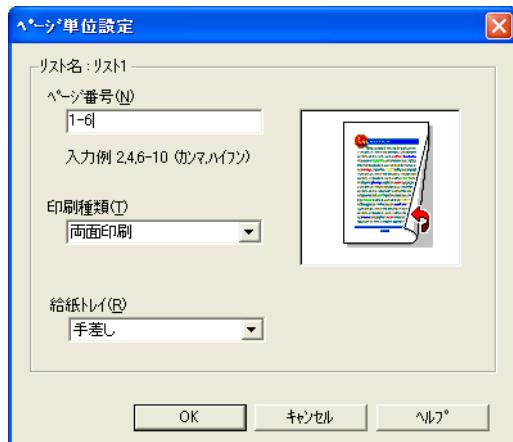
- 1 「ページ単位設定」タブをクリックします。
- 2 「ページ単位設定」のチェックボックスを ON にします。
- 3 「リスト名」を選択します。



#### メモ)

リスト名を変更する場合は、リスト名を選択してから「リスト名編集」をクリックし、表示されるダイアログボックスで設定します。

- 4 [追加] をクリックし、表示されるダイアログボックスでページ番号や印刷種類、給紙トレイを設定します。



#### メモ)

既存の条件は、設定行を選択した状態で「編集」をクリックすると変更でき、「削除」をクリックすると削除できます。

〔↑〕〔↓〕をクリックし、ページ番号が小さい順に並ぶように順番を変更してください。

## 5.4 フォームタブの設定



### 別の原稿を重ねてプリントする（フォーム）

別途作成したフォームデータと原稿を重ねてプリントします。ファクス送信状や定型文書などに便利です。



#### メモ)

プリントするフォームはあらかじめ登録しておく必要があります。  
詳しくは、「フォームの編集」(p. 5-21)をごらんください。

- 1 目的のアプリケーションソフトウェアでプリントしたいデータを作成します。
- 2 [ファイル] メニューから「印刷」を選択します。
- 3 「プリンタ名」でプリンタを選択し、[プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックします。
- 4 「フォーム」タブをクリックします。
- 5 「フォームを印刷する」のチェックボックスを ON にします。

6 一覧からプリントしたいフォームを選択します。



7 ファイル名を確認し、[OK] をクリックします。

「印刷」ダイアログボックスにもどります。

8 [OK] をクリックします。

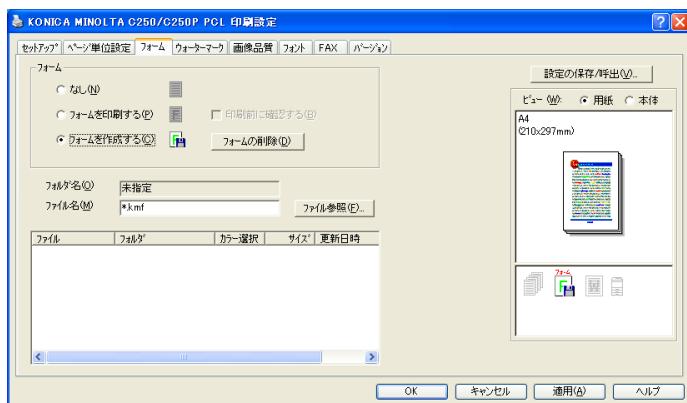
フォーム印刷が実行されます。

## フォームの編集

### フォームを作成する

フォームを利用するには、あらかじめフォーム用のデータを登録する必要があります。フォームの登録は、登録したい文書を「フォーム作成」の設定でプリントすることで登録できます。

- 1 目的のアプリケーションソフトウェアでフォームのデータを作成します。
- 2 [ファイル] メニューから「印刷」を選択します。
- 3 「プリンタ名」でプリンタを選択し、[プロパティ]（または[詳細設定]）をクリックします。
- 4 「フォーム」タブをクリックします。
- 5 「フォームを作成する」のチェックボックスをONにします。



- 6 [ファイル参照] をクリックします。

- 7 フォームデータを保存する場所を指定して「ファイル名」にフォームのファイル名を入力します。



- 8 [保存] をクリックします。
- 9 ファイル名を確認し、[OK] をクリックします。  
「印刷」ダイアログボックスにもどります。
- 10 [OK] をクリックします。
- プリントが実行される代わりに、フォームが登録されます。拡張子は「.kmf」になります。



**メモ)**

「フォーム」タブで [フォームの削除] をクリックすると、選択しているフォームが削除されます。

## 5.5 ウォーターマークタブの設定



### ウォーターマークをプリントする

特定の文字をウォーターマークとして、文書の背景にプリントします。

- 1 「ウォーターマーク」タブをクリックします。
- 2 「ウォーターマーク」のチェックボックスを ON にします。
- 3 ドロップダウンリストでプリントしたいウォーターマークを選択します。
- 4 「タイプ」と「1ページ目のみ」の条件を設定します。

上書き :

文字の網パターンの背景を白でプリントする

透過 :

文字の網パターンの背景を透過でプリントする

## ウォーターマークの編集

ウォーターマークの書体や位置を変更したり、新規にウォーターマークを登録できます。

- 1 「ウォーターマーク」タブをクリックします。
- 2 「ウォーターマーク」のチェックボックスを ON にします。
- 3 [編集] をクリックします。
- 4 各項目を設定します。



- [新規] : クリックすると、ウォーターマークテキストボックスに新規ウォーターマークが入力できます。
- [削除] : 選択しているウォーターマークを削除します。
- フォント設定 : フォントやサイズを設定します。
- 文字の角度 : ウォーターマークのプリント角度を設定します。
- 位置 : 右側と下側のスクロールバーでウォーターマークの位置を設定します。
- 文字の色 : ウォーターマークの文字色を設定します。

### 文書ナンバーをプリントする

複数部数をプリントするときに、文書ごとにナンバーをプリントします。

- 1 「ウォーターマーク」タブをクリックします。
- 2 「ナンバリング」のチェックボックスを ON にします。
- 3 各項目を設定します。

印刷対象ページ : ナンバーの印刷対象ページを指定します。

印刷開始番号 : ナンバーの開始数字を指定します。

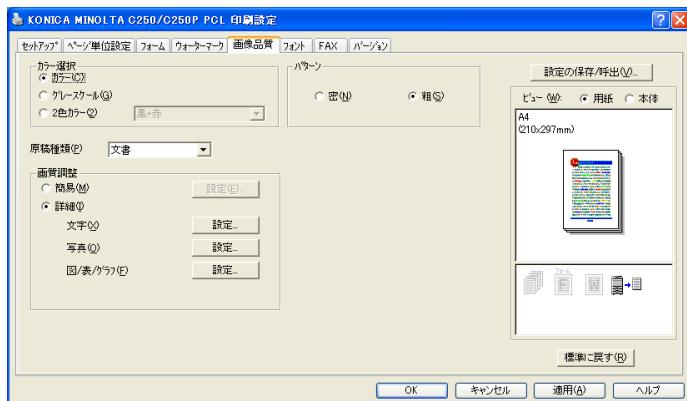
色 : プリントするナンバーの色を指定します。



#### メモ)

「ナンバリング」チェックボックスは、「セットアップ」タブで「ソート」が設定されていないと指定できません。

## 5.6 画像品質タブの設定



1 「画像品質」タブをクリックします。

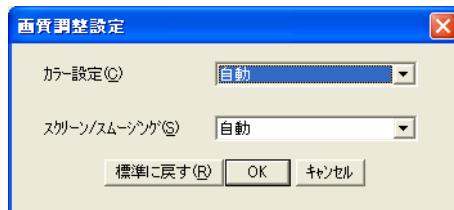
2 各項目を設定します。

カラー選択	プリントする色を設定します。 カラー：カラーでプリントします。 グレースケール：グレースケールでプリントします。 2色カラー：ドロップダウンリストで選択した2色でプリントします。
原稿種類	原稿内容を設定します。原稿に適した画質でプリントできます。 文書：文字の多い文書に適した処理です。 写真：写真に適した処理です。 DTP：DTP で作成した文書に適した処理です。 WEB：WEB ページのプリントに適した処理です。 CAD：CAD データのプリントに適した処理です。
画質調整	画質を調整します。 簡易：文書全体を一括で調整します。 詳細：文字や写真、図表など、原稿内のオブジェクトごとに調整します。
パターン	印刷パターンを選択します。

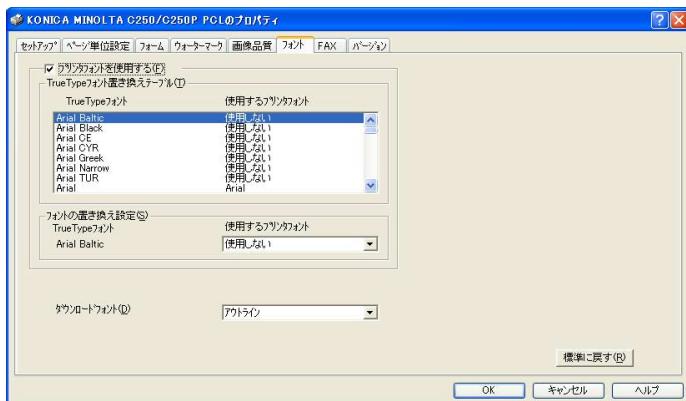
画質調整で「簡易」、「詳細 - 文字」、「詳細 - 写真」を選択し、[設定] をクリックすると、次の画質調整設定ダイアログボックスが表示され、明度やカラーバランスなどが設定できます。



画質調整で「詳細 - 図 / 表 / グラフ」を選択し、[設定] をクリックすると、次の画質調整設定ダイアログボックスが表示され、カラー設定やスクリーン / スムージングの設定を、文字または写真のどちらかの設定に合わせられます。



## 5.7 フォントタブの設定



Windows で使われている TrueType フォントを本機に搭載されているプリンタフォントに置換える設定を行います。



### メモ)

プリンタフォントを使うとプリント時間は少なくてすみますが、画面の表示とプリント結果に差が出ることがあります。

- 1 「フォント」タブをクリックします。
- 2 「プリンタフォントを使用する」のチェックボックスを ON にします。
- 3 置換えたい TrueType フォントを選択します。
- 4 「使用するプリンタフォント」で置換えるプリンタフォントを選択します。
- 5 [OK] をクリックします。

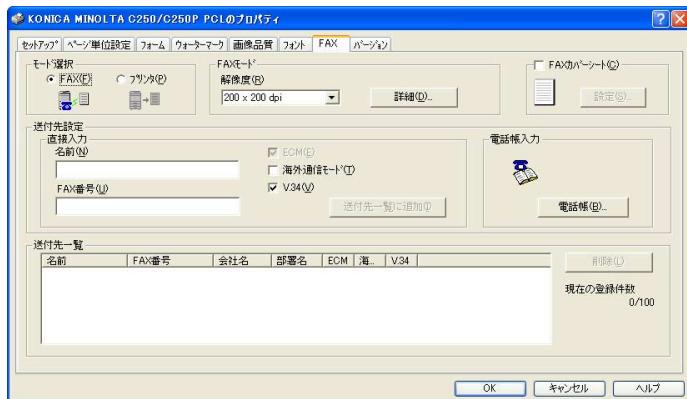


### メモ)

プリンタフォントを使うとプリント時間は少なくてすみますが、画面の表示とプリント結果に差が出ることがあります。

「ダウンロードフォント」は、TrueType フォントを使用する場合に、プリンタにダウンロードするフォントのタイプを選択します。

## 5.8 FAX タブの設定



### ファクス送信

作成したデータをファクスで送信できます。

- 1 目的のアプリケーションソフトウェアで送信したいデータを作成します。
- 2 [ファイル] メニューから「印刷」を選択します。
- 3 「プリンタ名」でプリンタを選択し、[プロパティ]（または [詳細設定]）をクリックします。
- 4 「FAX」タブをクリックします。
- 5 「モード選択」で「FAX」を選択します。

確認画面が表示されます。



#### ご注意)

「セットアップ」タブの「出力用紙」で「不定形サイズ」を選択している場合は、FAX に設定できません。

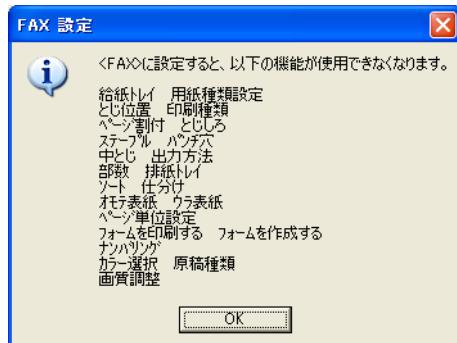
ファクス機能を利用するには、コピー機本体にオプションのファクスキットを装着する必要があります。また、装着後は「オプション設定」でファクスキットを有効にする必要があります。詳しくは、「オプションの設定」(p. 5-44)をごらんください。



メモ)

ファクス機能についての詳細は、「ファクシミリ機能編」をごらんください。

- 6 内容を確認し、[OK] をクリックします。



- 7 「解像度」を設定します。
- 8 [詳細] をクリックします。  
[詳細] 画面が表示されます。
- 9 ファクス送信したあとにファイルを印刷する場合は、「送信ファイルを印刷」のチェックボックスを ON にします。



- 10 送信する時刻を設定する場合は、「タイマー送信」のチェックボックスを ON にし、「送信時刻」を設定します。



メモ)

[現在時刻を反映] をクリックすると、パソコンに設定されている現在時刻が「送信時刻」に表示されます。

タイマー送信を行うときは、パソコンに設定されている時刻とコピー機に設定されている時刻が一致していることを確認してください。コピー機の現在時刻よりも送信時刻が前の場合は、翌日になってから送信されます。

- 11 親展通信を行う場合は「サブアドレス」と「送信 ID」のチェックボックスを ON にし、サブアドレスと送信 ID を入力します。



メモ)

F コードを使用して他機種のファクスに親展通信をすることができます。

「サブアドレス」は 0 ~ 9 までの半角数字が 20 文字まで入力できます。

「送信 ID」は 0 ~ 9 までの半角数字と、#、\* で、20 文字まで入力できます。

サブアドレスと送信 ID の詳細は、「ファクシミリ機能編」をごらんください。

- 12 [OK] をクリックします。

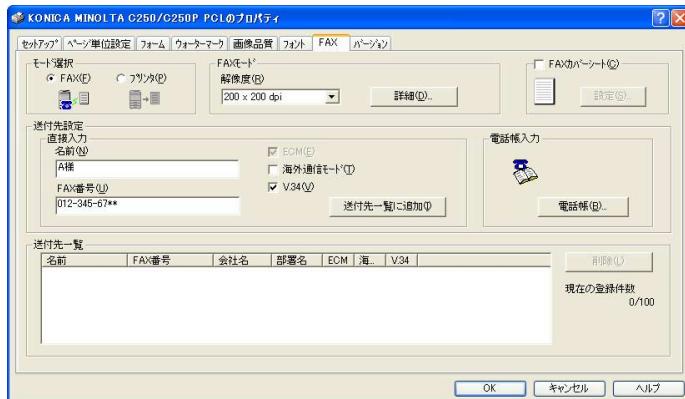
[プロパティ] 画面にもどります。

### 13 ファクスの送付先を指定します。

送付先は、直接入力することも、電話帳から選択することもできます。

- 送付先を入力する場合

「直接入力」で、「名前」と「FAX 番号」を入力し、[送付先一覧に追加] をクリックします。



#### メモ)

「名前」は全角 20 文字（半角 40 文字）まで入力できます。

「FAX 番号」は、0 ~ 9までの数字と、ハイフン（-）、スペース、#、\*、E、P、Tが半角 38 文字まで入力できます。

「送付先一覧」には、100 件まで登録できます。

- 電話帳から選択する場合

あらかじめ電話帳に登録した送り先を選択します。

- 1) [電話帳] をクリックします。

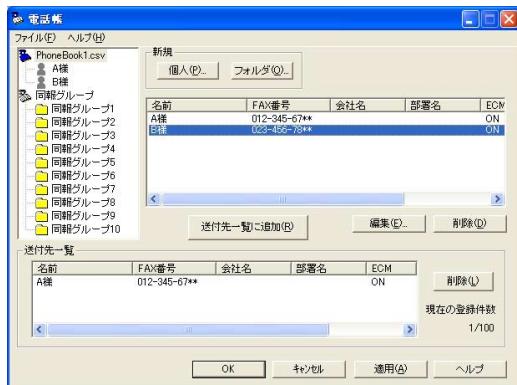
[電話帳] 画面が表示されます。



#### メモ)

電話帳の登録のしかたは、「電話帳に登録する」(p. 5-39)をごらんください。

- 2) ファクス送信する個人情報または同報グループを選択します。
- 3) 「送付先一覧に追加」ボタンをクリックします。  
「送付先一覧」に選択した個人情報が表示されます。



- 4) 送付先を確認し、[OK] ボタンをクリックします。  
[プロパティ] 画面にもどります。



**メモ)**

同報グループを選択した場合は、「送付先一覧」にグループ内の個人情報が全て表示されます。

- 14 「送付先一覧」にファイル送信する相手先が表示されていることを確認します。



**メモ)**

送付先を削除する場合は、「送付先一覧」の中から削除する送付先の名前を選択してボタンをクリックします。

「ECM」「海外通信」「V.34」は、通常は変更する必要はありません。詳細は「ファクシミリ機能編」をごらんください。

- 15 送付状を付ける場合は、「FAX カバーシート」のチェックボックスを ON にします。



**メモ)**

送付状の設定は、「送付状の作成」(p. 5-35) をごらんください。

16 [OK] をクリックします。

「印刷」ダイアログボックスにもどります。

17 [OK] をクリックします。

ファクス送信の確認画面が表示されます。



18 [OK] をクリックします。

ファクス送信が実行されます。



**メモ)**

ファクス送信でエラーが発生した場合、「PC-FAX 送信エラーレポート」が自動的に印刷されます。エラーレポートを自動で印刷しないようにするには、本体の操作パネルで「レポート出力設定」の「PC-FAX 送信エラーレポート」を「OFF」にします。

## 送付状の作成

ファクス文書の先頭に付ける送付状（カバーシート）を作成します。

- 1 [プロパティ] 画面で [FAX] タブの「FAX カバーシート」のチェックボックスを ON にします。
- 2 [設定] をクリックします。  
[FAX カバーシート設定] 画面が表示されます。



- 3 「スタイル」からカバーシートのフォーマットを選択します。  
00 ~ 03 のスタイル（03 は英文用スタイル）があります。
- 4 「用件」のチェックボックスを ON にし、送信する文書の件名を入力します。



### メモ)

「用件」は 64 文字まで入力できます。Windows 98SE/Me では全角 32 文字（半角 64 文字）まで入力できます。

5 「送付先情報」で送付状に記載する相手の名前などの送付先情報を設定します。

[FAX] タブの「送付先一覧」に表示された内容が送付先の情報として記載されます。

「定型」:

送付先の表示を定型文から選択します。「定型」を選択し、ドロップダウンリストで送付先欄に記載する文字を選択します。目的の文字を入力することもできます。

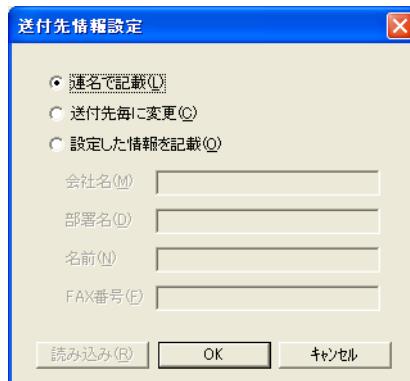
「詳細」:

送付先の名前などを個別に設定します。「詳細」を選択し、「会社名」「部署名」「名前」「FAX 番号」の中から、送付先欄に記載する項目のチェックボックスを ON にします。



#### メモ)

[設定] をクリックすると、[送付先情報設定] 画面で「連名で記載」するか「送付先毎に変更」するか、「設定した情報を記載」するかが選択できます。



「レイアウト画面」には、1 件目の送付先の送付状が見本として表示されます。

「送付先毎に変更」送付状を個別に作成できるのは、10 件までです。11 件以上送付する場合に「連名で記載」、「送付先毎に変更」を選択すると、「定型」の内容が送付先欄に表示されます。

「送付先毎に変更」を選んだ場合は、FAX タブの「詳細設定」で「送信ファイルを印刷」を選択できません。

「送付先」が設定されていない場合は、「設定した情報を記載」は選択できません。

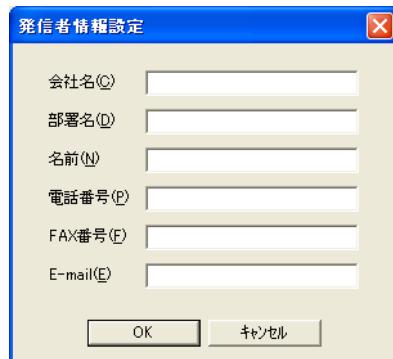


...

#### ご注意)

入力した文字の種類や「スタイル」の設定によっては、入力した文字が送付状に全て記載されない場合があります。入力後に、「レイアウト画面」で正しく表示されているか確認してください。

- 6 「発信者情報」の「会社名」「部署名」「名前」「電話番号」「FAX 番号」「E-mail」の中から、発信者欄に記載する項目のチェックボックスを ON にし、[設定] をクリックして送付状に記載するファックスの送り主の情報を入力します。



「レイアウト画面」には、入力した発信者情報が表示されます。



...

#### ご注意)

入力した文字の種類や「スタイル」の設定によっては、入力した文字が送付状に全て記載されない場合があります。入力後に、「レイアウト画面」で正しく表示されているか確認してください。



...

#### メモ)

各情報は 40 文字まで入力できます。Windows 98SE/Me では全角 20 文字（半角 40 文字）まで入力できます。

- 7 現在の日付を送付状に記載する場合は、「日付」のチェックボックスを ON にします。
- 8 送付枚数を送付状に記載する場合は、「送付枚数」のチェックボックスを ON にし、送付枚数を指定します。
- 9 メッセージなどを送付状に記載する場合は、「通信欄」に文字を入力します。



ご注意)

一行の文字数は全角 25 文字を超えると、送付状に正しく表示されない場合があります。「レイアウト画面」で確認しながら、改行を行ったりして、一行の文字数を調節します。



メモ)

「通信欄」には 640 文字まで入力できます。Windows 98SE/Me では全角 320 文字（半角 640 文字）まで入力できます。改行は半角 2 文字に相当します。

- 10 会社のロゴマークや地図などの画像を送付状に配置する場合は、「イメージ」のチェックボックスを ON にし、[参照] をクリックしてファイルを指定します。  
「X」「Y」軸の数値で画像の位置を、「ズーム」で画像の大きさを 50 ~ 800% の範囲で調整できます。
- 11 [確認] をクリックして、現在の設定を確認します。  
[確認] 画面が表示され、送付状が拡大表示されます。  
送付状の内容を確認し、必要に応じてイメージの配置変更などを行います。
- 12 [OK] をクリックします。  
[FAX カバーシート設定] 画面にもどります。
- 13 「カバーサイズ」で送付状のサイズを選択します。
- 14 [OK] をクリックします。  
[プロパティ] 画面にもどります。

**メモ)**

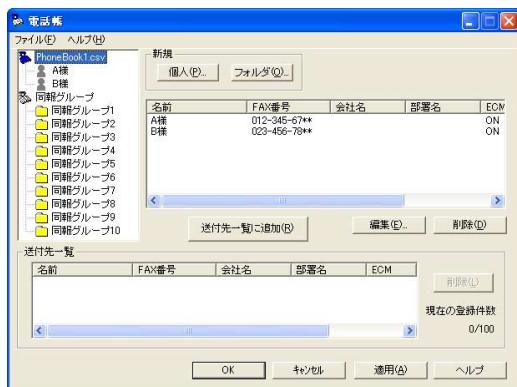
設定した内容を全て取り消す場合は、[FAX カバーシート設定] 画面で [標準に戻す] をクリックします。

**電話帳に登録する**

ファクス文書を送信する相手を電話帳に登録します。

**個人情報の登録**

- [プロパティ] 画面で [FAX] タブの [電話帳] をクリックします。  
[電話帳] 画面が表示されます。



- [個人] をクリックします。  
[個人情報] 画面が表示されます。

- 3 「名前」「FAX 番号」「会社名」「部署名」を入力します。



**メモ)**

「名前」は、敬称を付けて入力してください。

「ECM」「海外通信モード」「V.34」のチェックボックスは、通常は変更する必要はありません。詳細は「ファクシミリ機能編」をごらんください。

「名前」「会社名」「部署名」は、全角20文字、半角40文字まで入力できます。

「FAX 番号」は、0～9の数字とハイフン (-)、スペース、#、\*、E、P、Tが半角38文字まで入力できます。

- 4 [OK] をクリックします。

個人情報が登録され、個人情報欄に表示されます。



**メモ)**

手順2で「[フォルダ]」をクリックすると、フォルダが作成でき、個人情報を整理できます。個人情報をフォルダに移動する場合は、左側の階層欄の個人情報を右クリックして「コピー」または「切り取り」をし、目的のフォルダ内で「貼り付け」をしてください。

フォルダ名は全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

フォルダは3階層まで作成できます。

個人情報やフォルダを修正する場合は、目的のデータを選択して【編集】をクリックします。

個人情報やフォルダを削除する場合は、目的のデータを選択して【削除】をクリックします。

- 5 [OK] をクリックします。

【名前を付けて保存】画面が表示されます。

- 6 保存する場所を指定し、ファイル名を入力します。

- 7 [保存] をクリックします。

電話帳がファイルとして保存されます。



**メモ)**

初めて電話帳を登録した場合は、【名前を付けて保存】画面が表示され、登録内容をファイルに保存します。2回目以降に電話帳を変更した場合は、【名前を付けて保存】画面は表示されず、自動的に上書きされます。

保存した電話帳ファイルは、次回、電話帳を開いたときに自動的に表示されます。別の電話帳ファイルを開く場合は、【電話帳】画面の「ファイル」メニューで「開く」を選択します。複数の電話帳ファイルを保存しておくことで、電話帳を切換えて利用できます。

電話帳ファイルは、【電話帳】画面の「ファイル」メニューの「新規」で新規に作成できます。「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」で別名保存できます。

電話帳ファイルの拡張子は「.csv」となります。

## 同報グループへの登録

同一の内容を送りたい相手先を、あらかじめ登録しておくことができます。これを「同報グループ」といいます。

- 1 [電話帳] 画面で個人情報欄から同報グループに登録する個人情報を選択します。

選択した個人情報が反転表示されます。

- 2 右クリックして [同報グループに追加] の同報グループ一覧から、登録する同報グループを選択します。

選択した同報グループに個人情報がコピーされます。



### ご注意)

同報グループはあらかじめ 10 個設定されています。同報グループを追加したり削除することはできません。

10 個の同報グループに登録できる個人情報は、合計 100 人分までです。

**メモ)**

初めて電話帳を登録した場合は、[名前を付けて保存] 画面が表示され、登録内容をファイルに保存します。詳細は「個人情報の登録」(p. 5-39) をご覧ください。

同報グループの名前を変更するときは、左側の階層欄で目的の同報グループを右クリックして「編集」をクリックします。

同報グループに登録した個人情報を削除するときは、左側の階層欄で目的の同報グループをクリックし、右側の一覧に表示される個人情報を右クリックして「同報グループから削除」をクリックします。

## 5.9 オプションの設定



本機に装着されているオプションをプリンタ ドライバから使用可能にします。



### ご注意)

本機に装着されているオプションが「オプション」タブで設定されていないと、プリンタ ドライバでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

- 1 Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」 - 「プリンタ」をクリックします。  
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックし、「プリンタと FAX」をクリックします。



### メモ)

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

- 2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
- 3 「オプション」タブをクリックします。
- 4 ドロップダウンリストで装着しているオプションを選択します。



...

**メモ)**

「オプション情報」の「プリンタ名またはIP アドレス」ボックスに本機のプリンタ名またはIP アドレスを入力して【オプション情報取得】をクリックすると、装着オプションが自動的に設定されます。

## 5.10 ドライバ設定を保存する

PCL ドライバでは、変更したドライバの設定値を保存し、必要に応じて呼び出せます。

### ドライバの設定を保存する

- 「セットアップ」タブや「ページ単位設定」タブなどでドライバの設定値を変更します。
- [設定の保存 / 呼出] をクリックし、「現在の設定の保存」を選択します。



- 「名称」(ファイル名)を入力します。



- 必要に応じて「コメント」に説明などを入力します。

- 5 「保存先」を確認し、[OK] をクリックします。

設定内容がライブラリに登録されます。



...

**メモ)**

拡張子は「.ksf」になります。

ライブラリには 25 件まで登録できます。

「名称」は 40 文字まで入力できます。Windows 98SE/Me では全角 20 文字（半角 40 文字）まで入力できます。

「コメント」は 512 文字まで入力できます。Windows 98SE/Me では全角 256 文字（半角 512 文字）まで入力できます。

#### 設定を呼び出すには

- 1 プリンタドライバの画面で [設定の保存 / 呼出] をクリックし、「保存した設定の呼出」を選択します。

- 2 「ライブラリ」で呼び出す設定を選択します。

- 3 [OK] をクリックします。

設定値が呼び出され、プリンタドライバの画面にもどります。

#### 設定を削除するには

- 1 プリンタドライバの画面で [設定の保存 / 呼出] をクリックし、「ライブラリの整理」を選択します。

- 2 「ライブラリ」から、削除したい設定ファイルを選択します。

- 3 [削除] をクリックします。



...

**メモ)**

設定ファイルは「ライブラリ」から削除しても、パソコンのハードディスクには残っています。[設定ファイルをライブラリに登録する] でファイル名を指定すると、「ライブラリ」に登録できます。

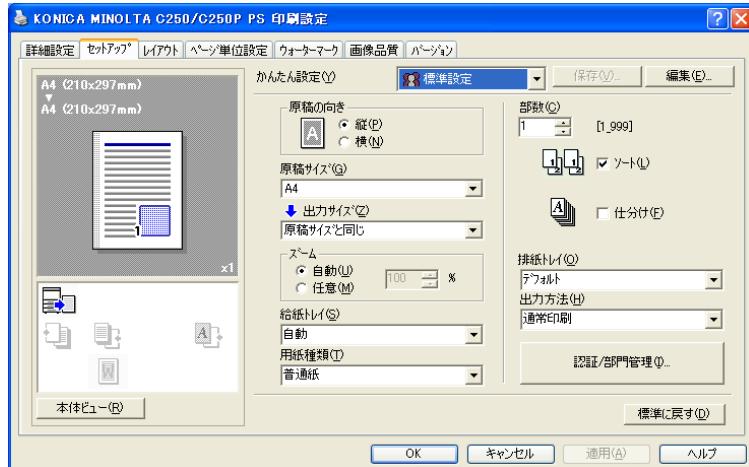


# 6 PostScript ドライバの設定 (Windows)

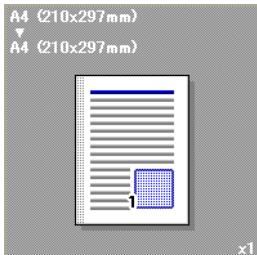
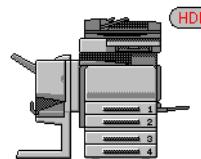
## 6.1 設定項目

### 共通項目

ここでは、各タブの全画面で共通の設定やボタンについて説明します。



ボタン名	機能
OK	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、表示されている画面の各項目についてのヘルプが表示されます。
保存	現在の設定を登録し、あとでその設定を呼出すことができます。
編集	保存してある設定を変更します。
標準に戻す	このボタンをクリックすると、インストール直後の設定内容にもどします。

ボタン名	機能
ビュー	<p>「用紙ビュー」を選択すると、現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、プリント結果のイメージを確認できます。</p> <p>「本体ビュー」を選択すると、現在本機に装着されている給紙トレイなどのオプションを含むプリンタ構成の図が表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>A4 (210x297mm) ▼ A4 (210x297mm)</p> <p>x1</p> <p>用紙</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本体</p> </div> </div>



### ご注意)

装着されているオプションを有効にするには、「オプション」の設定が必要です。詳しくは、「オプションの設定」(p. 6-21)をごらんください。

## セットアップタブ

項目名	機能
原稿の向き	用紙に対するプリントイメージの向きを設定します。
原稿サイズ	原稿の用紙サイズを設定します。
出力サイズ	プリントする用紙サイズを設定します。原稿サイズと異なる場合は、自動的に拡大、縮小されます。
ズーム	拡大・縮小率を設定します。
給紙トレイ	プリントに使用する給紙トレイを選択します。
用紙種類	プリントに使用する用紙種類を選択します。
部数	プリントする部数を設定します。
ソート	複数部数を、部数ごとプリントするかどうかを設定します。
仕分け	複数部数をプリントするときに、1部ずつ位置をずらして排出します。
排紙トレイ	排出する排紙トレイを選択します。
出力方法	「機密プリント」や「ポックス保存」など出力方法を設定します。
[認証 / 部門管理]	本機側で「認証モード」や「部門管理」など、ユーザ管理を行っている場合に、ユーザ名や部門名、パスワードを入力します。

## レイアウトタブ

項目名	機能
ページ割付	複数ページの文書を1枚の用紙にプリントします。[ページ割付詳細]で詳細が設定できます。
180 度回転	180° 回転してプリントします。
印刷面	両面印刷を設定します。
ステープル	ステープルを設定します
中とじ	折りの設定をします。
パンチ穴	パンチを設定します。

## ページ単位設定タブ

項目名	機能
オモテ表紙	オモテ表紙を付けてプリントします。
給紙トレイ	オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。
ウラ表紙	ウラ表紙を付けてプリントします。
給紙トレイ	ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。
OHP 合紙	OHP フィルムをプリントするときに合紙をはさんで排出します。
給紙トレイ	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。

## ウォーターマークタブ

項目名	機能
ウォーターマーク	文書にウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせてプリントします。[追加] [編集] [削除] でそれぞれウォーターマークの作成、変更、削除ができます。
透過	文字の網パターの背景を透過でプリントします。
1 ページ目のみ	1 ページ目のみウォーターマークをプリントします。
繰り返し	ページ内にウォーターマークを繰り返しプリントします。

## 画像品質タブ

項目名	機能
カラー選択	プリントする色を設定します。
画質調整	画質を調整します。文書全体を調整する「簡易調整」と文字や写真、図表など、原稿内のオブジェクトごとに調整する「詳細調整」を選べます。
プリンタフォントを使用する	プリント時に、TrueType フォントを使うか、プリンタフォントを使うかを設定します。
ダウンロードフォント	プリンタにダウンロードするフォントをビットマップかアウトラインかで選択します。

## 詳細設定タブ

項目名	機能
詳細な印刷機能	詳細な印刷機能（小冊子）の有無を設定します。
PostScript 出力オプション	PostScript ファイルの出力形式を設定します。
PostScript エラーハンドラを送信	PostScript エラーが発生した場合、レポートをプリントするか、しないかを設定します。
左右反転印刷	左右反転してプリントします。
PostScript パススルー	アプリケーションがプリンタ ドライバを利用せずに直接プリントすることを許可します。

## デバイスの設定タブ

項目名	機能
フォント代替表	TrueType フォントをプリンタフォントに置換える対応を設定します。
利用可能な PostScript メモリ	利用可能な PostScript メモリサイズを設定します。
出力プロトコル	プリンタに送信するプロトコルを設定します。
ジョブの前に CTRL-D を送信	プリント前にプリンタをリセットするかどうかを設定します。
ジョブの後に CTRL-D を送信	プリント後にプリンタをリセットするかどうかを設定します。
グレーテキストを Post-Script グレーに変換する	ドキュメント内にグレーテキストがあった場合に、Post-Script グレーに変換するか、しないかを設定します。
グレーグラフィックスを PostScript グレーに変換する	ドキュメント内にグレーの画像があった場合に、PostScript グレーに変換するか、しないかを設定します。
欧州通貨記号を Post-Script フォントに変換する	ドキュメント内に欧州通貨記号があった場合に、PostScript フォント変換するか、しないかを設定します。
ジョブタイムアウト	送信したジョブのプリントが設定した時間内に完了しない場合、プリンタはプリントを中止します。
印刷待ちタイムアウト	ジョブの送信を開始してから、設定した時間内にプリンタがデータを受信できない場合、プリンタはプリントを中止します。
アウトラインとしてダウンロードする下限フォントサイズ	TrueType フォントをアウトラインフォントとしてダウンロードする場合の、最小のフォントサイズ（ピクセル単位）を指定します。最小の設定より小さいフォントは、ビットマップフォントとしてダウンロードされます。
ビットマップとしてダウンロードする上限フォントサイズ	TrueType フォントをビットマップフォントとしてダウンロードする場合の、最大のフォントサイズ（ピクセル単位）を指定します。最大の設定より大きいフォントは、アウトラインフォントとしてダウンロードされます。



メモ)

Windows 2000/XP/NT 4.0/Server 2003 でデバイスの設定タブを表示させる場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

## オプションタブ

項目名	機能
デバイスオプション	本機に装着されているオプションを設定します。
オプション情報取得	本機と通信し、オプション装着の状態を読み取ります。
Page Scope Web Connection	Page Scope Web Connection を起動します。



メモ)

Windows 2000/XP/NT 4.0/Server 2003 で装置情報タブを表示させる場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

[オプション情報取得] の機能は、本機と通信可能な状態で接続されないと利用できません。

## 初期設定タブ

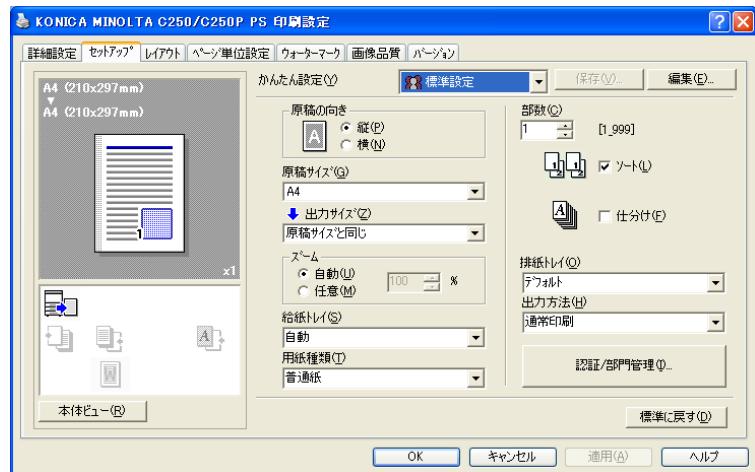
項目名	機能
禁則発生時にメッセージを表示する	プリンタドライバで、同時に設定できない機能を有効にした場合にメッセージを表示します。
サーバプロパティの用紙を使用する	[サーバのプロパティ] で追加登録した用紙を使用します。



メモ)

Windows 2000/XP/NT 4.0/Server 2003 で初期設定タブを表示させる場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

## 6.2 セットアップタブの設定

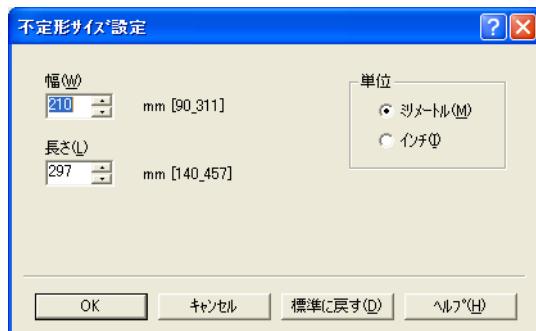


### 用紙サイズに合わせてプリントする

作成した文書を、プリント時に出力用紙に合わせて拡大／縮小できます。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
  - 2 「原稿サイズ」と「出力サイズ」を選択します。
    - ズームボックスで拡大・縮小率を指定することもできます。
- 不定形サイズを選択するときは、あらかじめ、以下の操作で不定形サイズを登録します。
- 1 「原稿サイズ」または「出力サイズ」から「不定形サイズ」を選択します。
  - 2 「不定形サイズ設定」ダイアログボックスが表示されます。
  - 2 以下の項目を設定します。

- サイズ：不定形サイズの幅、長さを単位に合わせて設定します。



- 3 [OK] をクリックします。

### 出力方法を選択する

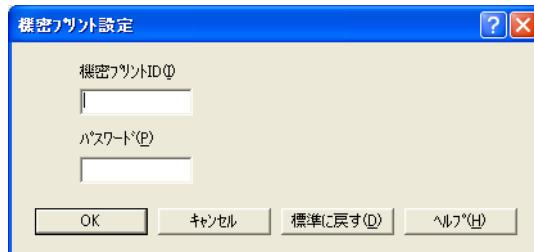
直接プリントするだけでなく、プリント時にパスワードを必要とする「機密プリント」や、ドキュメントフォルダに保存する「ボックス保存」などが選択できます。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
- 2 「出力方法」のドロップダウンリストで、出力方式を選択します。

通常印刷：	すぐにプリントされます。
機密プリント：	プリント文書を本機の「機密文書ボックス」に保存します。プリントするときに本機の操作パネルで ID とパスワード入力が必要になります。機密性の高い文書をプリントする場合に選択します。(最大 100 文書)
ボックス保存：	プリント文書を本機のドキュメントフォルダに保存します。
ボックス保存 & 印刷：	ドキュメントフォルダに保存すると同時にプリントもします。
確認プリント：	文書が 1 部出力されたあと、本機が一時停止します。大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に選択します。

### 機密プリントの場合

「機密プリント」を選択すると、ID とパスワードを入力する画面が表示されるので、ID とパスワードを入力します。



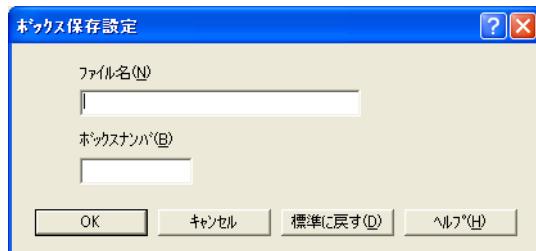
#### ワンポイントアドバイス)

プリントする場合は、本体の操作パネルのボックス機能で「機密文書」を指定し、ID とパスワードを入力します。詳しくは、「プリントジョブ管理」(p. 10-77) をごらんください。

本機のボックス機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

### ボックス保存の場合

「ボックス保存」または「ボックス保存＆印刷」を選択すると、ファイル名とボックス番号を入力する画面が表示されるので、保存するファイル名とボックス番号を設定します。



#### メモ)

本機のボックス機能については、ユーザーズガイド ボックス機能編をごらんください。

### 確認プリントの場合

プリントを実行すると、文書が1部出力されたあと、本機が一時停止します。残りのプリント分は本機のジョブとして蓄積されます。複数部数を指定したときなど、結果を確認してから残部のプリントを実行できます。



#### ワンポイントアドバイス)

プリントする場合は、本体の操作パネルのジョブ機能で文書を指定します。詳しくは、「プリントジョブ管理」(p. 10-77)をごらんください。

## ユーザ認証を設定する

本機で認証モードが設定されている場合にユーザ名とパスワードを入力します。



### ご注意)

本機側の「認証モード」で有効ではないユーザ名やパスワードを入力してプリントした、または「認証」にチェックしないでプリントした場合は、本機で認証できずプリントできません。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
- 2 [認証 / 部門管理] をクリックします。
- 3 「認証」のチェックボックスを ON にし、ユーザ名とパスワードを入力します。



### メモ)

本機でパブリックユーザが許可されている場合は、パブリックユーザで利用できます。

ユーザ認証については、本機の管理者にお問い合わせください。

## 部門管理を設定する

本機で部門管理が有効になっている場合に部門名とパスワードを入力します。



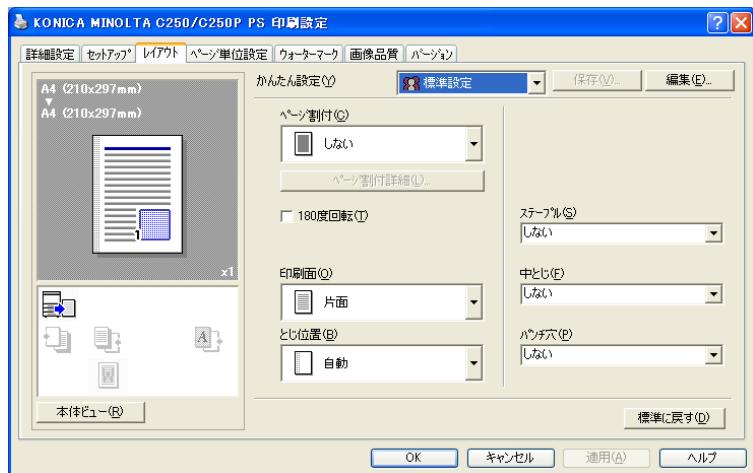
### ご注意)

本機側の「部門管理機能」で有効ではない部門名やパスワードを入力してプリントした、または「部門管理」にチェックしないでプリントした場合は、本機で認証できずプリントできません。

- 1 「セットアップ」タブをクリックします。
- 2 [認証 / 部門管理] をクリックします。
- 3 「部門管理」のチェックボックスを ON にし、部門名とパスワードを入力します。



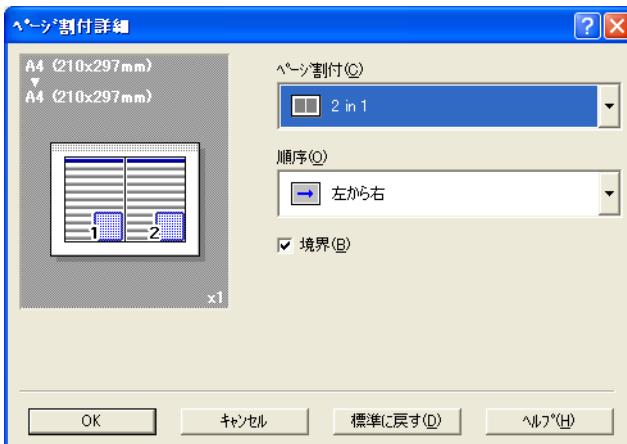
## 6.3 レイアウトタブの設定



### ページ割付 (N in 1) 印刷を行う

複数ページの文書を1枚の用紙にプリントします。プリント後に2つ折りにすると、小冊子のように仕上がる「小冊子」機能も設定できます。

- 1 「レイアウト」タブをクリックします。
  - 2 「ページ割付」のドロップダウンリストで、1枚の用紙にプリントするページ数を選択します。
- 「境界線」や「プリント順序」を変更するときは、[ページ割付詳細]をクリックし、表示されるダイアログボックスで設定します。



**ご注意)**

1つのプリントジョブ内にサイズや方向が異なるページが含まれる文書をプリントすると、画像が欠損したり、画像が重なったりする場合があります。

**メモ)**

オプションのフィニッシャー FS-603 が装着されている場合に「小冊子」を指定すると、ページ中央をとじる「中とじ」が指定できます。

## 両面印刷を行う

文書を、用紙の両面にプリントできます。複数ページの文書をとじる場合に便利です。

- 1 「レイアウト」タブをクリックします。
- 2 「印刷面」のドロップダウンリストで、「両面」を選択します。

**ご注意)**

両面印刷機能は、オプションの自動両面ユニット AD-503 が装着されている場合のみ使用可能となります。

**メモ)**

「とじ位置」のドロップダウンリストで、とじ方向を指定できます。

## とじ代を設定する

文書に、とじ代を付けてプリントします。

- 1 「レイアウト」タブをクリックします。
- 2 「とじ位置」のドロップダウンリストでとじ代の位置を選択します。

## ステープルを行う

複数ページの文書を、ステープルでとじます。



### ご注意)

ステープル機能は、オプションのフィニッシャーFS-501 または FS-603 が装着されている場合のみ使用可能となります。

- 1 「レイアウト」タブをクリックします。
- 2 「ステープル」のドロップダウンリストでステープルの数を指定します。



### メモ)

「とじ位置」の設定により、選択できるステープルの位置が異なります。

装着しているフィニッシャーにより、選択できるステープルの数が異なります。FS-501 装着時は、ステープル「1ヶ所」を指定してください。FS-603 装着時は、ステープル「1ヶ所」または「2ヶ所」から指定してください。

FS-501 装着時のステープル可能枚数は、30 枚までです。FS-603 装着時のステープル可能枚数は、普通紙 A4 □ 以下 50 枚、B4 以上 25 枚までです。

## パンチを行う

プリントした文書にパンチ穴を開けます。



### ご注意)

パンチ機能は、オプションのフィニッシャーFS-603 とパンチキットPK-501 が装着されている場合のみ使用可能となります。

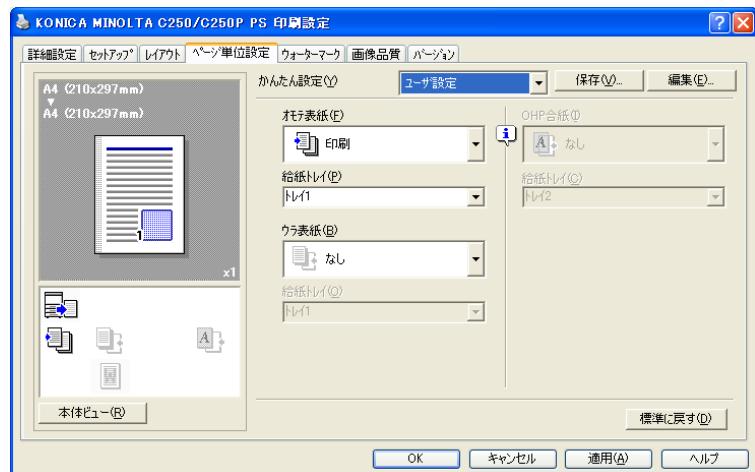
- 1 「レイアウト」タブをクリックします。
- 2 「パンチ穴」のドロップダウンリストでパンチの数を 2 穴に指定します。



### メモ)

「とじ位置」の設定により、パンチ位置が異なります。

## 6.4 ページ単位設定タブの設定



### オモテ表紙／ウラ表紙を付けてプリントする

- 1 「ページ単位設定」タブをクリックします。
- 2 「オモテ表紙」や「ウラ表紙」のドロップダウンリストで印刷条件を指定します。  
プリントする場合は「印刷」を、用紙のみ付ける場合は「白紙」を選択します。
- 3 「オモテ表紙」や「ウラ表紙」として使用する用紙がセットされた給紙トレイを選択します。

## 6.5 ウォーターマークタブの設定



### ウォーターマークをプリントする

特定の文字をウォーターマークとして、文書の背景にプリントします。

- 1 「ウォーターマーク」タブをクリックします。
- 2 リストでプリントしたいウォーターマークを選択します。
- 3 条件を設定します。

透過 : 文字の網パターの背景を透過でプリントする。

1ページ目のみ : 1ページ目のみプリントする。

繰り返し : ページ内にウォーターマークを繰り返しプリントします。



#### メモ)

「ページ割付」で「小冊子」を指定しているときは、ウォーターマークはプリントされません。

## ウォーターマークの編集

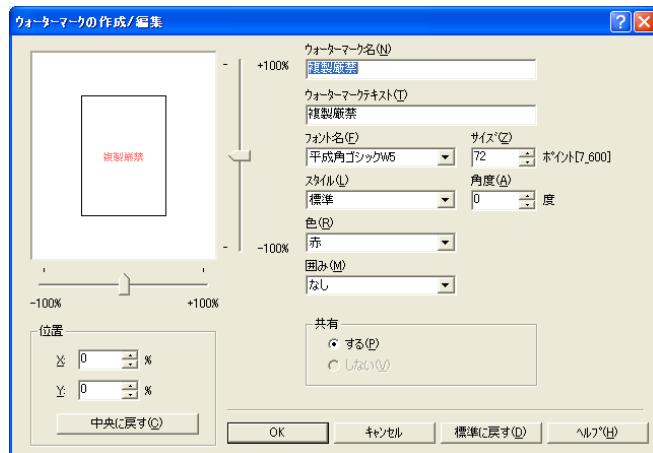
ウォーターマークの書体や位置を変更したり、新規にウォーターマークを登録できます。

1 「ウォーターマーク」タブをクリックします。

2 作成する場合は「新規」をクリックします。

変更する場合は、ウォーターマークを選択してから「編集」をクリックします。

3 各項目を設定します。



ウォーターマーク  
名：

ウォーターマークの登録名を入力します。

ウォーターマークテ  
キスト：

ウォーターマークの文字を入力します。

フォント設定：

フォントやサイズ、スタイル、文字の角度、  
カラー、囲みを設定します。

位置：

右側と下側のスクロールバーでウォーターマークの位置を設定します。

共有：

ウォーターマークを他のユーザと共有する  
かどうかを指定します。



### メモ)

「共有」は、管理者のみ選択できます。

## 6.6 画像品質タブの設定



### 画質を調整する

1 「画像品質」タブをクリックします。

2 各項目を設定します。

原稿種類	原稿内容を設定します。原稿に適した画質でプリントできます。 文書：文字の多い文書に適した処理です。 写真：写真に適した処理です。 DTP：DTP で作成した文書に適した処理です。
カラー選択	プリントする色を設定します。 カラー：カラーでプリントします。 グレースケール：グレースケールでプリントします。
画質調整	詳細調整：文字や写真、図表など、原稿内容ごとに画質を調整します。

### フォントの設定

Windows で使われている TrueType フォントを本機に搭載されているプリンタフォントに置換える設定を行います。

1 [フォント設定] をクリックします。

**2 各項目を設定します。**

フォントダウンロード方法 : TrueType フォントのダウンロード方法を選択する。

プリンタフォントを使用 : TrueType フォントをプリンタフォントに置換える。



...

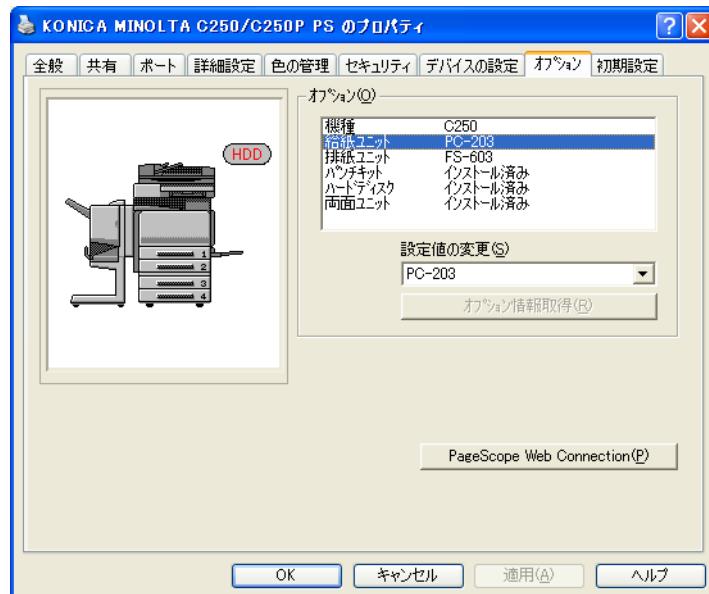
**メモ)**

プリンタフォントを使うとプリント時間は少なくてすみますが、画面の表示とプリント結果に差が出ることがあります。

「ダウンロードフォント」は、TrueType フォントを使用する場合に、プリンタにダウンロードするフォントのタイプを選択します。

フォントの置換えリストは、「デバイスの設定」タブで設定します。

## 6.7 オプションの設定



本機に装着されているオプションをプリンタ ドライバから使用可能にします。



### ご注意)

本機に装着されているオプションが「オプション」タブで設定されていないと、プリンタ ドライバでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

- 1 Windows 2000/NT 4.0 の場合は、「スタート」をクリックし、「設定」-「プリンタ」をクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合は、「スタート」をクリックし、「プリンタと FAX」をクリックします。



### メモ)

「スタート」メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、「スタート」メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

- 2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
- 3 「オプション」タブをクリックします。
- 4 リストでオプションを選択し、下のドロップダウンリストで装着状態を設定します。



...

**メモ)**

本機に接続している状態で【オプション情報取得】をクリックすると、装着オプションが自動的に検出され、「オプション」リストに登録されます。

## 6.8 ドライバ設定を保存する

PostScript ドライバでは、変更したドライバの設定値を保存し、必要に応じて呼び出せます。

### ドライバの設定を保存する

- 「セットアップ」タブや「レイアウト」タブなどでドライバの設定値を変更します。
- 【保存】をクリックします。



- 「名称」(ファイル名)を入力します。



- 4 必要に応じて「コメント」に説明などを入力します。
- 5 保存するドライバの設定を、他のユーザと共有するかどうかを指定します。
- 6 [OK] をクリックします。

設定内容がライブラリに登録されます。



メモ)

拡張子は「.ksf」になります。

設定は25件まで登録できます。

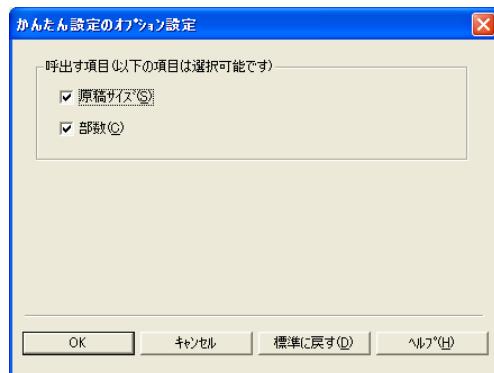
「共有」は、管理者のみ選択できます。

#### 設定を呼び出すには

- プリンタドライバ画面の「かんたん設定」ドロップダウンリストで呼び出す設定を選択します。
- 設定値が呼び出され、プリンタドライバの設定が変更されます。

#### 設定を変更するには

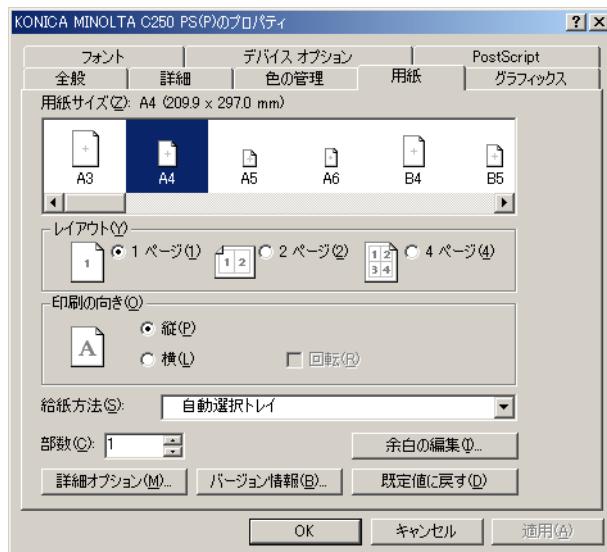
- 1 プリンタドライバの画面で【編集】をクリックします。
- 2 リストから、変更したい設定ファイルを選択し、項目を設定します。  
削除する場合は、ここで【削除】をクリックします。
- 3 【オプション】をクリックし、呼出す項目をチェックし、[OK] をクリックします。



- 4 [OK] をクリックします。

# 7 PPD ドライバの設定 (Windows)

## 7.1 設定項目



### 用紙タブ

項目名	機能
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
レイアウト	ページ割付を設定します。
印刷の向き	用紙方向を設定します。
回転	用紙を回転します。
給紙方法	給紙トレイを選択します。
部数	プリントする部数を設定します。
詳細オプション	用紙の種類、排出装置を設定します。

### グラフィックスタブ

項目名	機能
解像度	プリント解像度を設定します。

項目名	機能
カラー制御	画面上の色と一致するように調整するかどうかを設定します。
ハーフトーン	ハーフトーンの線数と、パターンの角度を指定します。
その他	ネガイメージまたはミラーイメージで印刷します。
拡大／縮小	拡大／縮小率を指定します。

## デバイスオプション

「印刷」画面から [プロパティ] や [詳細設定] をクリックした場合は、以下の固有機能が設定できます。

項目名	機能
部単位	複数部数を、部数ごとプリントするかどうかを設定します。
仕分け	複数部数をプリントするときに、1部ずつ位置をずらして排出します。
とじ位置	とじ位置を設定します。
両面	両面印刷を設定します。
特殊モード	小冊子印刷を設定します。
ステープル	ステープルを行います。
パンチ	パンチを行います。
折り	折りを行います。
オモテ表紙	オモテ表紙を付けてプリントします。
オモテ表紙用トレイ	オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。
ウラ表紙	ウラ表紙を付けてプリントします。
ウラ表紙用トレイ	ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。
OHP 合紙	OHP フィルムに合紙を付けてプリントします。
OHP 合紙用トレイ	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。
一時停止	文書が1部出力された後、一時停止して確認できる確認プリントを指定します。
カラー選択	プリントする色をカラーまたはグレースケールに設定します。
原稿種類	原稿に適した画質でプリントします。
カラーマッチング（文字）	原稿内の文字のカラー画質を調整します。
グレー補償（文字）	原稿内の文字のグレー補償を ON/OFF します。
スクリーン（文字）	原稿内の文字のスクリーン処理を設定します。
カラーマッチング（写真）	原稿内の写真的カラー画質を調整します。
グレー補償（写真）	原稿内の写真的グレー補償を ON/OFF します。
スクリーン（写真）	原稿内の写真的スクリーン処理を設定します。

項目名	機能
スムージング（写真）	原稿内の写真のスムージング処理を設定します。
カラー設定（図表グラフ）	原稿内の図表グラフのカラー画質を文字または写真のどちらかの設定に合わせます。
スムージング（図表グラフ）	原稿内の図表グラフのスムージング処理を文字または写真のどちらかの設定に合わせます。

「プリンタ」画面からプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックした場合は、以下のオプションも設定できます。

項目名	機能
利用できるプリンタメモリ	本機に装着されているメモリを設定します。
利用できるオプション	本機に装着されているオプションを設定します。

### PostScript タブ

項目名	機能
PostScript 出力形式	PostScript ファイルの出力形式を設定します。
PostScript ヘッダー	ヘッダー情報をプリンタに送信するかどうかを指定します。
PostScript エラー情報を印刷する	PostScript エラーレポートをプリントするか、しないかを設定します。
PostScript タイムアウトの値	タイムアウトの時間を設定します。

### フォントタブ

項目名	機能
フォントにより、TrueType フォントをプリンタに送信する	フォント代替表で指定されたフォントをプリンタフォントでプリントします。 フォント代替表は【テーブルの編集】で設定できます。
TrueType フォントの代わりに、常にプリンタフォントを使う	すべてのフォントをプリンタフォントでプリントします。
常に TrueType フォントを使う	プリンタフォントに置換えません。
フォントの送信方法	フォントの送信方法を設定します。

## 7.2 用紙タブの設定

用紙タブでは、プリント時の向きや割付などのレイアウトを設定できます。

- 「用紙」タブをクリックします。



- 各項目を設定します。

用紙サイズ :	用紙サイズを設定します。
レイアウト :	ページ割付 (N in 1 印刷) を設定します。
印刷の向き :	用紙方向を設定します。
回転 :	用紙を回転します。
給紙方法 :	給紙トレイを選択します。
部数 :	プリントする部数を設定します。
詳細オプション :	用紙の種類、排出装置を設定します。

## 7.3 デバイスオプションの設定

「デバイスオプション」画面では、フィニッシャーの機能や色調整など高度な機能を設定できます。

- 1 「デバイスオプション」タブをクリックします。
- 2 各項目を選択し、「設定の変更」のドロップダウンリストで、機能を選択します。



### メモ)

設定できる項目および機能については、「設定項目」(p. 7-1) をご覧ください。

装着しているフィニッシャーにより、選択できるステープルの数が異なります。FS-501 装着時は、ステープル「1ヶ所」を指定してください。FS-603 装着時は、ステープル「1ヶ所」または「2ヶ所」から指定してください。

**ご注意)**

両面印刷機能は、オプションの自動両面ユニット AD-503 が装着されている場合のみ使用可能となります。

折り機能は、オプションのフィニッシャー FS-501 または FS-603 が装着されている場合のみ使用可能となります。

ステープル機能は、オプションのフィニッシャー FS-501 または FS-603 が装着されている場合のみ使用可能となります。FS-501 装着時のステープル可能枚数は、30 枚までです。FS-603 装着時のステープル可能枚数は、普通紙 A4 □ 以下 50 枚、B4 以上 25 枚までです。

パンチ機能は、オプションのフィニッシャー FS-603 とパンチキット PK-501 が装着されている場合のみ使用可能となります。

## 7.4 オプションの設定

本機に装着されているオプションをプリンタドライバから使用可能にします。



### ご注意)

本機に装着されているオプションが「デバイスオプション」タブで設定されていないと、機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

- 1 Windows 98SE/Me の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。
- 2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
- 3 「デバイスオプション」タブをクリックします。
- 4 各項目を選択し、「設定の変更」のドロップダウンリストで、機能を選択します。



### メモ)

設定できる項目および機能については、「設定項目」(p. 7-1)をごらんください。



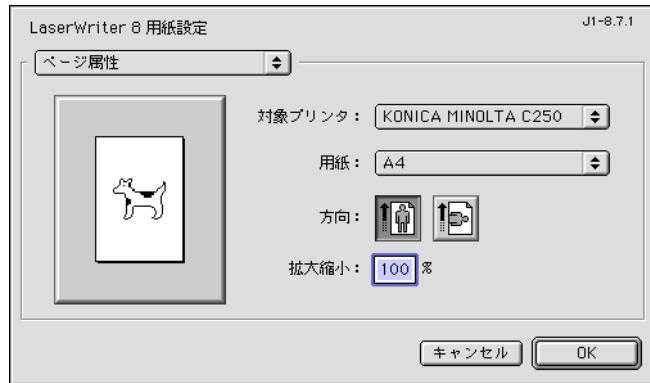
## 8 PPD ドライバの設定 (OS 9.2)

### 8.1 設定項目

本機の機能は、アプリケーションソフトウェアから呼び出す「用紙設定」および「プリント」画面で設定します。

設定内容は、そのアプリケーションソフトウェアを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は消えます。

#### 「用紙設定」画面



#### 用紙設定の設定項目

メニュー	項目名	機能
ページ属性	用紙	用紙のサイズを設定します。
	方向	用紙方向を設定します。
	拡大縮小	拡大・縮小率を設定します。

メニュー	項目名	機能
PostScript オプション	横反転	左右を反転してプリントします。
	縦反転	上下を反転してプリントします。
	パターン反転	ネガ反転してプリントします。
	フォント代用	一部のフォントをプリンタフォントに置換えます。
	滑らかな文字	テキストデータにスマージング処理をします。
	滑らかなグラフィック	グラフィックデータにスマージング処理をします。
	精密ピットマップアライメント	グラフィックイメージの歪みを補正します。
	ダウンロード可能フォントの制限なし	ダウンロードするスクリーンフォントの制限をなしにします。
カスタム用紙サイズ	単位	設定単位を選択します。
	用紙サイズ	目的の用紙サイズを設定します。
	余白	用紙の余白を設定します。
	カスタム用紙サイズの名前	設定した用紙サイズや余白の登録名を入力し、[追加] をクリックします。

**メモ)**

アプリケーションソフトウェアによっては、「用紙設定」が「ページ設定」と表示される場合もあります。また、「ファイル」メニューから「用紙設定」 - 「オプション」と選択する場合もあります。

画面の内容は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

## 「プリント」画面



### プリントの設定項目

メニュー	項目名	機能
一般設定	部数	プリントする部数を設定します。
	丁合い	部数が複数の場合、1部ずつプリントします。
	ページ	プリントするページ範囲を設定します。
	給紙元	給紙するトレイを選択します。
カラーマッチング	カラー指定	プリントする色を設定します。
	マッチングスタイル	カラーマッチングの方法を選択します。
	プリンタ用プロファイル	出力機器の色調整プロファイルを設定します。
バックグラウンドプリント	処理方法	バックグラウンド印刷を設定します。
	プリント時刻	プリントの緊急度や時間指定をします。
ファイルとして保存	フォーマット	PostScript ファイルの出力形式を設定します。
	PostScript レベル	PostScript のレベルを設定します。
	データフォーマット	書類の保存形式を設定します。
	フォントの保持	フォントデータをファイルに含めるかどうか設定します。
フォント設定	フォント情報	フォントキーに情報を付加します。
	フォントダウンロード	フォントをダウンロードする条件を設定します。

メニュー	項目名	機能
レイアウト	ページ割り付け	1枚の用紙にプリントするページ数を設定します。
	レイアウト方向	ページの割付け順を設定します。
	枠線	ページ間に境界線を設定します。
作業記録処理	PostScript エラーが起きた場合	PostScript エラーレポートの条件を設定します。
	作業記録	保存する作業記録の条件を設定します。
	作業記録フォルダ	作業記録を保存するフォルダを設定します。
表紙	表紙のプリント	表紙を付けてプリントします。
	表紙の給紙元	表紙を給紙するトレイを選択します。
Finishing Option1	仕分け	仕分けを設定します。
	排紙トレイ	排紙トレイを選択します。
	とじ位置	とじ位置を設定します。
	両面	両面印刷を行います。
	特殊モード	小冊子印刷を設定します。
	ステープル	ステープルを行います。
	パンチ	パンチを行います。
Finishing Option2	折り	折りを行います。
	オモテ表紙	オモテ表紙を付けてプリントします。
	オモテ表紙用トレイ	オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。
	ウラ表紙	ウラ表紙を付けてプリントします。
	ウラ表紙用トレイ	ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。
	OHP 合紙	OHP フィルムに合紙を付けてプリントします。
	OHP 合紙用トレイ	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。
Finishing Option3	一時停止	文書が1部出力された後、一時停止して確認できる確認プリントを指定します。
	解像度	プリント解像度を設定します。
	カラー選択	プリントする色をカラーまたはグレースケールに設定します。
	原稿種類	原稿に適した画質でプリントします。
	カラーマッ칭（文字）	原稿内の文字のカラー画質を調整します。
	グレー補償（文字）	原稿内の文字のグレー補償をON/OFFします。
	スクリーン（文字）	原稿内の文字のスクリーン処理を設定します。

メニュー	項目名	機能
Finishing Option4	カラーマッチング（写真）	原稿内の写真のカラー画質を調整します。
	グレー補償（写真）	原稿内の写真のグレー補償を ON/OFF します。
	スクリーン（写真）	原稿内の写真のスクリーン処理を設定します。
	スムージング（写真）	原稿内の写真のスムージング処理を設定します。
	カラー設定（図表グラフ）	原稿内の図表グラフのカラー画質を文字または写真のどちらかの設定に合わせます。
	スムージング（図表グラフ）	原稿内の図表グラフのスムージング処理を文字または写真のどちらかの設定に合わせます。



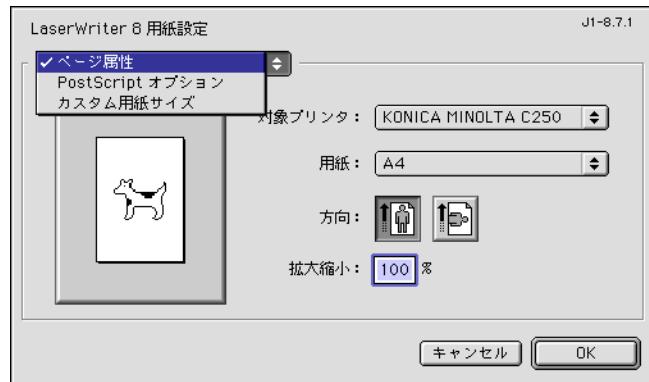
**メモ)**

画面の内容は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

## 8.2 用紙設定

### ページ属性（基本設定）

- 1 [ファイル] メニューの「用紙設定」（または「ページ設定」）を選択します。
- 2 「ページ属性」を選択します。

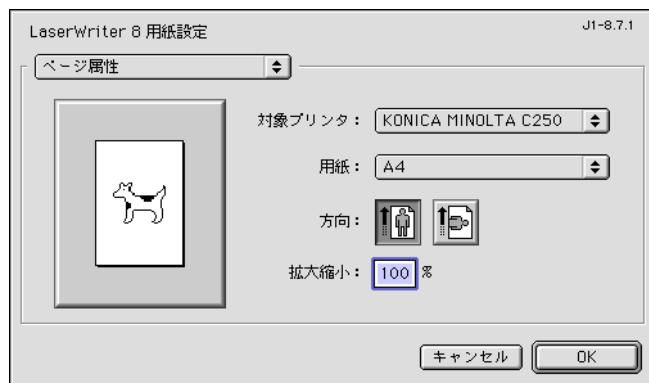


- 3 各項目を設定します。

用紙 : 用紙のサイズを設定します。

方向 : 用紙方向を設定します。

拡大縮小 : 拡大・縮小率を設定します。



**メモ)**

製本の機能は「プリント」画面の「レイアウト」で設定できます。

**カスタムページ設定**

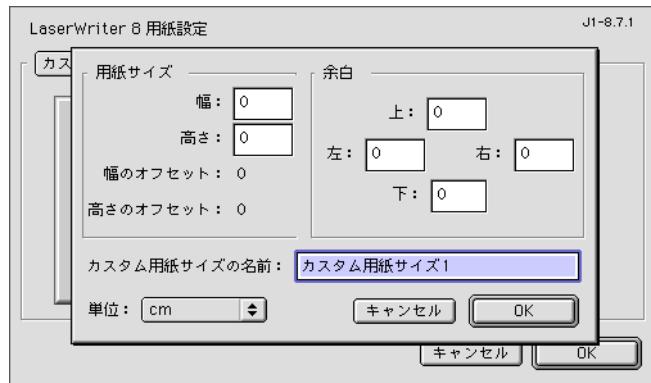
- 1 [ファイル] メニューの「用紙設定」(または「ページ設定」) を選択します。
- 2 「カスタム用紙サイズ」を選択します。
- 3 各項目を設定します。

**用紙サイズ :** 希望する用紙サイズを設定します。

**余白 :** 用紙の余白を設定します。

**カスタム用紙サイズ の名前 :** 設定した用紙サイズや余白の登録名を入力し、[OK] をクリックします。

**単位 :** 設定単位を選択します。



- 4 [OK] をクリックします。

カスタムページ設定が登録され、「ページ属性」の用紙で選択できるようになります。

## PostScript オプション

- 1 [ファイル] メニューの「用紙設定」(または「ページ設定」) を選択します。
- 2 「PostScript オプション」を選択します。
- 3 各項目を設定します。

視覚効果 :	「横反転」、「縦反転」、「パターン反転（ネガ反転）」を選択します。
フォント代用 :	一部のフォントをプリントフォントに置換えます。
滑らかな文字 :	テキストデータにスムージング処理をします。
滑らかなグラフィックス :	グラフィックデータにスムージング処理をします。
精密ビットマップアライメント :	グラフィックイメージの歪みを補正します。
ダウンロード可能フォントの制限なし :	ダウンロードするスクリーンフォントの制限をなしにします。



## 8.3 プリント

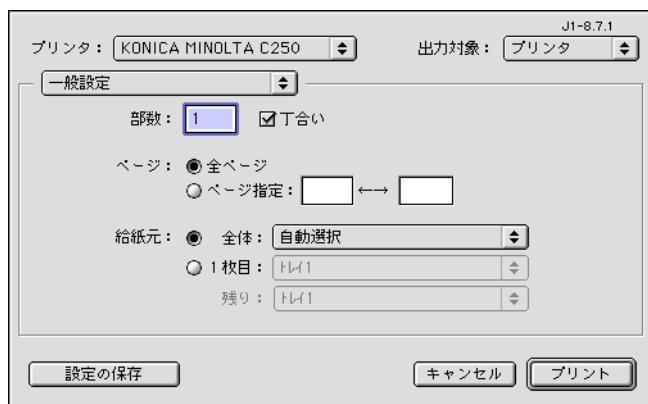
### 一般設定（基本設定）

- 1 [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。
- 2 「一般設定」を選択します。



- 3 各項目を設定します。

- 部数 : プリントする部数を設定します。  
 丁合い : 部数が複数の場合、1部ずつプリントします。  
 ページ : プリントするページ範囲を設定します。  
 紙元 : 紙元を設定します。



## レイアウト (ページ割付)

複数ページを 1 枚の用紙に割付けるときに設定します。

- 1 [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。
- 2 「レイアウト」を選択します。
- 3 各項目を設定します。

ページ割り付け : 1 枚の用紙にプリントするページ数を設定します。

レイアウト方向 : ページの割付け順を設定します。

枠線 : ページ間に境界線を設定します。



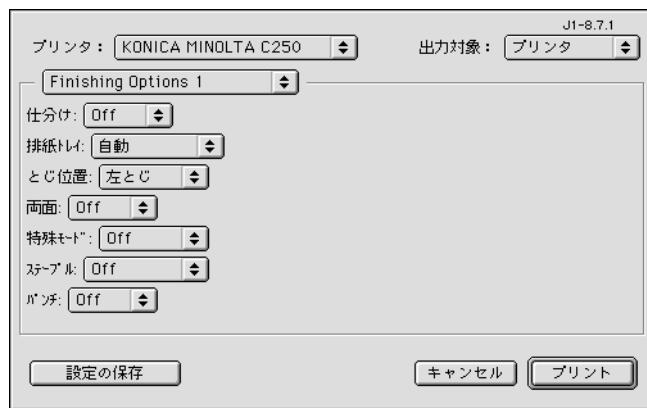
## プリンタ固有機能 (Finishing Option 1 ~ 4)

プリンタ固有の機能を設定します。ステープルやパンチなど本機の機能を利用するときに設定します。

- 1 [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。
- 2 「Finishing Option 1 ~ 4」を選択します。
- 3 各項目を設定します。

仕分け :	仕分けを設定します。
排紙トレイ :	排紙トレイを選択します。
とじ位置 :	とじ位置を設定します。
両面 :	両面印刷を行います。
特殊モード :	小冊子印刷を設定します。
ステープル :	ステープルを行います。
パンチ :	パンチを行います。
折り :	折りを行います。
オモテ表紙 :	オモテ表紙を付けてプリントします。
オモテ表紙用トレイ :	オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。
ウラ表紙 :	ウラ表紙を付けてプリントします。
ウラ表紙用トレイ :	ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。
OHP 合紙 :	OHP フィルムに合紙を付けてプリントします。
OHP 合紙用トレイ :	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。
一時停止 :	文書が 1 部出力された後、一時停止して確認できる確認プリントを指定します。
解像度 :	解像度を設定します。
カラー選択 :	プリントする色をカラーまたはグレースケールに設定します。
原稿種類 :	原稿に適した画質でプリントします。
カラーマッチング (文字) :	原稿内の文字のカラー画質を調整します。
グレー補償 (文字) :	原稿内の文字のグレー補償を ON/OFF します。

スクリーン (文字) :	原稿内の文字のスクリーン処理を設定します。
カラーマッチング (写真) :	原稿内の写真的カラー画質を調整します。
グレー補償 (写真) :	原稿内の写真的グレー補償を ON/OFF します。
スクリーン (写真) :	原稿内の写真的スクリーン処理を設定します。
スムージング (写真) :	原稿内の写真的スムージング処理を設定します。
カラー設定 (図表グラフ) :	原稿内の図表グラフのカラー画質を文字または写真的どちらかの設定に合わせます。
スムージング (図表グラフ) :	原稿内の図表グラフのスムージング処理を文字または写真的どちらかの設定に合わせます。



### ご注意)

両面印刷機能は、オプションの自動両面ユニット AD-503 が装着されている場合のみ使用可能となります。

ステープル機能は、オプションのフィニッシャー FS-501 または FS-603 が装着されている場合のみ使用可能となります。

パンチ機能は、オプションのフィニッシャー FS-603 とパンチキット PK-501 が装着されている場合のみ使用可能となります。



メモ)

装着しているフィニッシャーにより、選択できるステープルの数が異なります。FS-501 装着時は、ステープル「1ヶ所」を指定してください。FS-603 装着時は、ステープル「1ヶ所」または「2ヶ所」から指定してください。

## 8.4 オプションの設定

本機に装着されているオプションをプリンタドライバから使用可能にします。



### ご注意)

本機に装着されているオプションが「追加オプションの設定」で設定されていないと、オプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

- 1 「アップルメニュー」の「セレクタ」を選択します。
- 2 プリンタ名を選択します。
- 3 [再設定] をクリックします。
- 4 [構成] をクリックします。

追加オプションの設定画面が表示されます。



- 5 「Options Installed 1」と「Options Installed 2」の各画面で本機に装着しているオプションを設定します。
- 6 [OK] をクリックします。  
「セレクタ」画面にもどります。
- 7 「セレクタ」画面を閉じます。



### メモ)

オプションの設定は、最初にプリンタドライバを選択したときには、自動的に表示します。詳しくは、「プリンタの選択」(p. 2-20)をごらんください。

# 9 PPD ドライバの設定 (OS X)

## 9.1 設定項目

本機の機能は、アプリケーションソフトウェアから呼び出す「ページ設定」および「プリント」画面で設定します。

設定内容は、そのアプリケーションソフトウェアを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容はクリアされます。

### 「ページ設定」画面



### ページ設定の設定項目

設定メニュー	項目名	機能
ページ属性	用紙サイズ	用紙のサイズを設定します。
	方向	用紙方向を設定します。
	拡大縮小	拡大・縮小率を設定します。
カスタム用紙サイズ	用紙サイズ	目的の用紙サイズを設定します。
	プリンタの余白	用紙の余白を設定します。



### メモ)

アプリケーションソフトウェアによっては、「ページ設定」が「用紙設定」と表示される場合もあります。また、「ファイル」メニューから「用紙設定」 - 「オプション」と選択する場合もあります。

画面の内容は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

## 「プリント」画面



### プリントの設定項目

メニュー	項目名	機能
印刷部数と印 刷ページ	部数	プリントする部数を設定します。
	丁合	部数が複数の場合、1部ずつプリントします。
	ページ	プリントするページ範囲を設定します。
レイアウト	ページ数／枚	1枚の用紙にプリントするページ数を設定しま す。
	レイアウト方向	ページの割付け順を設定します。
	枠線	ページ間に境界線を設定します。
出力オプショ ン	フォーマット	ファイルに出力する場合のフォーマットを設定 します。
スケジューラ *1	書類をプリント	プリントの時間指定をします。
	優先順位	プリントの緊急度を設定します。
用紙処理 *1	ページの順序を逆に する	ページの順序を逆にプリントします。
	プリント	プリントするページを選択します。
ColorSync*1	カラー変換	色変換の方法を設定します。
	Quartz フィルタ	プリントする色を設定します。
表紙 *1	表紙をプリント	表紙を付けるかどうか設定します。
	表紙のタイプ	表紙にプリントする「社外秘」などのコメント を選択します。
エラー処理	PostScript エラー	PostScript エラーが発生した場合、レポートをプリントするか、しないかを設定します。
給紙	全体	給紙するトレイを選択します。
	先頭ページのみ	給紙するトレイを選択します。
	残りのページ	給紙するトレイを選択します。

メニュー	項目名	機能
画像品質	解像度	解像度を設定します。
	カラー選択	プリントする色を選択します。
	原稿種類	原稿に適した画質でプリントします。
	カラーマッチング (文字)	原稿内の文字のカラー画質を調整します。
	グレー補償 (文字)	原稿内の文字のグレー補償を ON/OFF します。
	スクリーン (文字)	原稿内の文字のスクリーン処理を設定します。
	カラーマッチング (写真)	原稿内の写真的のカラー画質を調整します。
	グレー補償 (写真)	原稿内の写真的のグレー補償を ON/OFF します。
	スクリーン (写真)	原稿内の写真的のスクリーン処理を設定します。
	スムージング (写真)	原稿内の写真的のスムージング処理を設定します。
出力設定	カラー設定 (図表グラフ)	原稿内の図表グラフのカラー画質を文字または写真的どちらかの設定に合わせます。
	スムージング (図表グラフ)	原稿内の図表グラフのスムージング処理を文字または写真的どちらかの設定に合わせます。
	ソート	複数部数をプリントするときに、1部ずつプリントします。
	仕分け	仕分けを設定します。
	両面	両面印刷を行います。
	排紙トレイ	排紙トレイを選択します。
	とじ位置	とじ位置を設定します。
	特殊モード	小冊子印刷を設定します。
セットアップ	ステーブル	ステーブルを行います。
	パンチ穴	パンチを行います。
	折り	折りを行います。
	用紙種類	用紙種類を選択します。
	オモテ表紙	オモテ表紙を付けてプリントします。
	オモテ表紙用トレイ	オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。
	ウラ表紙	ウラ表紙を付けてプリントします。
	ウラ表紙用トレイ	ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。
OHP 合紙	OHP 合紙	OHP フィルムに合紙を付けてプリントします。
	OHP 合紙用トレイ	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。

メニュー	項目名	機能
セキュリティ	出力方法	「機密プリント」や「ボックス保存」など出力方法を設定します。
	機密プリント設定	「機密プリント」の場合のユーザ ID やパスワードを設定します。
	ボックス保存設定	「ボックス保存」の場合のファイル名やボックス名を設定します。
	認証設定	ユーザ認証を行う場合にチェックし、ユーザ ID やパスワードを設定します。
	部門管理	部門管理を行う場合にチェックし、管理部門名とパスワードを設定します。



メモ)

画面の内容は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

\*1 の項目は、OS 10.3 のみ表示されます。

## 9.2 ページ設定

### ページ属性（基本設定）

- 1 [ファイル] メニューの「ページ設定」（または「用紙設定」）を選択します。
- 2 「ページ属性」を選択します。



- 3 各項目を設定します。

用紙サイズ : 用紙のサイズを設定します。  
 方向 : 用紙方向を設定します。  
 拡大縮小 : 拡大・縮小率を設定します。



## カスタム用紙サイズ

- 1 [ファイル] メニューの「ページ設定」(または「用紙設定」) を選択します。
- 2 「カスタム用紙サイズ」を選択します。
- 3 「新規」をクリックします。
- 4 用紙サイズの名称を入力します。
- 5 各項目を設定します。

用紙サイズ : 目的の用紙サイズを設定します。

プリンタの余白 : 用紙の余白を設定します。



- 6 [保存] をクリックします。

- 7 [OK] をクリックします。

カスタム用紙サイズが登録され、「ページ属性」の用紙サイズで選択できるようになります。

## 9.3 プリント

### 一般設定（基本設定）

1 [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。

2 「印刷部数と印刷ページ」を選択します。

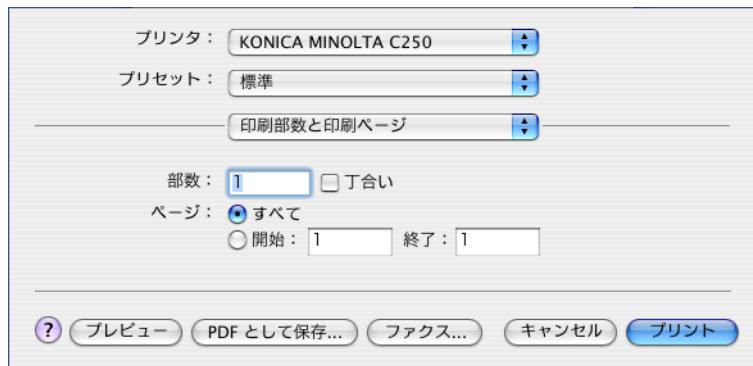


3 各項目を設定します。

部数 : プリントする部数を設定します。

丁合い : 部数が複数の場合、1部ずつプリントします。

ページ : プリントするページ範囲を設定します。



## レイアウト (ページ割付)

複数ページを 1 枚の用紙に割付けます。

- 1 [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。
- 2 「レイアウト」を選択します。
- 3 各項目を設定します。

ページ数／枚 : 1 枚の用紙にプリントするページ数を設定します。

レイアウト方向 : ページの割付け順を設定します。

枠線 : ページ間に境界線を設定します。



## 給紙

プリントする給紙トレイを指定します。

1 [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。

2 「給紙」を選択します。

3 各項目を設定します。

全体 : 全ページをプリントする給紙トレイを選択します。

先頭ページのみ : 先頭ページをプリントする給紙トレイを選択します。

残りのページ : 2ページ目以降をプリントする給紙トレイを選択します。



## セキュリティ

直接プリントするだけでなく、プリント時にパスワードを必要とする「機密プリント」や、ドキュメントフォルダに保存する「ボックス保存」、複数部プリント時に1部目で一時停止する「確認プリント」、ユーザ認証の必要な「認証設定」、プリント枚数を管理する「部門管理設定」などが選択できます。

1 [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。

2 「セキュリティ」を選択します。

3 各項目を設定します。

出力方法 : 「機密プリント」「ボックス保存」などの条件を選択します。

機密プリント設定 : 「出力方法」で「機密プリント」を選んだ場合にIDとパスワードを入力します。IDとパスワードは、プリントするときに本機の操作パネルで入力します。(最大100文書)

ボックス保存設定 : 「出力方法」で「ボックス保存」または「ボックス保存&印刷」を選んだ場合にファイル名とボックス番号を入力します。

認証設定 : 本機で認証モードが設定されている場合にチェックボックスをONにし、ユーザ名とパスワードを入力します。パブリックユーザが許可されている場合は、パブリックユーザで利用できます。

部門管理設定 : 本機で部門管理が有効になっている場合にチェックボックスをONにし、部門名とパスワードを入力します。



### ご注意)

本機側の「認証モード」で有効ではないユーザ名やパスワードを入力してプリントした、または「認証設定」にチェックしないでプリントした場合は、本機で認証できずプリントできません。

本機側の「部門管理機能」で有効ではない部門名やパスワードを入力してプリントした、または「部門管理設定」にチェックしないでプリントした場合は、本機で認証できずプリントできません。



### ワンポイントアドバイス)

プリントする場合は、本体の操作パネルで操作します。詳しくは、「プリントジョブ管理」(p. 10-77)をごらんください。

本機のボックス機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

The screenshot shows the 'Box' tab settings for the Konica Minolta C250 printer. The top section includes dropdown menus for Printer (KONICA MINOLTA C250), Preset (Standard), Security, and Output Method (Secure Print). Below these are two main sections: 'Secure Print' and 'Secure Save Settings'. The 'Secure Print' section contains fields for 'Secure Print ID' and 'Password'. The 'Secure Save Settings' section contains fields for 'File Name' and 'Save Name'. There are also checkboxes for 'Authentication Settings' and 'Department Management', each with its own set of input fields. At the bottom are standard print-related buttons: '?', 'Preview', 'Save as PDF...', 'Fax...', 'Cancel', and a large blue 'Print' button.

プリンタ : KONICA MINOLTA C250

プリセット : 標準

セキュリティ

出力方法: 機密プリント

機密プリント

機密プリントID:

パスワード:

ボックス保存設定

ファイル名:

ボックス名:

認証設定

Publicユーザ

登録ユーザ

ユーザ名:

パスワード:

部門管理

部門名:

パスワード:

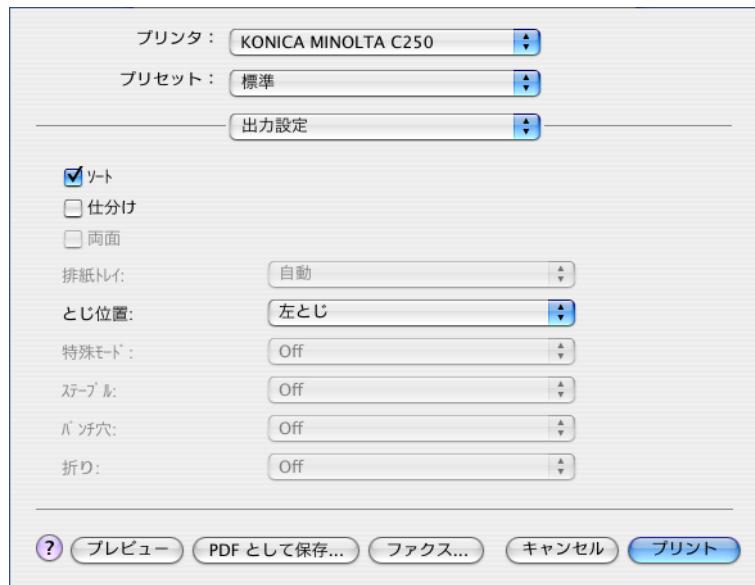
? プレビュー PDFとして保存... フax... キャンセル プリント

## 出力設定

ステープルやパンチなど本機のフィニッシャー機能を利用するときに設定します。

- 1 [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。
- 2 「出力設定」を選択します。
- 3 各項目を設定します。

部単位 :	複数部数をプリントするときに、1部ずつプリントします。
仕分け :	仕分けを設定します。
両面 :	両面印刷を行います。
排紙トレイ :	排紙トレイを選択します。
とじ位置 :	とじ位置を設定します。
特殊モード :	小冊子印刷を設定します。
ステープル :	ステープルを行います。
パンチ穴 :	パンチを行います。
折り :	折りを行います。



### ご注意)

両面印刷機能は、オプションの自動両面ユニット AD-503 が装着されている場合のみ使用可能となります。

ステープル機能は、オプションのフィニッシャー FS-501 または FS-603 が装着されている場合のみ使用可能となります。

パンチ機能は、オプションのフィニッシャー FS-603 とパンチキット PK-501 が装着されている場合のみ使用可能となります。



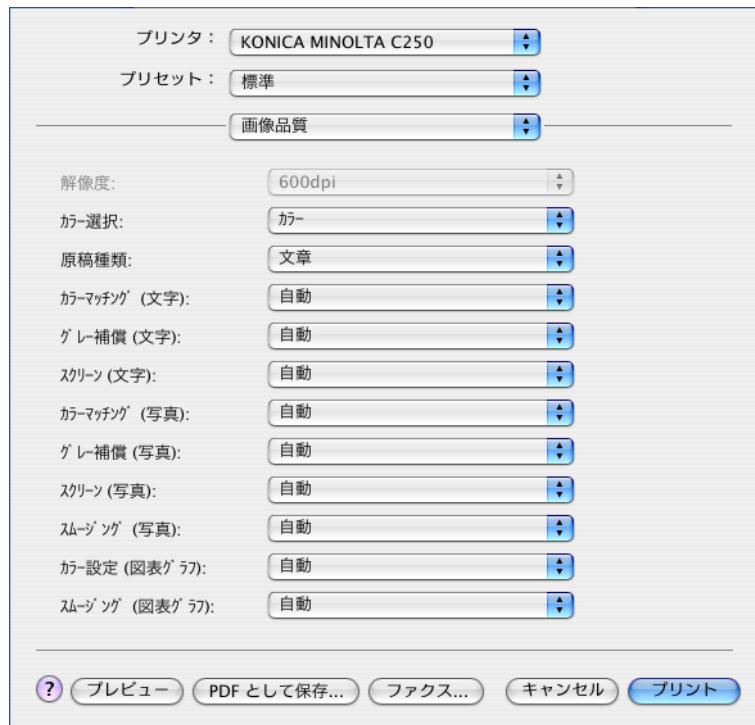
### メモ)

装着しているフィニッシャーにより、選択できるステープルの数が異なります。FS-501 装着時は、ステープル「1ヶ所」を指定してください。FS-603 装着時は、ステープル「1ヶ所」または「2ヶ所」から指定してください。

## 画像品質

- 1 [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。
- 2 「画像品質」を選択します。
- 3 各項目を設定します。

解像度 :	解像度を設定します。
カラー選択 :	プリントする色を選択します。
原稿種類 :	原稿に適した画質でプリントします。
カラーマッチング (文字) :	原稿内の文字のカラー画質を調整します。
グレー補償 (文字) :	原稿内の文字のグレー補償を ON/OFF します。
スクリーン (文字) :	原稿内の文字のスクリーン処理を設定します。
カラーマッチング (写真) :	原稿内の写真的のカラー画質を調整します。
グレー補償 (写真) :	原稿内の写真的のグレー補償を ON/OFF します。
スクリーン (写真) :	原稿内の写真的のスクリーン処理を設定します。
スムージング (写真) :	原稿内の写真的のスムージング処理を設定します。
カラー設定 (図表グラフ) :	原稿内の図表グラフのカラー画質を文字または写真的どちらかの設定に合わせます。
スムージング (図表グラフ) :	原稿内の図表グラフのスムージング処理を文字または写真的どちらかの設定に合わせます。



## セットアップ

表紙の条件を設定します。

- 1 [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。
- 2 「セットアップ」を選択します。
- 3 各項目を設定します。

用紙種類 :	用紙種類を選択します。
オモテ表紙 :	オモテ表紙を付けてプリントします。
オモテ表紙用トレイ :	オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。
ウラ表紙 :	ウラ表紙を付けてプリントします。
ウラ表紙用トレイ :	ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。
OHP 合紙 :	OHP フィルムに合紙を付けてプリントします。
OHP 合紙用トレイ :	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。



## 9.4 オプションの設定

本機に装着されているオプションをプリンタドライバから使用可能にします。



### ご注意)

本機に装着されているオプションが「インストール可能なオプション」で設定されていないと、オプションの機能を使用できません。  
オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

- 1 「HDD」—「アプリケーション」—「ユーティリティ」内の〔プリントセンター〕(または〔プリンタ設定ユーティリティ〕)を開き、プリンタの機種を選択します。
- 2 [プリンタ] メニューの「情報を見る」を選択します。  
「プリンタ情報」画面が表示されます
- 3 「インストール可能なオプション」を選択します。
- 4 本機に装着しているオプションを設定します。



- 5 [変更を適用] をクリックし、[ ] をクリックして「プリンタ情報」画面を終了します。

## 9.5 ドライバ設定を保存する

OS X ドライバでは、変更したドライバの設定値を保存し、必要に応じて呼び出せます。

### ドライバの設定を保存する

- 1 「印刷部数と印刷ページ」や「レイアウト」などでドライバの設定値を変更します。
- 2 「プリセット」から [別名で保存] をクリックします。



- 3 「保存するプリセットの名前」を入力します。



- 4 [OK] をクリックします。

設定内容がプリセットに登録されます。

### 設定を呼び出すには

- 1 「プリント」画面で「プリセット」から呼び出す設定を選択します。設定値が呼び出され、プリンタドライバの画面にもどります。

## 設定を変更するには

- 1 「プリント」画面で「プリセット」から変更する設定を選択します。
- 2 「印刷部数と印刷ページ」や「レイアウト」などでドライバの設定値を変更します。
- 3 「プリセット」から [保存] をクリックします。  
削除する場合は、ここで [削除] を、名前を変えるときは「名称変更」をクリックします。  
プリセットが変更されます。



## 10 各種設定

### 10.1 ユーティリティのプリンタ設定

コピー機の操作パネルで各種プリンタ設定を変更できます。

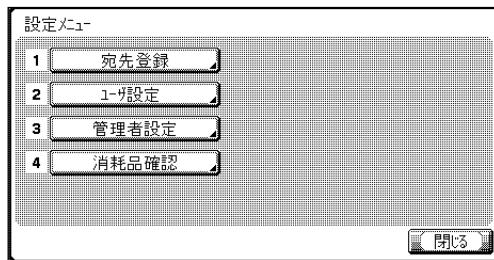
#### デフォルト設定

ユーザ設定画面を表示させるには

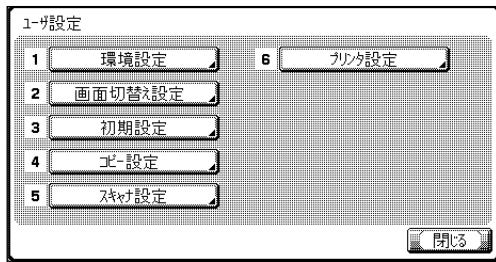
- 1 【設定メニュー／カウンタ】を押します。



- 2 [2 ユーザ設定] を押します。



ユーザ設定画面が表示されます。



**メモ)**

キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。

[2 ユーザ設定] の場合は、テンキーの【2】と入力します。

ユーティリティの設定を終了するときは、サブエリアの【終了】または【設定メニュー／カウンタ】を押します。コピー、ファクス、スキャナ、ポックスのいずれかの画面になるまで【閉じる】を押しても終了できます。

## PDL 設定

Page Description Language の設定ができます。(初期値 : 自動)

- 自動 : PCL と PS を自動で切換えます。
- PCL : PCL を固定で使用します。
- PS : PS を固定で使用します。



### メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1) をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [1 基本設定] を押します。
- 3 [PDL 設定] を押します。



- 4 希望するキーを押します。



## プリント部数の設定

プリンタドライバから指定がない場合のプリント部数を設定できます。  
(初期値 : 1 部)



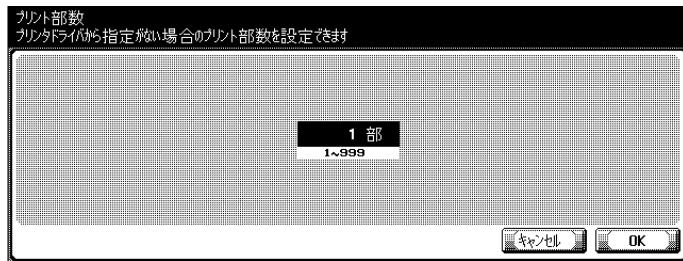
### メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1)をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [1 基本設定] を押します。
- 3 [プリント部数] を押します。



- 4 【クリア】を押し数値をクリアしてから、テンキーで部数を入力します。(1 部～999 部)



...  
**メモ)**

設定範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。

- 5 [OK] を押します。

プリント部数が設定されます。

### 画像の設定

画像の向きの初期値が設定できます。(初期値：ポートレート)

- ポートレート：用紙を縦置きにして印刷する画像
- ランドスケープ：用紙を横置きにして印刷する画像

...  
**メモ)**

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1)をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [1 基本設定] を押します。
- 3 [画像の向き] を押します。



- 4 希望するキーを押します。



### スプール設定

スプールの設定ができます。(初期値 : する)

- する : ジョブの処理中に次のジョブを受信した場合、HDDにジョブを格納します。
- しない : HDDにプリントデータを格納しません。



#### 重要)

通常は“しない”的設定変更はしないでください。印刷が正常にできない場合があります。



#### メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1)をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [1 基本設定] を押します。

- 3 [スプール設定] を押します。



- 4 希望するキーを押します。



### 用紙サイズ変換

プリンタドライバから指定の用紙が無い場合、A4 ⇄ Letter、A3 ⇄ Ledger の用紙変換をします。(初期値：しない)



#### ご注意)

強制的に印刷をするため、画像が欠損する場合があります。



#### メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1)をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。

- 2 [1 基本設定] を押します。

3 [用紙サイズ変換] を押します。



4 希望するキーを押します。



## 給紙トレイの設定

プリンタドライバから指定がない場合に使用する給紙トレイを設定できます。(初期値:自動)



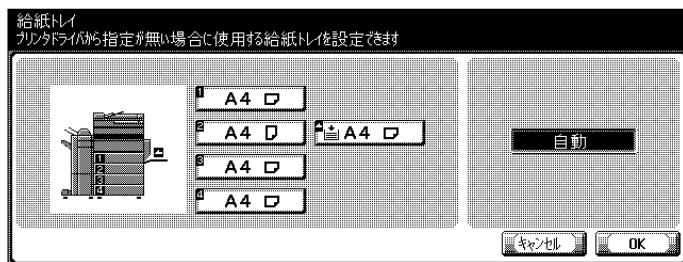
### メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1)をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [2 用紙設定] を押します。
- 3 [給紙トレイ] を押します。



- 4 希望するトレイのキーを押します。





メモ)

給紙トレイを自動で選択させる場合は【自動】を押します。

設定を取り消すには、【キャンセル】を押します。

- 5 [OK] を押します。

### 用紙サイズの設定

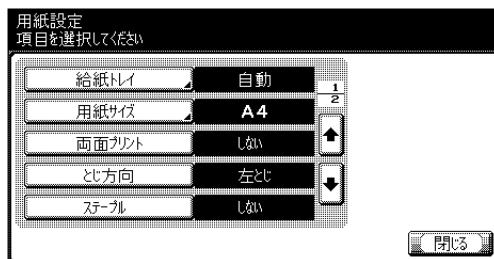
プリンタドライバから指定がない場合に使用する用紙サイズを設定できます。(初期値: A4)

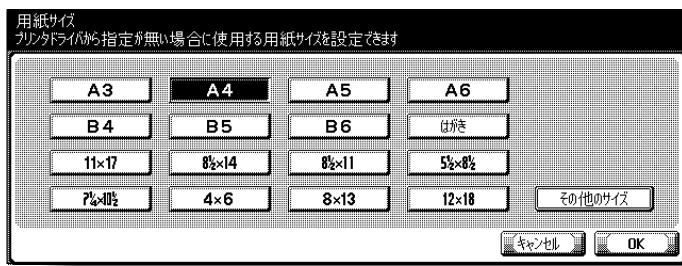


メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1)をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [2 用紙設定] を押します。
- 3 [用紙サイズ] を押します。



**4 希望するキーを押します。****メモ)**

[8K]、[16K]、[envB5]、[envC5]、[envDL]、[envCom10]、  
[env Monarch] を選択するときは、[その他のサイズ] を押しま  
す。

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。

**5 [OK] を押します。**

## 両面プリントの設定

両面プリントの初期値が設定できます。(初期値 : しない)



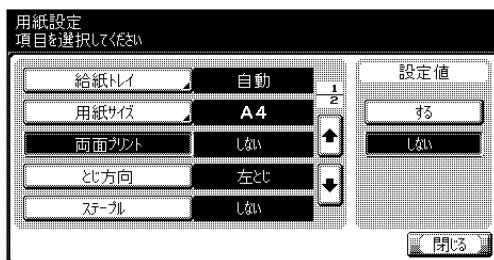
### メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1) をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [2 用紙設定] を押します。
- 3 [両面プリント] を押します。



- 4 希望するキーを押します。



### ご注意)

両面印刷機能は、オプションの自動両面ユニット AD-503 が装着されている場合のみ使用可能となります。

## とじ方向の設定

両面プリント時のとじ方向の初期値を設定できます。(初期値: 左とじ)



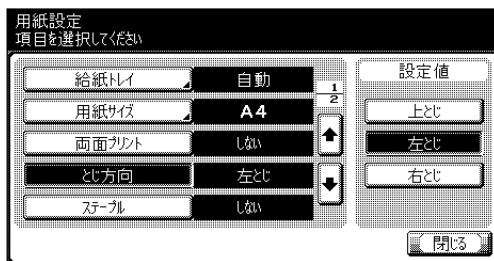
### メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1) をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [2 用紙設定] を押します。
- 3 [とじ方向] を押します。



- 4 希望するキーを押します。



## ステープルの設定

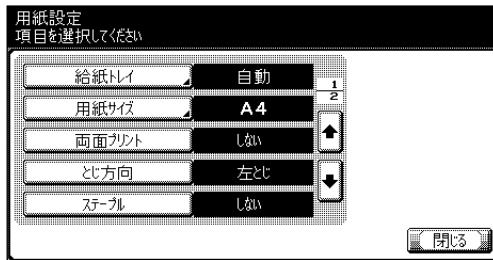
ステープルの設定ができます。(初期値 : しない)



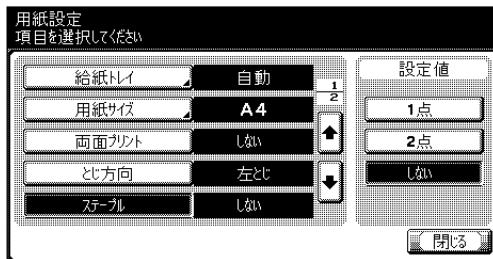
### メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1)をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [2 用紙設定] を押します。
- 3 [ステープル] を押します。



- 4 希望するキーを押します。



### ご注意)

ステープル機能は、オプションのフィニッシャーFS-501 または FS-603 が装着されている場合のみ使用可能となります。



メモ)

装着しているフィニッシャーにより、選択できるステープルの数が異なります。FS-501 装着時は、ステープル「1ヶ所」を指定してください。FS-603 装着時は、ステープル「1ヶ所」または「2ヶ所」から指定してください。

### パンチの設定

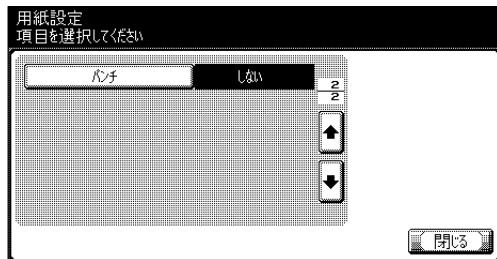
パンチの設定ができます。(初期値 : しない)



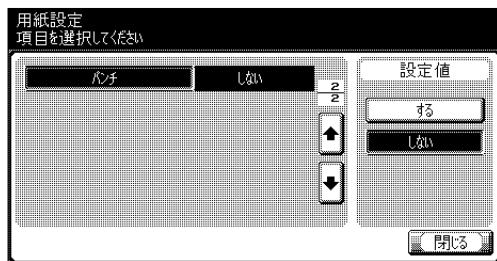
メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1)をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [2 用紙設定] を押します。
- 3 [↑] または [↓] を押し、[パンチ] を押します。



- 4 希望するキーを押します。



**ご注意)**

パンチ機能は、オプションのフィニッシャーFS-603とパンチキットPK-501が装着されている場合のみ使用可能となります。

### タイプフェイスの設定

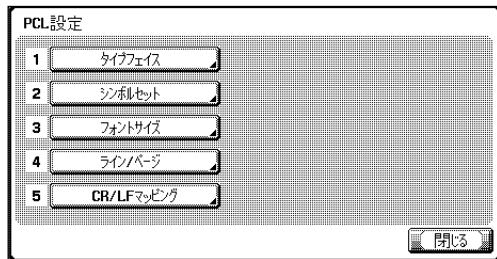
プリンタドライバから指定がない場合に使用するフォントを設定できます。(初期値: Courier)



**メモ)**

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1)をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [3 PCL 設定] を押します。
- 3 [1 タイプフェイス] を押します。



- 4 希望するキーを押します。



**メモ)**

[▲] または [▼] を押して、希望するキーを押します。

選択したフォントのフォント番号とフォントサイズ単位を確認できます。

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。

- 5 [OK] を押します。

### シンボルセットの設定

プリンタドライバから指定がない場合に使用するフォントシンボルセットを設定できます。(初期値 : PC-8、Code Page 437)



**メモ)**

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1)をごらんください。

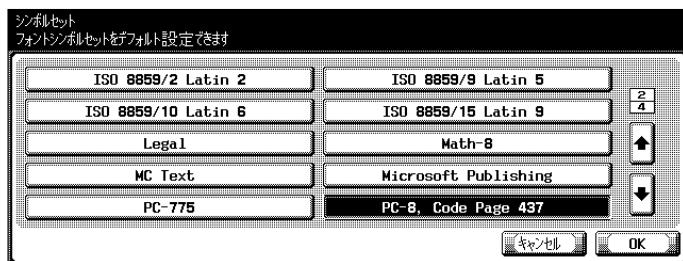
- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。

- 2 [3 PCL 設定] を押します。

3 [2 シンボルセット] を押します。



4 希望するキーを押します。



**メモ)**

[↑] または [↓] を押して、希望するキーを選択します。

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。

5 [OK] を押します。

### フォントサイズ

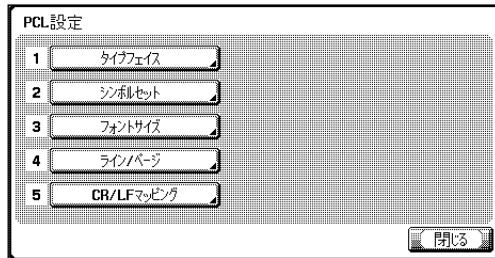
プリンタドライバから指定がない場合に使用するフォントサイズを設定します。(初期値：プロポーショナルフォント - 12.00 ポイント／固定幅フォント - 10.00 ピッチ)

- プロポーショナルフォント：フォントサイズ（単位：ポイント）を設定します。
- 固定幅フォント：固定幅フォントの幅をピッチで設定します。

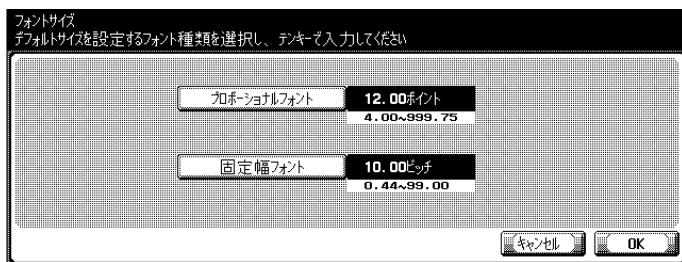
**メモ)**

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1)をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [3 PCL 設定] を押します。
- 3 [3 フォントサイズ] を押します。



- 4 【クリア】を押し数値をクリアしてから、テンキーでサイズを入力します。(プロポーショナルフォント : 4.00 ポイント～999.75 ポイント、固定幅フォント : 0.44 ピッチ～99.00 ピッチ)

**メモ)**

設定範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。

5 [OK] を押します。

フォントサイズが設定されます。

### ライン/ページの設定

テキスト印字時の 1 ページのライン数を設定できます。(初期値 : 64 ライン)



メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1)をごらんください。

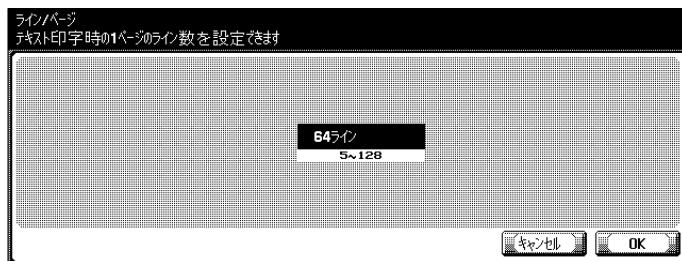
1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。

2 [3 PCL 設定] を押します。

3 [4 ライン / ページ] を押します。



4 【クリア】を押し数値をクリアしてから、テンキーでライン数を入力します。(5 ライン～ 128 ライン)



...  
メモ)

設定範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。

5 [OK] を押します。

プリント部数が設定されます。

### CR/LF マッピング

テキストデータをプリントする場合の置換え方法を設定できます。(初期値: しない)

- [モード 1] : CR を CR-LF に置換えます。
- [モード 2] : LF を CR-LF に置換えます。
- [モード 3] : CR-LF に置換えます。
- [しない] : 置換えは行いません。

...  
メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1) をご覧ください。

1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。

2 [3 PCL 設定] を押します。

3 [5 CR/LF マッピング] を押します。



- 4 希望するキーを押します。



**メモ)**

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。

- 5 [OK] を押します。

## PS エラー時の設定

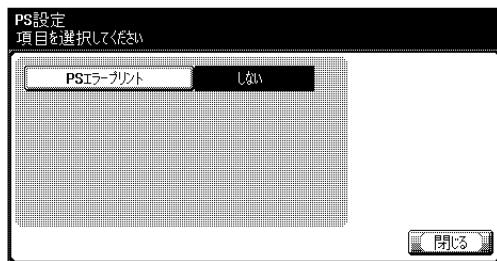
PS のラスタライズ中にエラーが発生した場合、エラー情報を印字するかしないかの設定ができます。(初期値 : しない)



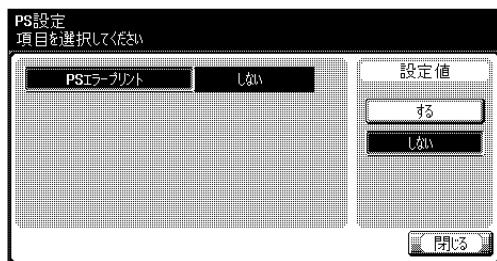
### メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1) をごらんください。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [4 PS 設定] を押します。
- 3 [PS エラープリント] を押します。



- 4 希望するキーを押します。



## レポート出力

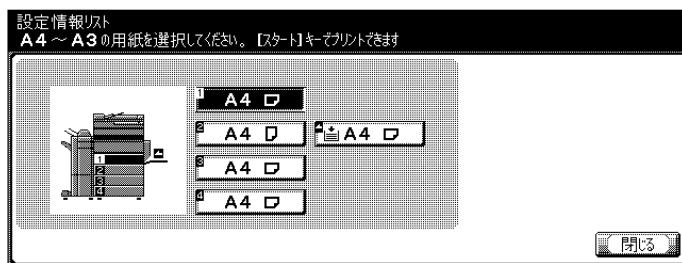
レポートの出力を行います。以下の4種類のレポートを出力することができます。ここではレポートの出力方法をPCLフォントリストで説明をします。

- 設定情報リスト：本機の設定内容の一覧が出力されます。
- デモページ：テストページが出力されます。
- PCLフォントリスト：PCLフォントリストを出力します。
- PSフォントリスト：PSフォントリストを出力します。

- 1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。
- 2 [5 レポート出力] を押します。
- 3 希望するキーを押します。



- 4 希望するトレイのキーを押します。



- 5 【スタート】を押し、レポートを出力します。

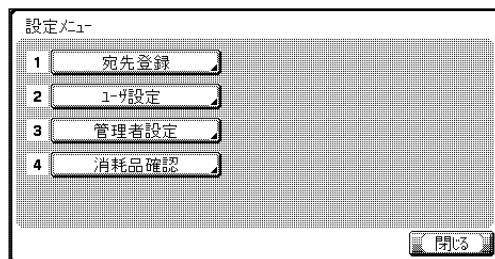
## 10.2 管理者モードのプリンタ設定

管理者設定画面を表示させるには

- 【設定メニュー / カウンタ】を押します。



- 【3 管理者設定】を押します。



- パスワードを入力し、[OK] を押します。

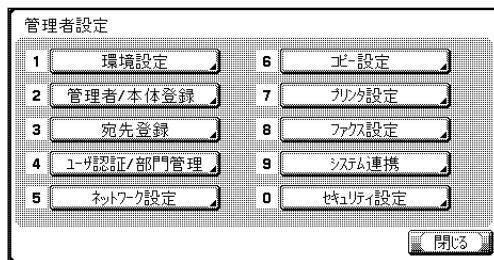


...  
**メモ)**

ユーティリティでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。[3 管理者設定] の場合は、テンキーの【3】を入力します。

パスワードの設定や変更については、「コピー機能編」をごらんください。

管理者設定画面が表示されます。

...  
**メモ)**

ユーティリティの設定を終了するときは、サブエリアの【終了】または【設定メニュー/カウンタ】を押します。コピー、ファクス、スキャナ、ボックスのいずれかの画面になるまで【閉じる】を押しても終了できます。

## 受信プリント出力設定

データを受信したとき、受信完了後、一括でプリントするか、受信と同時にプリントするかのプリントのタイミングを設定できます。

プリンタの場合とファクスの場合と分けて設定できます。(初期値: プリンタ／同時プリント、ファクス／一括プリント)



### メモ)

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させるには」(p. 10-25) をごらんください。

- 1 管理者設定画面で、[1 環境設定] を押します。
- 2 環境設定画面で、[2 出力設定] を押します。
- 3 出力設定画面で、[1 受信プリント出力設定] を押します。  
受信プリント出力設定画面が表示されます。



### メモ)

ユーザ開放レベルがレベル2の場合、ユーティリティ設定でも設定できます。[ユーティリティ設定] - [環境設定] - [出力設定] - [受信プリント出力設定] を押して受信プリント出力設定画面を表示させます。

ユーザ開放レベルについては、「コピー機能編」をごらんください。

- 4 [プリンタ] または [ファクス] を押します。  
設定値選択キーが表示されます。



- 5 希望する設定値選択キーを押します。  
プリントのタイミングが設定されます。



**メモ)**

一括プリントを選択した場合は、全てのデータを受け取ってから一括してプリントが開始されます。同時プリントを選択した場合は、1ページ目のデータを受け取ったときにジョブとして登録されプリントが開始されます。

## ローカル I/F タイムアウトの設定

通信タイムアウトまでの時間を、パラレル、USB、ネットワークそれぞれに設定できます。(初期値 : 60 秒)



### メモ)

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させるには」(p. 10-25) をごらんください。

- 1 管理者設定画面で、[7 プリンタ設定] を押します。
- 2 プリンタ設定画面で、[1 ローカル I/F タイムアウト] を押します。  
ローカル I/F タイムアウト画面が表示されます。



- 3 設定する項目の [入力] を押します。



### メモ)

設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。

- 4 【クリア】を押し数値をクリアしてから、テンキーで時間を入力します。(10 秒～ 300 秒)
  - 5 [OK] を押します。
- 通信タイムアウトまでの時間が設定されます。

## パラレルインターフェースの設定

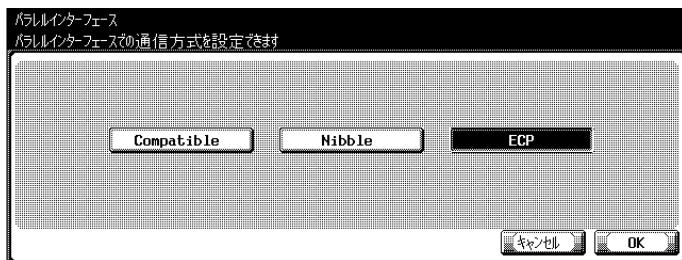
パラレルインターフェースを使用する場合のモードを設定できます。  
(初期値 : ECP)



### メモ)

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させるには」(p. 10-25) をごらんください。

- 1 管理者設定画面で、[7 プリンタ設定] を押します。
- 2 プリンタ設定画面で、[2 パラレルインターフェース] を押します。  
パラレルインターフェース画面が表示されます。



- 3 希望するキーを押します。



### メモ)

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。

- 4 [OK] を押します。  
パラレルインターフェースのモードが設定されます。

## パラレル /USB の設定

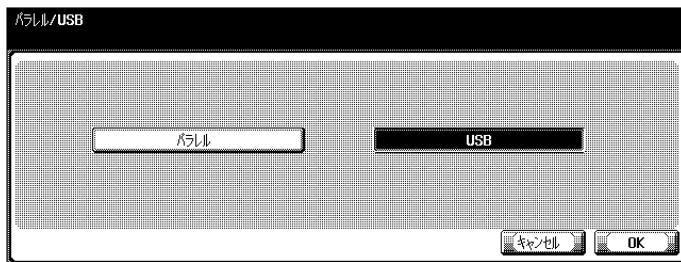
パラレルまたは、USB ポートのどちらかのポートを使用するかを設定できます。（初期値：USB）



メモ)

パラレルと USB ポートの同時使用はできません。

- 1 管理者設定画面で、「7 プリンタ設定」を押します。
- 2 プリンタ設定画面で、「3 パラレル /USB」を押します。  
パラレル /USB 画面が表示されます。
- 3 使用するポートを押します。



## プリントデータキャプチャ

プリントジョブのデータキャプチャを許可するか禁止するかを設定できます。(初期値: 許可)



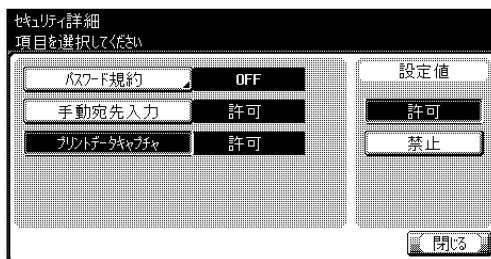
### メモ)

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させるには」(p. 10-25)をごらんください。

プリントジョブのデータキャプチャについて詳しくはサービス技術者にお問合わせください。

- 1 管理者設定画面で、[セキュリティ設定] を押します。
- 2 セキュリティ設定画面で、[4 セキュリティ詳細] を押します。
- 3 セキュリティ詳細設定画面で、[プリントデータキャプチャ] を押します。

設定値選択キーが表示されます。



- 4 希望する設定値選択キーを押します。

プリントジョブのデータキャプチャを許可するか禁止するかが設定されます。



### メモ)

詳しくはサービス技術者にお問合わせください。

## 10.3 PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection は、プリンタコントローラに内蔵されている HTTP サーバが提供する、デバイス管理用ユーティリティです。

ネットワーク上のパソコンで Web ブラウザを起動し、PageScope Web Connection へアクセスして、本機の設定を変更できます。

### 動作環境

ネットワーク	Ethernet (TCP/IP)
パソコン側のアプリケーション	対応 Web ブラウザ： Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨 (JavaScript 有効・Cookie 有効) Internet Explorer Ver.5.X の使用の場合、Microsoft XML parser MSXML3.X のインストールが必須 Netscape Navigator Ver.7.02 以降 (JavaScript 有効・Cookie 有効) J2RE (Java 2 Runtime Environment) 必須

### アクセス方法

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザを使用して直接アクセスできます。

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力して [Enter] キーを押します。
  - http:// <本機の IP アドレス> /  
 (例) 本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合  
 http://192.168.1.20/



#### メモ)

SSL/TLS を有効に設定した後の URL は、  
 https:// <本機の IP アドレス> /  
 になります。

ユーザ認証機能が有効の場合は、ユーザ名とパスワードを入力する必要があります。

本機の IP アドレスの設定方法については、「本機の IP アドレスの設定」(p. 3-5) をごらんください。

## 画面の構成

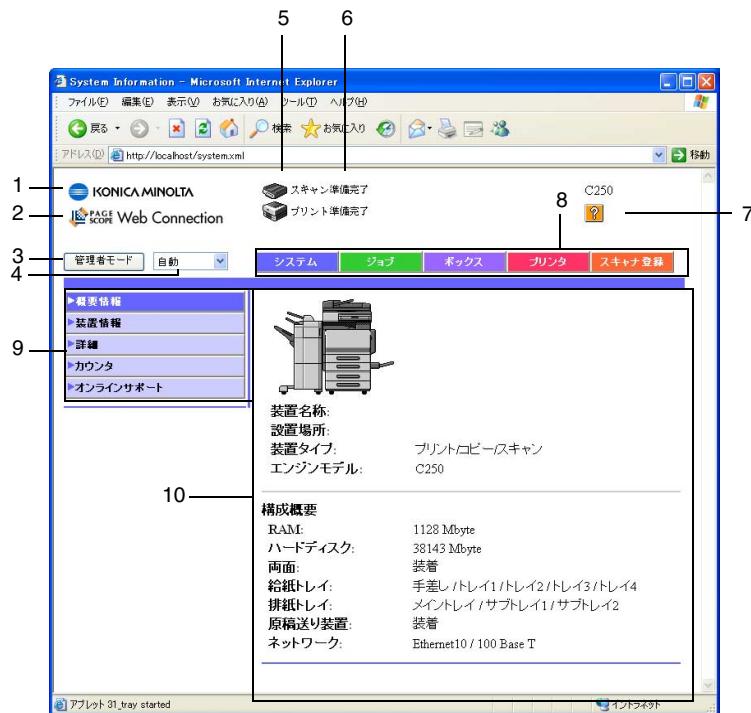
PageScope Web Connection へのアクセス直後に表示される画面は「ユーザー モード」と呼ばれる画面で、誰でも閲覧できます。



### メモ)

「管理者 モード」をクリックすると、「管理者 モード」と呼ばれる画面に入ることができます。詳しくは、「管理者 モードへのログイン方法」(p. 10-36)をごらんください。

PageScope Web Connection の画面は、以下のように構成されています。



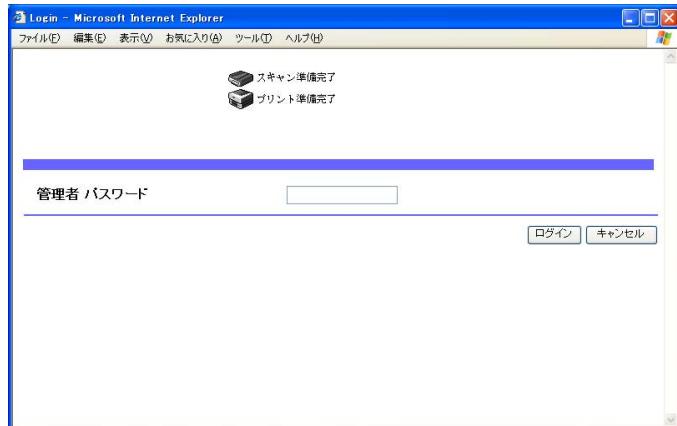
No.		
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト (KONICA MINOLTA のサイト) ヘジャンプします。 <a href="http://konicaminolta.com">http://konicaminolta.com</a>
2	PageScope Web Connection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、バージョンが表示されます。

No.		
3	管理者モードへのログイン	管理者モードにログインできます。
4	表示言語	ドロップダウンリストで、表示言語を選択します。
5	ステータス表示	本機プリンタ部分と本機スキャナ部分の状態が、アイコンで表示されます。
6	メッセージ表示	本機にエラーが発生している場合に、トラブル／エラーの状態とエラーの内容が表示されます。
7	ヘルプ	オンラインマニュアルホームページに設定してあるページが表示されます。設定方法は、「システムタブ－オンラインサポート」(p. 10-57) をご覧ください。
8	タブ	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザー モードでは、以下のタブが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• システム</li> <li>• ジョブ</li> <li>• ポックス</li> <li>• プリンタ</li> <li>• スキャナ登録</li> </ul>
9	メニュー	選択されたタブにおける情報および設定が表示されます。タブの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
10	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

## 管理者モードへのログイン方法

ユーザー モードと管理者モードの切換えを行います。システム設定やネットワーク設定などを行うには、管理者モードに入る必要があります。

- 1 [管理者モード] をクリックします。
- 2 ボックスに本機の管理者パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。



管理者モードの画面に切換わります。



ユーザー モードにもどる場合は、[ログアウト] をクリックしてください。



...  
**ご注意)**

管理者 モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。

本機の状態によっては、管理者 モードにログインできない場合があります。

管理者 モードにログインした状態で、操作が一定時間行われないと、自動的にタイムアウトとなり、管理者 モードでの操作ができなくなります。タイムアウトの時間は、「ネットワークタブ - 認証」(p. 10-76) で設定できます。

## Web ブラウザのキャッシュ機能について

Web ブラウザにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。

PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザでキャッシュ機能を無効にしてください。



### ご注意)

Web ブラウザのバージョンによっては、メニュー名や項目名が異なる場合があります。詳しくは、Web ブラウザのヘルプをごらんください。

キャッシュ機能を有効にしたまま使用すると、管理者モードでタイムアウトになったあと、再度アクセスしてもタイムアウト表示になることがあります。この場合でも、本機の操作パネルがロックされ操作できなくなるため、主電源の再投入が必要になります。このような問題を避けるために、キャッシュ機能を無効にしてください。

### Internet Explorer の場合

- 1 「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択します。
- 2 「全般」タブで「インターネット時ファイル」の「[設定]」をクリックします。
- 3 「ページを表示するごとに確認する」を選択し、「OK」をクリックします。

### Netscape の場合

- 1 「編集」メニューから「設定」を選択します。
- 2 左側の「カテゴリ」で「詳細」 - 「キャッシュ」を選択します。
- 3 「キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較 :」で「ページにアクセスするたび」を選択します。

## ユーザー モード

ユーザー レベルで確認、操作できる機能です。5つのタブ（システム、ジョブ、ボックス、プリンタ、スキャナ登録）が選択できます。



### メモ)

本書では、プリンタに関する機能について説明しています。ボックスおよびスキャナに関する機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」や「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

## システムタブ

システムタブでは、本機のシステム構成に関する情報や設定が表示されます。

## システムタブ - 概要情報

「システム」タブの「概要情報」メニューを選択します。また、Web ブラウザで `http://<本機の IP アドレス>/` にアクセスしたときに、最初に表示されます。

本機のシステム構成と状態が表示されます。

構成概要	
RAM:	1128 Mbyte
ハードディスク:	38143 Mbyte
両面:	装着
給紙トレイ:	手差し / レイ1 / レイ2 / レイ3 / レイ4
排紙トレイ:	メイントレイ / サブトレイ1 / サブトレイ2
原稿送り装置:	装着
ネットワーク:	Ethernet10 / 100 Base T

### 装置情報

本機に取り付けられているオプションの構成が、図とテキストで表示されます。

## システムタブ - 装置情報

「システム」タブをクリックし、「装置情報」メニューを選択します。

本機のシステム設定が表示されます。



パネル言語	パネルの表示言語が表示されます。
管理者名	管理者モードのシステムタブ-装置情報画面で設定した管理者名が表示されます。

## システムタブ - 詳細 - 給紙トレイ

「システム」タブをクリックし、「詳細」 - 「給紙トレイ」メニューを選択します。

本機の給紙トレイの状況を確認できます。



トレイ	各情報が表示されます。
用紙サイズ	
用紙種別	
用紙残量	

## システムタブ - 詳細 - 排紙トレイ

「システム」タブをクリックし、「詳細」 - 「排紙トレイ」メニューを選択します。

本機の排紙トレイの状況を確認できます。



排紙トレイ	装着している各トレイ名と状態が表示されます。
オプション	オプションを装着しているかどうかが表示されます。

## システムタブ - 詳細 - ハードディスク

「システム」タブをクリックし、「詳細」 - 「ハードディスク」メニューを選択します。

本機のハードディスクの状況を確認できます。



名称	ハードディスクの名称が表示されます。
トータルサイズ	装着しているハードディスクの合計容量が表示されます。
使用サイズ	システムで使用している容量が表示されます。
残りサイズ	未使用の容量が表示されます。

## システムタブ - 詳細 - インタフェース情報

「システム」タブをクリックし、「詳細」 - 「インターフェース情報」メニューを選択します。

本機のインターフェース情報を確認できます。



プロトコル情報	各プロトコルの使用可能状況が表示されます。
ネットワーク情報	ネットワークの情報が表示されます。

## システムタブ - 詳細 - 消耗品情報

「システム」タブをクリックし、「詳細」 - 「消耗品情報」メニューを選択します。

本機の消耗品情報を確認できます。



トナー (イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック)
イメージングユニット (イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック)
廃棄トナー容器
パンチ屑ボックス
ステープル
定着ユニット
転写ユニット

各情報が表示されます。



### メモ)

消耗品が装着されていない状態では、ステータスが正しく表示されない場合があります。

## システムタブ - カウンタ

「システム」タブをクリックし、「カウンタ」メニューを選択します。

本機で管理されているカウンタを確認できます。



トータルカウンタ	出力カウンタ（コピー、プリント、スキャン、ファクス）の総計が表示されます。
コピーカウンタ	それぞれのカウンタが表示されます。
プリントカウンタ	
スキャンカウンタ (オプションのFAXキット装着時は、スキャン/ファクスカウンタと表示されます)	
カラートータルカウンタ	カラーモードのカウンタが表示されます。

## システムタブ - オンラインサポート

「システム」タブをクリックし、「オンラインサポート」メニューを選択します。

製品に関するサポート情報を確認できます。



問い合わせ先	管理者モードのシステムタブ - オンラインサポート画面で設定した各情報が表示されます。
問い合わせ先情報	
製品情報ホームページ	
製造元ホームページ	
消耗品連絡先	
オンラインマニュアルホームページ	

## ジョブタブ

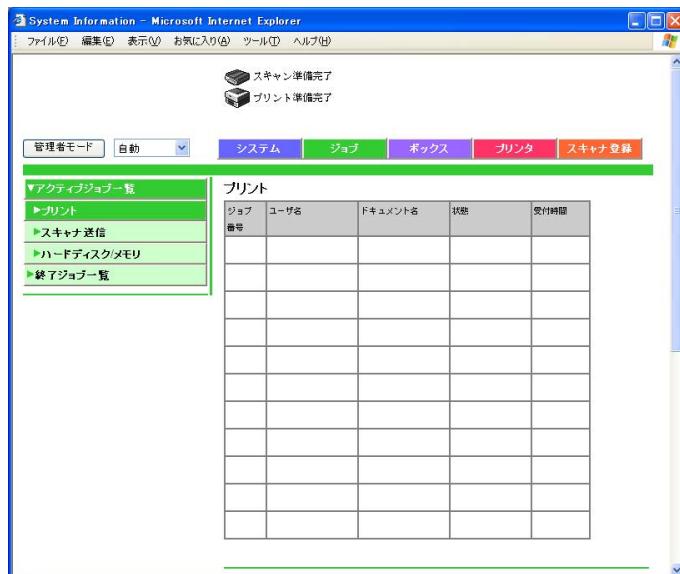
ジョブタブでは、本機で管理しているジョブを確認できます。

### ジョブタブ - アクティブジョブ一覧

「ジョブ」タブをクリックし、「アクティブジョブ一覧」メニューを選択し、さらに各機能（プリントやスキャナ送信）を選択します。

実行中、実行待ちのジョブを確認できます。

#### プリント画面の例



プリント	プリントジョブの一覧と詳細が表示されます。
スキャナ送信	スキャンジョブの一覧と詳細が表示されます。
ファクス送信	ファクス送信ジョブの一覧と詳細が表示されます。
ファクス受信	ファクス受信ジョブの一覧と詳細が表示されます。
ハードディスク / メモリ	ボックス保存ジョブの一覧と詳細が表示されます。

- ジョブ番号は、ジョブが本機に登録されたときに割振られるジョブ番号が表示されます。

## ジョブタブ - 終了ジョブ一覧

「ジョブ」タブをクリックし、「終了ジョブ一覧」メニューを選択し、さらに各機能（プリントやスキャナ送信）を選択します。

実行済みのジョブを確認できます。

プリント画面の例



プリント	プリントジョブの一覧と詳細が表示されます。
スキャナ送信	スキャナジョブの一覧と詳細が表示されます。
ファックス送信	ファックス送信ジョブの一覧と詳細が表示されます。
ファックス受信	ファックス受信ジョブの一覧と詳細が表示されます。
ハードディスク/メモリ	ボックス保存ジョブの一覧と詳細が表示されます。

- ジョブ番号は、ジョブが本機に登録されたときに割振られるジョブ番号が表示されます。
- [詳細] をクリックすると、詳細情報が表示されます。

## プリンタタブ

プリンタに関する初期設定の確認や各種レポート印刷を行うことができます。

### プリンタタブ - 初期設定

「プリンタ」タブをクリックし、「初期設定」メニューを選択し、さらに各設定分類（一般やPCL）を選択します。

各種設定が行われていないプリントジョブが送られた場合は、この設定でプリントされます。

一般設定画面の例



一般設定	各情報が表示されます。
PCL 設定	
PS 設定	

## プリンタタブ - レポートタイプ

「プリンタ」タブをクリックし、「レポートタイプ」メニューを選択します。

各種設定情報、デモページ、PCL フォント情報をプリントできます。  
プリントしたいレポートを選択し、[プリンタ] をクリックします。



### ご注意)

本機がジョブ処理を行っているときなど、レポートを出力できない場合があります。

PS フォントリスト	PostScript で利用できるフォントリストがプリントされます。
PCL フォントリスト	PCL で利用できるフォントリストがプリントされます。
デモページ	デモページがプリントされます。
コンフィグレーションページ	本機の各種設定情報ページがプリントされます。

## 管理者モード

管理者モードでは、本機のシステム設定を行うことができます。5つのタブ（システム、ボックス、プリンタ、スキャナ登録、ネットワーク）が選択できます。

管理者モードへのログイン方法については、「管理者モードへのログイン方法」(p. 10-36) をごらんください。



...

### メモ)

本書では、プリンタに関連する機能について説明しています。ボックスおよびスキャナ、ネットワークに関する機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」や「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

## 基本操作

- 1 それぞれのタブをクリックし、左側のメニュー一覧から機能を選択できます。
- 2 表示される項目を設定します。直接入力またはドロップダウンリストから選択します。
- 3 [適用] をクリックして設定を有効にします。

## システムタブ

システムタブでは、本機のシステム構成に関する情報や設定が表示されます。

### システムタブ - 日時設定 - 手動設定

本機の日時を入力して設定します。



年	年を入力します。
月	月を入力します。
日	日を入力します。
時	時を入力します。
分	分を入力します。
タイムゾーン	世界標準時からの時差を設定します。
サマータイム	夏時間の設定をします。

## システムタブー 日時設定 – NTP 設定

本機の日時を NTP サーバから受動取得する設定にします。



NTP	NTP による時刻自動取得の有効／無効を指定します。
NTP サーバアドレス	NTP サーバアドレスを入力します（半角 255 文字以内、書式：「***.*.*.*」または FQDN）。記号は、“-”と “.” のみ使用可能。
NTP サーバポート番号	NTP サーバポートを入力します（入力範囲：1-65535）。

[調整] をクリックすると、設定した条件で NTP サーバに接続し、時刻を調整します。

## システムタブー 管理者パスワード

管理者パスワードを変更します。



現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
新しいパスワードの再入力	新しいパスワードを再入力します。

## システムタブ - 装置情報

装置情報を変更します。



装置名称	デバイス名を設定します（半角 255 文字以内）。
設置場所	デバイスの設置場所を設定します（半角 255 文字以内）。
管理者名	管理者名を設定します（半角 255 文字以内）。

## システムタブ - オンラインサポート

オンラインサポート情報を変更します。この内容は、ユーザー モードの「システム」タブ - 「オンラインサポート」で表示されます。



問い合わせ先	各情報を設定できます。
問い合わせ先情報	
製品情報ホームページ	
製造元ホームページ	
消耗品連絡先	
オンラインマニュアルホームページ	オンラインマニュアルホームページには、以下の URL を設定してください。 <a href="http://pagescope.com/download/webconnection/onlinehelp/c250/help.html">http://pagescope.com/download/webconnection/onlinehelp/c250/help.html</a>

## システムタブ - インポート / エクスポート

本機の設定情報をファイルとして保存（エクスポート）またはファイルから本機に書込み（インポート）できます。



インポート	インポートするファイル名を指定して [インポート] をクリックする。
エクスポート	[エクスポート] をクリックして、ファイルをダウンロードする。



### ご注意)

エクスポートしたファイルは、データ編集はできません。

## システムタブ - メンテナンス - ネットワーク設定クリア

本機のネットワーク設定を工場出荷時の状態にもどします。

[クリア] をクリックすると、実行します。



### ご注意)

設定済みの状態でクリアしてしまうと、再度、設定するまでは接続できません。

## システムタブ - メンテナンス - リセット

コントローラーをリセットします。

[リセット] をクリックすると、実行します。



## システムタブ - 警告メール

本機にエラーが発生したときに、登録者にメールを送ります。



通知先アドレス	通知先 Email アドレスを入力します（半角 320 文字以内）。
通知時間	メールを発信するまでの時間を設定します。
トレイ紙補給	用紙がないことを通知します。
ジャム発生	紙づまりを通知します。
PM コール	定期点検を通知します。
ステーブル針補給	ステーブルの針がないことを通知します。
トナー補給	トナーがないことを通知します。
フィニッシャ積載オーバー	フィニッシャー積載オーバーを通知します。
サービスコール	サービスコールのときに通知します。
ジョブ終了	ジョブ終了（正常終了）を通知します。
パンチ肩除去	パンチくずを取り除く必要のあることを通知します。

## プリンタタブ

プリンタタブでは、接続するインターフェースやプリントの初期設定に関する情報や設定が表示されます。

### プリンタタブ - インタフェース

インターフェースのタイムアウト設定を変更できます。



パラレルポートタイムアウト	パラレルポートの受信タイムアウトを入力します（入力範囲：10-1000）。
ネットワークタイムアウト	ネットワークの受信タイムアウトを入力します（入力範囲：10-1000）。
USB タイムアウト	USB タイムアウトを入力します（入力範囲：10-1000）。
パラレルポート設定	パラレルポートの通信方法を選択します。

## プリンタタブー 初期設定 – 一般設定

プリンタの初期設定値を設定できます。



PDL 設定	プリンタ記述言語を選択します。
給紙トレイ	給紙トレイを選択します。
排紙トレイ	排紙トレイを選択します。
両面プリント	両面印刷のする／しないを選択します。
とじ方向	とじ代位置を選択します。
ステープル	ステープル機能を選択します。
パンチ	パンチ機能を選択します。
プリント部数	印刷部数を選択します。
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
画像の向き	用紙の向きを選択します。
スプール設定	スプール機能を選択します。
優先トレイ選択	指定された給紙トレイに用紙がない場合の対処を選択します。
用紙サイズ変換	A4 (Letter) /A3 (Ledger) 原稿のプリントで、Letter (A4) /Ledger (A3) の給紙口が選択された場合、プリントするかどうかの対処を選択します。

**ご注意)**

両面印刷機能は、オプションの自動両面ユニット AD-503 が装着されている場合のみ使用可能となります。

ステープル機能は、オプションのフィニッシャー FS-501 または FS-603 が装着されている場合のみ使用可能となります。

パンチ機能は、オプションのフィニッシャー FS-603 とパンチキット PK-501 が装着されている場合のみ使用可能となります。

**メモ)**

装着しているフィニッシャーにより、選択できるステープルの数が異なります。FS-501 装着時は、ステープル「1ヶ所」を指定してください。FS-603 装着時は、ステープル「1ヶ所」または「2ヶ所」から指定してください。

## プリンタタブー 初期設定 – PCL 設定

PCL モードの初期設定値を設定できます。



フォント名	フォントを選択します。
シンボルセット	シンボルセットを選択します。
ライン / ページ	1 ページあたりの行数を入力します（入力範囲 : 5-128）。
フォントピッチ / フォントポイントサイズ	選択したフォントによって、フォントピッチ（入力範囲 : 0.44-99.00）またはフォントポイントサイズ（入力範囲 : 4.00-999.75）を設定します。
CR/LF マッピング	CR/LF の動作を選択します。

## プリンタタブ - 初期設定 - PS 設定

PS モードの初期設定値を設定できます。



### PS エラーブリント

エラーブリントの有効／無効を指定します。

## スキャナ登録タブ

スキャナ登録タブでは、送信時の設定や、アドレス帳の制限に関する情報や設定が表示されます。



### メモ)

ユーザーによるアドレス帳登録が無効になっている場合は、アドレス帳登録のメニューが表示されます。

スキャナ登録の詳しい内容については、「ユーザーズガイドネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

## ネットワークタブ

ネットワークタブでは、ネットワーク接続に関する情報や設定が表示されます。

### ネットワークタブ – TCP/IP 設定 – TCP/IP 設定

TCP/IP の設定をします。



TCP/IP	TCP/IP の有効／無効を指定します。
ネットワーク速度	動作速度を選択します。
自動 IP	DHCP サーバを使用する場合にチェックします。
IP アドレス	本機の IP アドレスを設定します（書式：「***.***.***.***」、*** の入力範囲：0-255）。
サブネットマスク	接続するネットワークのサブネットマスクを設定します（書式：「***.***.***.***」、*** の入力範囲：0-255）。

デフォルトゲートウェイ	接続するネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを設定します（書式：「***.***.***.***」、*** の入力範囲：0-255）。
RAW ポート番号 1	RAW ポート番号を設定します（入力範囲：1-65535）。
RAW ポート番号 2	
RAW ポート番号 3	
RAW ポート番号 4	
RAW ポート番号 5	
RAW ポート番号 6	
ホスト名	ホスト名を入力します（半角 63 文字以内）。
ドメイン名	ドメイン名を入力します（半角 255 文字以内）。
DNS サーバ	DNS サーバのアドレスを最大 3 つまで登録できます（書式：「***.***.***.***」、*** の入力範囲：0-255）。
SLP	SLP の有効／無効を指定します。
LPD	LPD の有効／無効を指定します。



...

### ご注意)

ネットワークタブ全ての項目の設定変更を有効にするには、本体の主電源の再投入（オフ／オン）を行う必要があります。

主電源スイッチをオフ／オンする場合は、主電源をオフにして、10秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

## ネットワークタブ - TCP/IP 設定 - IP フィルタリング設定

IP アドレスフィルタ機能を設定します。

ホストの IP アドレスを指定することで、アクセスの制限を設定できます。



許可設定	許可アドレス設定の有効／無効を指定します。
設定範囲 1 ~ 5	許可するアドレスを入力します（書式：「***.***.***.***-***.***.***.***」、*** の入力範囲：0-255）。
拒否設定	拒否アドレス設定の有効／無効を指定します。
設定範囲 1 ~ 5	拒否するアドレスを入力します（書式：「***.***.***.***-***.***.***.***」、*** の入力範囲：0-255）。

## ネットワークタブ - NetWare 設定 - NetWare 設定

NetWare の設定をします。



NetWare 印刷	NetWare の有効／無効を指定します。
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。
モード	プリントサーバの動作モードを「Pserver」「Nprinter/Rprinter」のどちらにするか選択します。
プリントサーバ名	プリントサーバ名を入力します（/¥:;,*[ ]<> +=?. を除く半角 63 文字以内）。
プリントサーバパスワード	プリントサーバパスワードを入力します（半角 63 文字以内）。
プリントキュースキャン間隔	プリントキューのスキャン間隔を入力します（入力範囲：1-65535 秒）
Bindery/NDS	Bindery/NDS を選択します。
優先ファイルサーバ	Bindery の優先ファイルサーバ名を入力します（/¥:;,*[ ]<> +=?. を除く半角 47 文字以内）。
優先 NDS コンテキスト名	優先 NDS コンテキスト名を入力します（/¥:;,*[ ]<> +=?. を除く半角 191 文字以内）。
優先 NDS ツリー名	優先 NDS ツリー名を入力します（/¥:;,*[ ]<> +=?. を除く半角 63 文字以内）。

プリンタ名	Nprinter/Rprinter のプリンタ名を入力します (/¥:;,*[<> =?.を除く半角 63 文字以内)。
プリンタ番号	Nprinter/Rprinter のプリンタ番号を入力します (入力範囲: 0-255)。

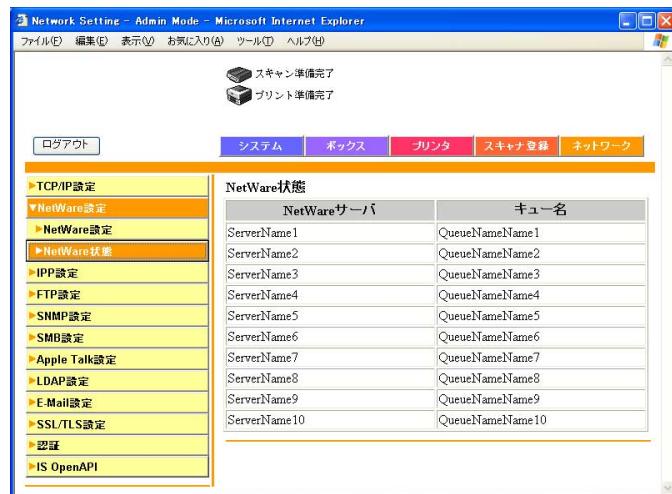
**ご注意)**

「NetWare 印刷」「フレームタイプ」「プリントキュースキャン間隔」「モード」「プリンタ番号」の項目の設定変更を有効にするには、本体の主電源の再投入（オフ／オン）を行う必要があります。

主電源スイッチをオフ／オンする場合は、主電源をオフにして、10秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

## ネットワークタブ - NetWare 設定 - NetWare 状態

NetWare 接続の状態（ステータス）として、「NetWare ファイルサーバ」と「プリントキューネーム」を表示します。



## ネットワークタブ - IPP 設定

IPP 印刷の設定をします。



IPP 印刷	IPP 印刷の有効／無効を指定します。
プリンタ名	プリンタ名を入力します（-_ および半角英数字 127 文字以内）。
プリンタ設置場所	プリンタ設置場所（Printer Location）を入力します（半角 127 文字以内）。
プリンタ情報	プリンタ情報を入力します（半角 127 文字以内）。
Printer URI	IPP を利用してプリントできるプリンタの URL が表示されます。
オペレーションサポート情報	IPP でサポートするプリント操作を項目から指定します。 設定値：Print Job、Validate Job、Cancel Job、Get Job Attribute、Get Jobs、Get Printer Attribute

## ネットワークタブ - SNMP 設定

SNMP の設定をします。



SNMP

SNMP の有効／無効を指定します。

## ネットワークタブ – SMB 設定 – プリント設定

SMB 印刷の設定をします。



SMB プリント	SMB 印刷（Windows 印刷）サービスの有効／無効を設定します。
NetBIOS 名	NetBIOS 名を入力します（半角 15 文字以内。記号は - のみ使用可能。）。
プリントサービス名	プリントサービス名を入力します（/￥を除く半角 13 文字以内）。
ワークグループ	ワークグループ名を入力します（“￥；：＊＜＞ +＝？を除く半角 15 文字以内）。



### ご注意)

「NetBIOS 名」「プリントサービス名」「ワークグループ」の項目の設定変更を有効にするには、本体の主電源の再投入（オフ／オン）を行う必要があります。

主電源スイッチをオフ／オンする場合は、主電源をオフにして、10秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

## ネットワークタブ – AppleTalk 設定

AppleTalk の設定をします。



AppleTalk	AppleTalk の有効／無効を設定します。
プリンタ名	プリンタ名を入力します (= ~ を除く英数字記号 31 文字以内)。
ゾーン名	ゾーン名を入力します (半角 31 文字以内)。
現在のゾーン	現在のゾーン名が表示されます。

## ネットワークタブ – SSL/TLS 設定

SSL/TLS の証明書の設定があります。



### メモ)

ネットワークタブ – SSL/TLS 設定の詳しい内容については、「ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

## ネットワークタブ – 認証

本 PageScope Web Connection の自動ログアウト時間の設定があります。



### メモ)

ネットワークタブ – 認証の詳しい内容については、「ネットワーク／スキャナ機能編」、「ボックス機能編」をごらんください。

## 10.4 プリントジョブ管理

### ジョブ動作の指定

プリンタドライバの設定により、本機におけるジョブの動作を指定できます。



...

#### ご注意)

本機能が設定できるプリンタドライバは、以下の3種類です。

Windows用PCLコニカミノルタ製プリンタドライバ

Windows2000/XP/Server2003用PostScriptコニカミノルタ製プリンタドライバ

MacintoshOSX用PostScriptPPDプリンタドライバ

#### 設定方法（Windowsの場合）

- 1 「印刷」ダイアログボックスで「プロパティ」をクリックして、プリンタドライバの設定ダイアログを表示します。
- 2 「セットアップ」タブ（PCLドライバ）または「セットアップ」タブ（PostScriptドライバ）をクリックします。
- 3 「出力方法」のドロップダウンリストで、出力方法を選択します。

通常印刷：	すぐにプリントされます。
機密プリント：	本体の操作パネルでIDとパスワードを入力してプリントします。（最大100文書）
ボックス保存：	プリント文書を本体のドキュメントフォルダに保存します。
ボックス保存&印刷：	ドキュメントフォルダに保存すると同時にプリントもします。
確認プリント：	文書が1部出力されたあと、本体が一時停止します。大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に選択します。

詳しくは、「出力方法を選択する」(p. 5-12)、(p. 6-8)をごらんください。



### 設定方法（Macintosh OS X の場合）

- 1 [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。
- 2 「セキュリティ」を選択します。
- 3 各項目を設定します。

**出力方法 :** 「機密プリント」「ボックス保存」などの条件を選択します。

**機密プリント設定 :** 「出力方法」で「機密プリント」を選んだ場合にIDとパスワードを入力します。IDとパスワードは、プリントするときに本機の操作パネルで入力します。(最大 100 文書)

**ボックス保存設定 :** 「出力方法」で「ボックス保存」または「ボックス保存&印刷」を選んだ場合にファイル名とボックス番号を入力します。



## ジョブの保存

プリンタドライバの「出力方法」の設定により、プリント文書は本機にジョブとして保存されます。

保存されたジョブをプリントする場合は、本機操作パネル側でジョブを呼出す必要があります。

## ジョブの呼び出し



### ワンポイントアドバイス)

操作パネルの各キーのはたらきについては、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

本機のボックス機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

- 1 本体操作パネル [ジョブ確認] を押します。

プリント画面が表示されます。

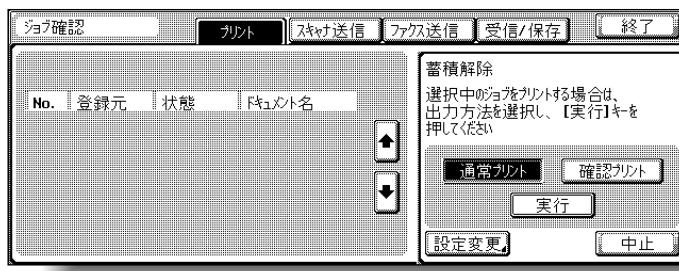


- 2 [蓄積ジョブ] を押します。



- 3 [蓄積解除] を押します。

蓄積解除画面が表示されます。



- 4 ジョブリストから確認プリントをするジョブを選び、[確認プリント] を選択し、「実行」を押します。

○ 1部プリントされますので、プリント結果を確認します。

- 5 ジョブリストから蓄積解除をするジョブを選びます。

○ 設定されている印刷条件を変更する場合は、手順 6 へ進みます。  
○ 設定されている印刷条件を変更しない場合は、手順 9 へ進みます。

- 6 [設定変更] を押します。

設定変更画面が表示されます。



...  
メモ)

蓄積解除をしたいジョブが表示されていないときは、[▲] または [▼] を押して表示させます。

複数のジョブをまとめて解除または設定変更したい場合は、続けてジョブを押します。

ジョブを間違えて選択したときは、選択したジョブをもう一度押すと選択は取り消されます。

- 7 設定変更画面で印刷条件を変更して、[OK] を押します。

蓄積解除画面にもどります。

- 8 設定変更が終了したら、[閉じる] を押します。

蓄積解除画面にもどります。

9 [実行] を押します。

蓄積ジョブは動作中ジョブに変わり、プリントされます。



メモ)

蓄積解除を中止する場合は、[中止] を押します。

### 部門管理機能を使用している本機でプリントする

本機側で「部門管理機能」を使用している場合、プリント時に部門管理コード（暗証番号）を入力する必要があります。



#### ご注意)

本機側の「部門管理機能」で有効ではない暗証番号を入力してプリントした、または「部門管理」にチェックしないでプリントした場合はエラーが起きます。本機操作パネルの操作で「プリント履歴」を確認してください。

本機能が設定できるプリンタドライバは、以下の3種類です。

*Windows用PCLコニカミノルタ製プリンタドライバ*

*Windows 2000/XP/Server 2003用PostScriptコニカミノルタ製プリンタドライバ*

*Macintosh OS X用PostScript PPDプリンタドライバ*

**設定方法（Windows の場合）**

- 1 「印刷」ダイアログボックスで「プロパティ」（または「詳細設定」）をクリックして、プリンタ ドライバの設定ダイアログを表示します。
- 2 「セットアップ」タブをクリックします。
- 3 「認証 / 部門管理」をクリックします。
- 4 「部門管理」のチェックボックスを ON にし、部門名、パスワードを入力します。
  - 暗証番号はジョブごとではなく、デフォルト値を設定しても使用できます。



- 5 [OK] をクリックして設定後、プリントします。  
入力した暗証番号が本機側で有効になっている暗証番号である場合、ジョブはプリントされ、指定した部門番号にカウントされます。

## 設定方法（Macintosh OS X の場合）

- 1 [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。
- 2 「セキュリティ」を選択します。
- 3 部門管理設定のチェックボックスを ON にし、部門名とパスワードを登録します。



## PageScope Web Connection でのジョブ操作

PageScope Web Connection でも、本機で処理中のジョブ状態を確認できます。

詳しくは、以下のページをごらんください。

「ジョブタブ – アクティブラジオブー一覧」(p. 10-48)

「ジョブタブ – 終了ジョブ一覧」(p. 10-49)



# 11 トラブルシューティング

## 11.1 プリントできない

本章では、想定するトラブルおよび困った場合の解決方法について説明します。

プリントを実行したにもかかわらず、プリントできない場合に、上から順に確認してください。

状況	考えられる原因	対処方法
パソコン上の画面に「プリンタが接続されていない」または「印刷エラー」という内容のメッセージが表示される。	プリント時に指定しているプリンタドライバがプリンタコントローラ対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンタ名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはパラレルケーブル、USBケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	メモリが不足している可能性があります。	テスト印刷でプリントできるか確認してください。
	ネットワークケーブルまたはパラレルケーブル、USBケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
パソコン上の画面にポストスクriプトエラーが表示される。	パソコンのメモリが不足している可能性があります。	テスト印刷でプリントできるか確認してください。
	アプリケーションソフトウェアの設定によるエラーが考えられます。	アプリケーションソフトウェアの取扱説明書などを参考に、設定を再確認してください。
	ファイルの印刷設定が間違っている可能性があります。	設定を変えて再度プリントを試してみてください。

状況	考えられる原因	対処方法
パソコン側のプリント処理は終了したがプリントが開始されない。	プリント時に指定しているプリンタドライバがプリンタコントローラ対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンタ名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはパラレルケーブル、USBケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	未処理のジョブが本機に残っていて、処理待ち状態になっている可能性があります。	本機の操作パネルのジョブ確認でジョブの順番を確認してください。
	プリント実行時に「ボックス保存」を指定している可能性があります。	本機の操作パネルで「ボックス」に目的のジョブが保留されていないか確認してください。
	プリント実行時に「機密プリント」を指定している可能性があります。	本機の操作パネルで「機密ボックス」に目的のジョブが保留されていないか確認してください。
	部門管理している場合、登録以外の部門管理コード（暗証番号）を入力している可能性があります。	部門管理コード（暗証番号）を正しく入力してください。
	認証設定している場合、登録以外のユーザ名やパスワードを入力している可能性があります。	ユーザ名やパスワードを正しく入力してください。
	パソコンのメモリが不足している可能性があります。	テスト印刷でプリントできるか確認してください。
	プリンタコントローラとのネットワークが確立されていません（ネットワーク接続時）。	ネットワーク管理者にご相談ください。

以上のこととを確認しても解決しない場合は、「ユーザーズガイド　コピー機能編」をお読みください。

## 11.2 設定できない／設定したとおりにプリントできない

プリンタドライバで設定ができない場合や、設定してもそのとおりにプリントされない場合に確認してください。



メモ)

プリンタドライバの項目を設定する場合、項目によっては同時に選択できないものがあります。

状況	考えられる原因	対処方法
プリンタドライバ上で項目が選択できない。	機能によっては組み合わせできない場合があります。	グレー表示の部分は設定できません。
パソコン画面上に「設定できない」「機能が解除される」内容の「競合」メッセージが表示される。	組み合わせできない機能を設定しています。	内容をよく確認し、機能を指定しなおしてください。
設定したとおりにプリントできない。	正しく設定されていない可能性があります。  プリンタドライバ上では組み合わせて設定できますが、本機としては組み合わせができません。	プリンタドライバの各設定項目を確認してください。
ウォーターマークがプリントできない。	アプリケーションで設定した用紙サイズや用紙の向きなどがプリンタドライバでの設定より優先されてプリントされることがあります。	アプリケーション側の設定を正しく設定してください。
	ウォーターマークを正しく設定していない可能性があります。	ウォーターマークの設定を確認してください。
	ウォーターマークの濃度が薄い可能性があります。	濃淡設定を確認してください。
	グラフィックス系などのアプリケーションソフトウェアでは、ウォーターマークがプリントされないことがあります。	この場合、ウォーターマークはプリントできません。
ステープルが指定できない。	用紙種類が厚紙、OHP フィルムの場合は、ステープルできません。	プリンタドライバの各設定項目を確認してください。
	ステープルは、オプションのフィニッシャー FS-501 または FS-603 が必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタドライバでオプションを使用可能にしてください。

状況	考えられる原因	対処方法
ステープルができない。	FS-501 装着時のステープル可能枚数は、30 枚までです。FS-603 装着時のステープル可能枚数は、普通紙 A4 □ 以下 50 枚、B4 以上 25 枚までです。	プリント枚数を変更してください。
	FS-603 装着時の中じ可能枚数は普通紙 15 枚までです。	
	異なる用紙サイズが混在している場合は、ステープルできません。	書類を確認してください。
ステープルの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていません。	プリンタドライバの設定でステープルの位置を確認してからプリントしてください。
パンチが指定できない。	小冊子、OHP フィルム、厚紙 2、厚紙 3、封筒を指定した場合は、パンチを指定できません。	プリンタドライバの各設定項目を確認してください。
	オプションのフィニッシャー FS-603 装着時はパンチキット PK501 が必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタドライバでオプションを使用可能にしてください。
パンチされない。	給紙口にセットしてある用紙の向きが適切でない場合は、パンチせずにプリントされることがあります。	用紙の向きを確認してください。
パンチの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていません。	プリンタドライバの設定ダイアログの「ページレイアウト」でパンチの位置を確認してからプリントしてください。
フォームがうまくプリントされない。	パソコンのメモリが不足している可能性があります。	フォームを簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
画像がうまくプリントされない。	パソコンのメモリが不足している可能性があります。	画像を簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
指定した給紙口から給紙されない。	指定した給紙口に必要なサイズ／方向の用紙が入っていない場合は、指定した給紙口から給紙されない可能性があります。	給紙口に適切なサイズ／方向の用紙を入れてください。
配布管理ナンバーが指定できない。	管理ナンバーを指定する場合は、プリンタドライバの「デバイスオプションの設定」でハードディスクを追加しておく必要があります。	プリンタドライバの「デバイスオプションの設定」タブでハードディスクを追加してください。

## エラーメッセージ

メッセージ	原因と対処方法
ネットワークに接続できませんでした	ネットワークに接続できませんでした。ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、「管理者設定」の「ネットワーク設定」が正しく行われているか確認してください。



## 12 付録

### 12.1 製品仕様

項目	仕様
型式	内蔵型コントローラー
電源	本体と共通
CPU	PPC750 FX 466MHz
プログラム ROM	64 MB
RAM	512 MB
HDD	40 GB
I/F	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準 Ethernet (100Base-TX / 10Base-T)</li> <li>• オプション USB 1.1/2.0、IEEE1284</li> </ul>
フレームタイプ	Ethernet 802.2 Ethernet 802.3 Ethernet II Ethernet SNAP
対応プロトコル	TCP/IP IPX/SPX NetBEUI AppleTalk (EtherTalk)
プリント速度	25 枚／分 (カラー／モノクロ、A4 用紙、片面) 23 枚／分 (カラー、モノクロ、A4 用紙、両面)
ファーストプリントタイム	11.7 秒以下 (カラー、A4) 8.4 秒以下 (モノクロ、A4)
プリンタ言語	PCL5e/c エミュレーション PCL6 (XL ver. 2.1) エミュレーション PostScript 3 エミュレーション (3011)
動作環境条件	温度 10 ~ 35 °C 湿度 15 ~ 85%RH
解像度	データ処理 600 × 600 dpi (プリント、FAX 機能) 400 × 400 dpi (FAX 機能) 200 × 200 dpi (FAX 機能)
	プリント 600 × 1800 dpi 相当
対応用紙サイズ	
最大定型用紙サイズ	

項目	仕様				
フォント（内蔵フォント）	<p>&lt; PCL &gt;            欧文 80 書体            日本語            HG 明朝 L            HGP 明朝 L            HG ゴシック B            HGP ゴシック B  &lt; Postscript 3 Emulation &gt;            欧文 136 書体            日本語            HG 明朝 L            HG ゴシック B</p>				
対応パソコン	IBM PC およびその互換機				
サポート OS	<table border="1"> <tr> <td>サーバ</td><td>Windows NT4.0 / 2000 / 2003</td></tr> <tr> <td>クライアント</td><td>           Windows 98SE / Me            Windows 2000 / XP            Windows NT4.0 (SP6a)            Macintosh OS 9.2 以降 / OS X 10.2、10.3         </td></tr> </table>	サーバ	Windows NT4.0 / 2000 / 2003	クライアント	Windows 98SE / Me Windows 2000 / XP Windows NT4.0 (SP6a) Macintosh OS 9.2 以降 / OS X 10.2、10.3
サーバ	Windows NT4.0 / 2000 / 2003				
クライアント	Windows 98SE / Me Windows 2000 / XP Windows NT4.0 (SP6a) Macintosh OS 9.2 以降 / OS X 10.2、10.3				
プリンタ ドライバ	<p>PCL6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 98SE / Me プリンタ ドライバ</li> <li>Windows 2000 / XP / 2003 プリンタ ドライバ</li> <li>Windows NT4.0 (SP6a) プリンタ ドライバ</li> </ul> <p>PS3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 98SE / Me PPD ファイル</li> <li>Windows NT4.0 (SP6a) / 2000 / XP / 2003 プリンタ ドライバ</li> <li>MacOS 9.2 PPD ファイル</li> <li>MacOS X 10.2/10.3 プリンタ ドライバ</li> </ul>				
ユーティリティ	<p>PageScope Web Connection</p> <p>対応 Web ブラウザ：            Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨（JavaScript 有効・Cookie 有効）            Internet Explorer Ver.5.X の使用の場合、Microsoft XML parser MSXML3.X のインストールが必須            Netscape Navigator Ver.7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効）            J2RE（Java 2 Runtime Environment）必須</p>				

## 12.2 コンフィグレーションページ

KONICA MINOLTA C250 / C250P Configuration Page		
<i>Print Operation Menu Map</i>		<i>Installed</i>
<b>Basic Setting</b>		
Default Paper Size	= A4	Printer HDD = Installed
Paper Tray	= Auto	Printer Memory = 512 [ MByte ]
Output Tray	= Elevate Tray	
Binding Position	= Left Binding	
Double-Sided	= Off	
Staple	= Off	
Hole-Punch	= Off	
Orientation	= Portrait	
# of Sets	= 1	
No Matching Paper In Tray Setting	= Stop Printing (Tray Fixed)	
Spool Setting	= On	
Convert	= Off	
PDL Setting	= Auto	
<b>PCL Setting</b>		
Font Source	= 1	
Font Number	= 0	
Font Pitch	= 12.00	
Font Point	= 10.00	
Symbol Set	= PC-8, Code Page 437	
Line/Page	= 63 [ Line / Page ]	
CR/LF Mapping	= Off	
<b>PS Setting</b>		
Print Reports	= Disable	
<b>I/F Setting</b>		
IEEE 1284 Timeout	= 60 [ sec. ]	
Network Rx Timeout	= 60 [ sec. ]	
USB Timeout	= 60 [ sec. ]	
Parallel I/F	= ECP	
<b>RAW Port No.</b>		
RAW Port 0	= 9100	
RAW Port 1	= 9112	
RAW Port 2	= 9113	
RAW Port 3	= 9114	
RAW Port 4	= 9115	
RAW Port 5	= 9116	
<b>Test Print</b>		
Configuration		
PCL Font List		
PS Font List		
Demo Page		
<b>Installed</b>		
<b>Printer Information</b>		
<b>Installed Tray</b>		
Tray 1	= A4	
Tray 2	= A4	
Tray 3	= A3	
Tray 4	= None	
LCT	= None	
<b>Option</b>		
Duplex Unit	= Installed	
Finisher	= Available	
Punch Unit	= Available	
Fold Unit	= Not Available	
Fax Unit	= Available	
<b>Firmware Version</b>		
Printer Controller	= 4037-3000-G00-05-000(00)	
<b>Network</b>		
<b>MAC Address</b>		
MAC Address	= 00:20:6B: <del>11:11:11</del>	
<b>TCP/IP</b>		
TCP/IP	= Enable	
IP Address	= 192.168.1.20	
Subnet Mask	= 255.255.255.0	
Default Gateway	= 192.168.1.1	
<b>Netware</b>		
Netware	= Disable	
<b>Appletalk</b>		
Appletalk	= Disable	
<b>SMB</b>		
SMB	= Enable	

## 12.3 フォントリスト

### PCL フォントリスト

#### KONICA MINOLTA C250 / C250P

PCL Font List

P.1

##### Internal Fonts

Font	Pitch/Point	Escape Sequence	Font #	Font ID
Courier	Scalable	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s0b4099T	00000	
CG Times	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4101T	00001	
<b>CG Times Bold</b>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4101T	00002	
<i>CG Times Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4101T	00003	
<b><i>CG Times Bold Italic</i></b>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4101T	00004	
CG Omega	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4111T	00005	
<b>CG Omega Bold</b>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4111T	00006	
<i>CG Omega Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4111T	00007	
<b><i>CG Omega Bold Italic</i></b>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4111T	00008	
<i>Coronel</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4116T	00009	
<b>Clarendon Condensed</b>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4140T	00010	
Univers Medium	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4148T	00011	
<b>Univers Bold</b>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4148T	00012	
<i>Univers Medium Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4148T	00013	
<b><i>Univers Bold Italic</i></b>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4148T	00014	
Univers Med. Condensed	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s0b4148T	00015	
<b>Univers Bold Condensed</b>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4148T	00016	
<i>Univers Med. Cond. It.</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s0b4148T	00017	
<b><i>Univers Bold Cond. It.</i></b>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s3b4148T	00018	
Antique Olive	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4168T	00019	
<b>Antique Olive Bold</b>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4168T	00020	
<i>Antique Olive Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4168T	00021	
Garamond Antiqua	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4197T	00022	
<b>Garamond Halbfett</b>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4197T	00023	
<i>Garamond Kursiv</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4197T	00024	

## PS フォントリスト

## KONICA MINOLTA C250 / C250P

## PS Font List

P.1

## Internal Fonts

Font		Font #
<b>Albertus MT</b>	AlbertusMT	00000
<i>Albertus MT Italic</i>	AlbertusMT-Italic	00001
<b>Albertus MT Light</b>	AlbertusMT-Light	00002
<b>Antique Olive Roman</b>	AntiqueOlive-Roman	00003
<i>Antique Olive Italic</i>	AntiqueOlive-Italic	00004
<b>Antique Olive Bold</b>	AntiqueOlive-Bold	00005
<b>Antique Olive Compact</b>	AntiqueOlive-Compact	00006
<i>Apple Chancery</i>	Apple-Chancery	00007
<b>Arial</b>	ArialMT	00008
<i>Arial Italic</i>	Arial-ItalicMT	00009
<b>Arial Bold</b>	Arial-BoldMT	00010
<b>Arial Bold Italic</b>	Arial-BoldItalicMT	00011
<i>ITC Avant Garde Gothic Book</i>	AvantGarde-Book	00012
<i>ITC Avant Garde Gothic Book Oblique</i>	AvantGarde-BookOblique	00013
<b>ITC Avant Garde Gothic Demi</b>	AvantGarde-Demi	00014
<i>ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique</i>	AvantGarde-DemiOblique	00015
<b>Bodoni Roman</b>	Bodoni	00016
<i>Bodoni Italic</i>	Bodoni-Italic	00017
<b>Bodoni Bold</b>	Bodoni-Bold	00018
<i>Bodoni Bold Italic</i>	Bodoni-BoldItalic	00019
<b>Bodoni Poster</b>	Bodoni-Poster	00020
<i>Bodoni Poster Compressed</i>	Bodoni-PosterCompressed	00021
<i>ITC Bookman Light</i>	Bookman-Light	00022
<i>ITC Bookman Light Italic</i>	Bookman-LightItalic	00023
<b>ITC Bookman Demi</b>	Bookman-Demi	00024
<b>ITC Bookman Demi Italic</b>	Bookman-Demibolditalic	00025
<b>Candid</b>	Candid (emulates Carta)	00026
<b>Chicago</b>	Chicago	00027
<b>Clarendon Roman</b>	Clarendon	00028
<b>Clarendon Bold</b>	Clarendon-Bold	00029

## TEST Page

## Test Page



## 12.4 用語集

用語	説明
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-TX	Ethernet の規格における仕様の一種。 銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。 通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、1000Base-TX は 1000Mbps である。
AppleTalk	Apple 社が開発したネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称。
bit	Binary Digit の略。コンピュータやプリンタなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。
BMP	Bitmap の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .bmp）。 Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。 基本的には圧縮せずに画像を保存する。
BOOTP	BOOTstrap Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバからネットワークに関する設定を自動的に読み込むプロトコル。 ただし現在では BOOTP をベースとして一部改良した DHCP が主流になっている。
Byte	コンピュータやプリンタなどが扱う情報（データ量）の単位。 1Byte=8bit で構成される。
CMYK	Cyan（薄青）、Magenta（赤紫）、Yellow（黄）、Black（黒）の略。 カラー印刷で用いられるトナー／インクの色で、CMYK 4 色の配合比率を変化させて全ての色を表現する。
Default Gateway	同一 LAN 上に存在しないコンピュータへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピュータやルータなどの機器のこと。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバからネットワークに関する設定を自動的に読み込むプロトコル。 DHCP サーバで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
DNS	Domain Name System の略。 ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のパソコンにアクセスできるようになる。
DPI (dpi)	Dots Per Inch の略。プリンタやスキャナなどで使われる解像度の単位。 1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。 この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。
FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。

用語	説明
HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバとクライアント（Web ブラウザなど）がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
IEEE1284	Institute of Electrical and Electronic Engineers 1284 の略。パラレルポートの標準規格。プリンタ用に開発された。
IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行なうプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンタにデータを送って印刷することもできる。
IPX/SPX	Internetwork Packet exchange/Sequenced Packet exchange の略。Novel 社により開発された、NetWare 環境下で一般的に使用されるプロトコルのこと。
IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。192.168.1.10 のように最大 3 枠の数字 4 つで表される。コンピュータを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割振られる。
LAN	Local Area Network の略。同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピュータ同士を接続したネットワークのこと。
LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。WindowsNT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンタに出力させることができる。
MAC Address	Media Access Control address の略。各 Ethernet カード固有の ID 番号で、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。48 ビットの数字で表現されており、前半の 24 ビットは IEEE が管理・割当てをしている各メーカーごとに固有な番号で、後半の 24 ビットはメーカーが一意にカードに割当てる番号である。
NDPS	Novell Distributed Print Services の略。NDS 環境において高機能なプリントソリューションを提供する。NDPS をプリントサーバとして利用することにより、希望するプリンタからの出力、新規プリンタ導入時のドライバの自動ダウンロードなど、プリンタ利用に関する煩雑な管理環境を簡素化・自動化できるほか、ネットワーク・プリンタに関わる統合的な管理を行うことができる。
NDS	Novell Directory Service の略。 ネットワーク上に存在するサーバやプリンタ、ユーザ情報などの共有資源、またそれらに対する個々のユーザのアクセス権限などの情報を、階層構造で一元管理できる。
NetBIOS	Network Basic Input Output System の略。 IBM 社によって開発された通信インターフェイスのこと。
NetBEUI	NetBIOS Extended User Interface の略。IBM 社が開発したネットワークプロトコル。コンピュータ名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できる。
NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。 通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
Nprinter/Rprinter	Netware 環境下でプリントサーバを使用する場合の、リモートプリンタサポートモジュールのこと。 Netware 3.x で Rprinter、Netware 4.x で Nprinter を使用する。

用語	説明
OHP/OHT	OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。
OS（オーエス）	Operating System の略。コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の1つ。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の1つ（拡張子は.pdf）。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
PDL	Page Description Language の略。ページプリンタで印刷するとき、プリンタにページ単位で印刷イメージを指示する言語。
PostScript	米 Adobe 社によって開発された、とくに高品質が要求される印刷処理で一般的に利用される代表的なページ記述言語のこと。
PPD	PostScript Printer Description の略。解像度や利用可能紙サイズ等、PostScript プリンタの機種固有の情報を記述したファイルのこと。
Proxy Server	Internetとの接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティを確保するために設置されるサーバのこと。
Pserver	Netware 環境下におけるプリントサーバモジュールのこと。プリントジョブの監視、変更、休止、再開、および中止を行う。
Queue Name	ネットワーク印刷を行うときに、印刷を許可させる為に機器毎に設定する名称。
RIP	Raster Image Processor の略。PostScript 等のページ記述言語を用いて記述されたテキストデータを、画像イメージに展開する処理のこと。通常はプリンタ内蔵されている。
RGB	Red（赤）、Green（緑）、Blue（青）の略。モニタ等の色表現で用いられる原色で、RGB 3 色の輝度比率を変化させて全ての色を表現する。
SLP	Service Location Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のサービスの検索や、クライアントの自動設定などを可能にするプロトコルのこと。
SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンタ共有を実現するプロトコルのこと。
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
SNMP	Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。 個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。
TrueType	アウトラインフォントの一種。Apple 社と Microsoft 社によって開発され、Macintosh や Windows には標準で採用されている。 ディスプレイ表示と印刷の両方に使用できる。

用語	説明
USB	Universal Serial Bus の略。 コンピュータとマウスやプリンタ等を接続するための汎用インターフェース規格のこと。
アウトラインフォント	文字の形を、直線や曲線による輪郭線で表したフォントのこと。 文字サイズが大きくなても、ギザギザの無い画面表示と印刷ができる。
アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
イーサネット (Ethernet)	LAN の伝送路に関する規格のこと。
印刷ジョブ	PC から印刷機器に送信される印刷要求のこと。
インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタドライバ等を、コンピュータのシステムに組み込むこと。
ウェブブラウザ	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。 Internet Explorer や、Netscape Navigator などがある。
解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
カラーマッチング	スキヤナ、ディスプレイ、プリンタなどの異なる装置間で、色の違いを少なくするための技術。
輝度	ディスプレイ等の画面の明るさのこと。
キューライ	LPD/LPR 印刷のときに必要な論理プリンタ名のこと。
共有プリンタ	ネットワーク上のサーバに接続され、複数のコンピュータから使用可能なように設定されたプリンタのこと。
クライアント	ネットワークを介して、サーバが提供するサービスを利用する側のコンピュータのこと。
グレースケール	黒から白への階調情報を使用して表現したモノクロ画像の表現形式のこと。
ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
サブネットマスク	TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。 IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。
スクリーンフォント	CRT などのモニタ上で、文字／記号を表示するためのフォント。
スプール (Spool)	Simultaneous Peripheral Operation On-Line の略。 プリンタ出力で、データを直接プリンタに送らす、一時的に別の場所に貯めておき、後でまとめてプリンタに送信すること。
ドライバ	コンピュータと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。 電源を OFF しても、データが保持される。
パラレルインターフェイス	複数の信号を同時に送受信するデータ転送方式のこと。 プリンタ接続用の IEEE1284 をさす場合が多い。

用語	説明
ピア・ツー・ピア	専用のサーバを用意することなく、接続された機器同士が、相互に通信可能なネットワーク形態のこと。
プラグアンドプレイ	周辺機器を PC に接続した時に、適切なドライバが自動検索されて使用可能になる仕組みのこと。
プリンタ ドライバ	コンピュータとプリンタの橋渡しをするソフトウェアのこと。
プリンタ バッファ	印刷ジョブのデータ処理のために、一時的に利用されるメモリ領域。
プリントキュー	スプーラにおいて、発生したプリントジョブを記憶しておくソフトウェアシステム。
フレームタイプ	Netware 環境において使用される通信形式の種類のこと。 同じフレームタイプ同士でなければ、通信する事が出来ない。
プレビュー	印刷／スキャン処理前に、あらかじめ処理後のイメージを表示する機能のこと。
プロトコル	コンピュータが他のコンピュータや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
プロパティ	属性情報のこと。 プリンタドライバを使用するときは、プロパティから様々な機能の設定を行なう事ができる。 またファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。
プロファイル	カラー属性ファイル。 カラー入出力機器が色再現を行なうために使用する、各原色の入出力の相関関係がまとめられた専用ファイルのこと。
ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
メモリ	データを一時保存するための記憶装置のこと。 電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。
ローカルプリンタ	コンピュータのパラレル／USB ポートに接続されたプリンタのこと。

## 12.5 索引

### B

Bindery/NDS ..... 10-70

### C

CD 構成 ..... 1-1

CR/LF マッピング ..... 10-21, 10-65

### D

DHCP ..... 10-67

DNS サーバ ..... 10-68

### F

FAX タブ ..... 5-29

Finishing ..... 8-4

### I

I/F タイムアウト ..... 10-29

IPP 印刷 ..... 3-16

IP アドレス ..... 3-5, 10-67

### L

LPD ..... 10-68

LPR 印刷 ..... 3-11

### M

Macintosh ..... 2-18, 3-30

### N

N in 1 ..... 5-9, 6-13

NDPS ..... 3-27

NDS ..... 3-23, 3-25

NetBIOS ..... 10-75

NetWare ..... 3-19

NetWare 印刷 .....	10-70
Novell Distributed Print Service .....	3-27
Nprinter .....	3-19

## O

OHP 合紙 .....	8-4, 9-3
OS .....	2-18
OS 9.2 .....	2-21, 8-1
OS X .....	2-18, 2-20, 9-1

## P

PageScope Web Connection .....	3-7, 10-33
PC-Fax 送信 .....	1-8
PCL .....	2-1
PCL 設定 .....	10-50
PCL ドライバ .....	5-1
PCL フォントリスト .....	10-51
PDL 設定 .....	10-3, 10-63
PostScript .....	2-1
PostScript ドライバ .....	6-1
PPD ドライバ .....	7-1, 8-1, 9-1
PS エラー .....	10-23
PS エラープリント .....	10-66
PS 設定 .....	10-50
PS フォントリスト .....	10-51

## R

RAW ポート .....	10-68
---------------	-------

## S

SLP .....	10-68
SMB 印刷 .....	3-8
SMB プリント .....	10-75
SNMP .....	10-74

**U**

USB 接続 .....	2-2
USB タイムアウト .....	10-62

**W**

Windows .....	2-2
---------------	-----

**あ**

アンインストール .....	2-23
----------------	------

**い**

一時停止 .....	7-2, 8-4
一般設定 .....	8-3, 9-7
印刷種類 .....	4-12
印刷操作 .....	4-1
印刷の向き .....	7-1, 7-4
印刷部数と印刷ページ .....	9-2
印刷方法 .....	4-1
インストーラ .....	2-3
インストール .....	2-1, 2-4, 2-18
インターフェース .....	1-10

**う**

ウォーターマーク .....	4-17
ウォーターマークタブ .....	5-23, 6-17
ウォーターマークの編集 .....	5-24, 6-18
ウラ表紙 .....	4-16, 5-17, 6-16, 7-2, 8-4, 9-3

**お**

オプション .....	5-44, 6-21, 7-3, 9-17, 8-14
オペレーティングシステム .....	1-9
オモテ表紙 .....	4-16, 5-17, 6-16, 7-2, 8-4, 9-3
折り .....	7-2, 8-4, 9-3

**か**

解像度 .....	7-1, 8-4, 9-3
回転 .....	7-1
各種設定 .....	10-1
拡大縮小 .....	4-10, 8-1, 9-1
拡大／縮小 .....	7-2
確認プリント .....	5-12, 6-8, 10-77
画質調整 .....	4-18, 5-26, 6-19
画像品質タブ .....	5-26
カスタム用紙サイズ .....	8-2, 9-1, 9-6
画像品質 .....	9-3, 9-14
画像品質タブ .....	6-19
画像の向き .....	10-63
カラー指定 .....	8-3
カラー制御 .....	7-2
カラー選択 .....	5-26, 6-19, 7-2, 8-4
カラーマッチング .....	8-3
管理者モード .....	10-25, 10-36, 10-52

**き**

機密プリント .....	5-12, 6-8, 9-4, 9-10, 10-77
給紙 .....	9-2, 9-9
給紙トレイ .....	4-11, 5-7, 10-9, 10-63
給紙方法 .....	4-11, 7-1
給紙元 .....	8-3

**く**

グラフィックタブ .....	7-1
----------------	-----

**け**

原稿サイズ .....	4-9
原稿種類 .....	5-26, 7-2, 8-4, 9-3

**さ**

サブネットマスク .....	10-67
----------------	-------

## し

自動 IP .....	10-67
出力オプション .....	9-2
出力サイズ .....	4-9
出力設定 .....	9-3, 9-12, 10-27
出力方法 .....	4-15, 5-12, 6-8, 9-4
仕様 .....	12-1
詳細オプション .....	7-1
小冊子印刷 .....	4-12
ジョブの呼出し .....	10-80
仕分け .....	4-15, 7-2, 8-4, 9-3
シンボルセット .....	10-17, 10-65

## す

ズーム .....	4-10
ステープル .....	4-14, 5-11, 6-15, 7-2, 8-4, 9-3, 10-14, 10-63
スプール設定 .....	10-6, 10-63

## せ

セキュリティ .....	9-4, 9-10
セットアップ .....	1-12, 9-3, 9-16
セットアップタブ .....	5-5, 6-7

## そ

送付状の作成 .....	5-35
ソート .....	4-15
ゾーン .....	10-76

## た

対応 OS .....	2-1
タイプフェイス .....	10-16
縦反転 .....	8-2

## ち

丁合い .....	8-3, 9-2
-----------	----------

**て**

テスト印刷 .....	4-2
デバイスオプション .....	7-2, 7-5
デフォルトゲートウェイ .....	10-68
デモページ .....	10-51
電話帳に登録する .....	5-39

**と**

動作環境 .....	1-9
同報グループ .....	5-42
特殊モード .....	7-2, 8-4, 9-3
とじ位置 .....	7-2, 8-4, 9-3
とじ代 .....	5-10, 6-14
とじ方向 .....	10-13, 10-63
ドメイン名 .....	10-68
ドライバ設定を保存する .....	5-46, 6-23
トラブルシューティング .....	11-1

**に**

認証 .....	4-16, 9-4, 9-10
----------	-----------------

**ね**

ネットワーク .....	3-1
ネットワーク接続 .....	2-2, 3-3
ネットワーク速度 .....	10-67
ネットワークタイムアウト .....	10-62

**は**

ハーフトーン .....	7-2
排紙トレイ .....	8-4, 9-3, 10-63
バインダリ .....	3-19
バインダリエミュレーション .....	3-19, 3-21
白紙抑制 .....	4-16
パターン反転 .....	8-2
パラレルインターフェース .....	10-30
パラレル接続 .....	2-2

パラレルポート設定 .....	10-62
パラレルポートタイムアウト .....	10-62
パンチ .....	4-14, 5-11, 6-15, 7-2, 8-4, 9-3, 10-15, 10-63

## ふ

フォーム .....	4-17
ファクス送信 .....	5-29
フォームタブ .....	5-19
フォームの編集 .....	5-21
フォームを作成する .....	5-21
フォント設定 .....	8-3
フォント代用 .....	8-2
フォントタブ .....	5-28
フォントピッチ / フォントポイントサイズ .....	10-65
フォントリスト .....	12-4
部数 .....	7-1, 8-3, 9-2
部単位 .....	7-2
部門管理 .....	4-18, 5-16, 6-12, 9-4, 9-10, 10-83
プラグアンドプレイ .....	2-12
プリンタ固有機能 .....	8-11
プリンタコントローラ .....	1-5
プリンタドライバ .....	2-1, 2-18
プリンタの選択 .....	2-20
プリンタの追加ウィザード .....	2-6
プリンタフォント .....	4-18
プリント .....	1-7, 8-3, 8-9, 9-2, 9-7
プリントサーバモード .....	3-21, 3-25
プリントジョブ .....	10-77
プリントできない .....	11-1
プリント部数 .....	10-4, 10-63

## ^

ページ .....	8-3, 9-2
ページ数／枚 .....	9-2
ページ設定 .....	9-1, 9-5
ページ属性 .....	8-1, 8-6, 9-1, 9-5
ページ単位設定 .....	4-16
ページ単位設定タブ .....	5-17, 6-16
ページ割り付け .....	8-4
ページ割付 .....	4-13, 5-9, 6-13, 8-10, 9-8

## ほ

方向 .....	8-1, 9-1
ホスト名 .....	10-68
ボックス保存 .....	5-12, 6-8, 9-4, 9-10, 10-77

## ま

マーカ .....	9-3
-----------	-----

## ゆ

ユーザー モード .....	10-39
優先トレイ選択 .....	10-63
ユーティリティ .....	10-1

## よ

用紙 .....	8-1
用紙サイズ .....	7-1, 9-1, 10-10, 10-63
用紙サイズ変換 .....	10-7, 10-63
用紙種類 .....	4-11, 9-3
用紙設定 .....	8-1, 8-6
用紙タブ .....	7-1
用紙方向 .....	4-8
横反転 .....	8-2
余白 .....	9-1

## ら

ライン / ページ .....	10-20, 10-65
-----------------	--------------

## り

- リモートプリンタモード ..... 3-19, 3-23  
両面 ..... 7-2, 8-4, 9-3  
両面印刷 ..... 4-12  
両面プリント ..... 10-12, 10-63

## れ

- レイアウト ..... 8-4, 7-1, 8-10, 9-2, 9-8  
レイアウトタブ ..... 6-13  
レイアウト方向 ..... 9-2  
レポート出力 ..... 10-24

## ろ

- ログイン ..... 10-36

## わ

- 枠線 ..... 8-4, 9-2

# お問い合わせは

---

## ■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》	
販売店名	<hr/>
電話番号	<hr/>
担当部門	<hr/>
担当者	<hr/>

## ■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》	
TEL	<hr/>

---

## コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。

お客様相談室電話番号 フリーダイヤル:0120-510010 (受付時間:土、日、祝日を除く9:00~12:00 / 13:00~17:00)



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

4038-7104-01

2005 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

2005. 6